

福岡市 教育データブック

(平成23年度版)



福岡スタンダードキャラクター
「スタンバード」

福岡市教育委員会

はじめに

平成21年6月に策定した「新しいふくおか教育計画」において、「基本的生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志を持ち、心豊かにたくましく生きる子どもをはぐくむ」ことを福岡市の教育の目標として定めました。

今後は、私たちの日々の取組が、目標の実現に向かっているのかどうか検証していく必要があります。そのためには、学校教育に関するさまざまな事象を数量的にとらえ、分析・評価することが必要不可欠です。

本冊子は、「新しいふくおか教育計画」資料編で示した「基礎データ」に、平成19年度から実施された全国学力・学習状況調査結果や生活習慣・学習定着度等調査の統計データを加え、再構成したものです。編集にあたっては、視覚的にとらえることができるように、ほとんどをグラフで示しました。今後、一層の内容の充実に努めていきたいと考えています。

皆さまには、福岡市の学校教育の現状を数量的にとらえる際、ご活用いただければ幸いです。

平成23年7月

福岡市教育委員会
総務部総務企画課

も く じ

I 子ども

1	基本的な生活習慣	2
2	学力	8
3	学習習慣・家庭学習	20
4	進路状況	27
5	自尊意識・規範意識	32
6	体格・疾病	36
7	体力・運動能力	39
8	メディアとの接触	42
9	不登校・いじめ・暴力行為	44

II 学校

1	学校数等	48
2	学校施設	51
3	教育課程等の実施状況	53
4	地域の人材活用状況	57
5	学校情報の提供	59
6	特別支援教育	60
7	I C T 環境	65
8	その他の状況	67

III 教職員

1	教職員	71
2	教職員の研修状況	73
3	教員の休職状況	74
4	体罰・処分	75

IV 家庭・地域

1	家庭状況	79
2	子どもとのかかわり	80

V 評価指標

1	たくましく生きる子どもの育成	86
2	信頼される学校づくりの推進	90
3	信頼に応え得る教員の養成	91
4	社会全体での子どもたちの育成	92
5	教育環境づくりの推進	93

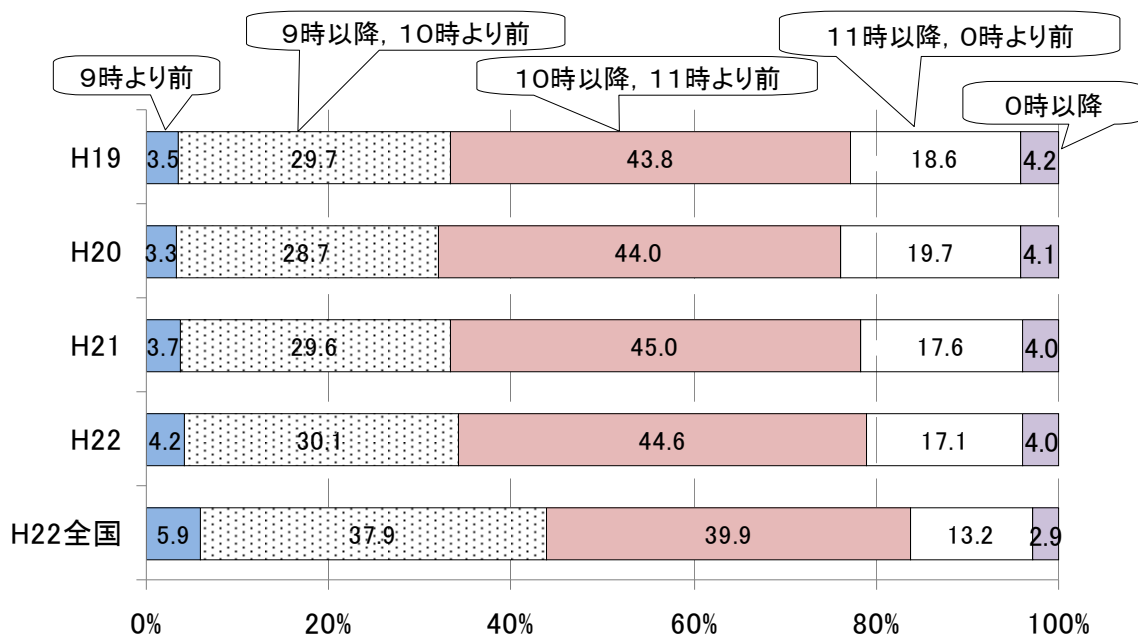
利用にあたって

○四捨五入の関係で、計と内訳の合計が一致しない場合があります。

I 子 ど も

I ー1 基本的生活習慣

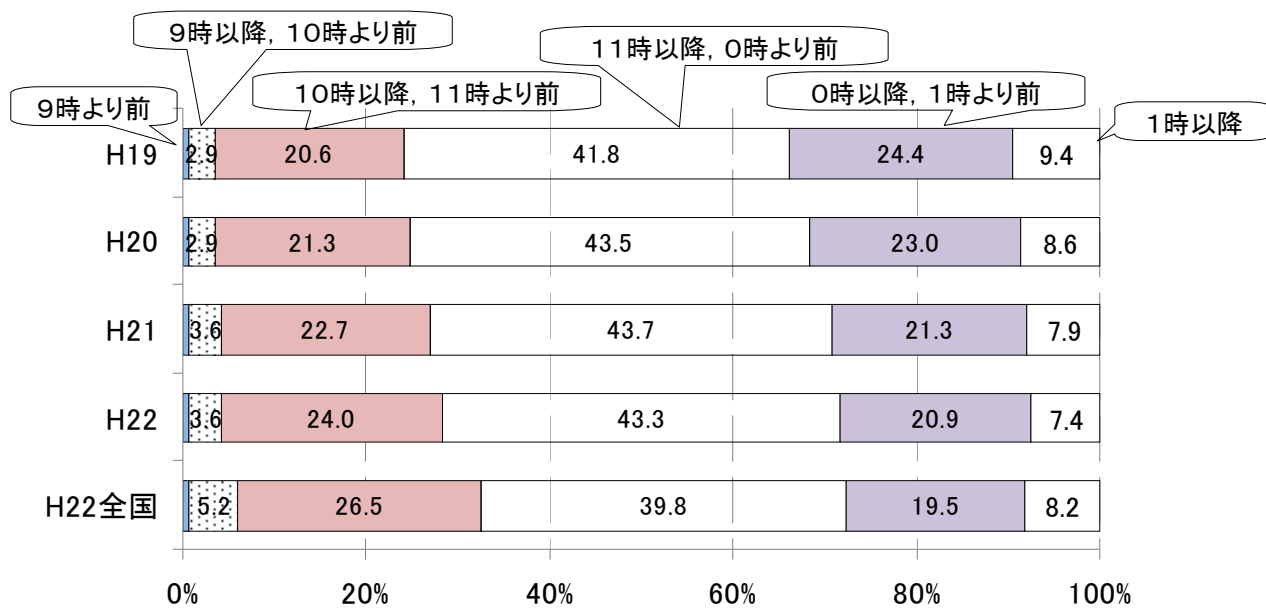
I ー1ー1 就寝時刻(小学校6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

小学校6年の就寝時刻は、全国平均より遅く、「10時以降, 11時より前」が最も多い。

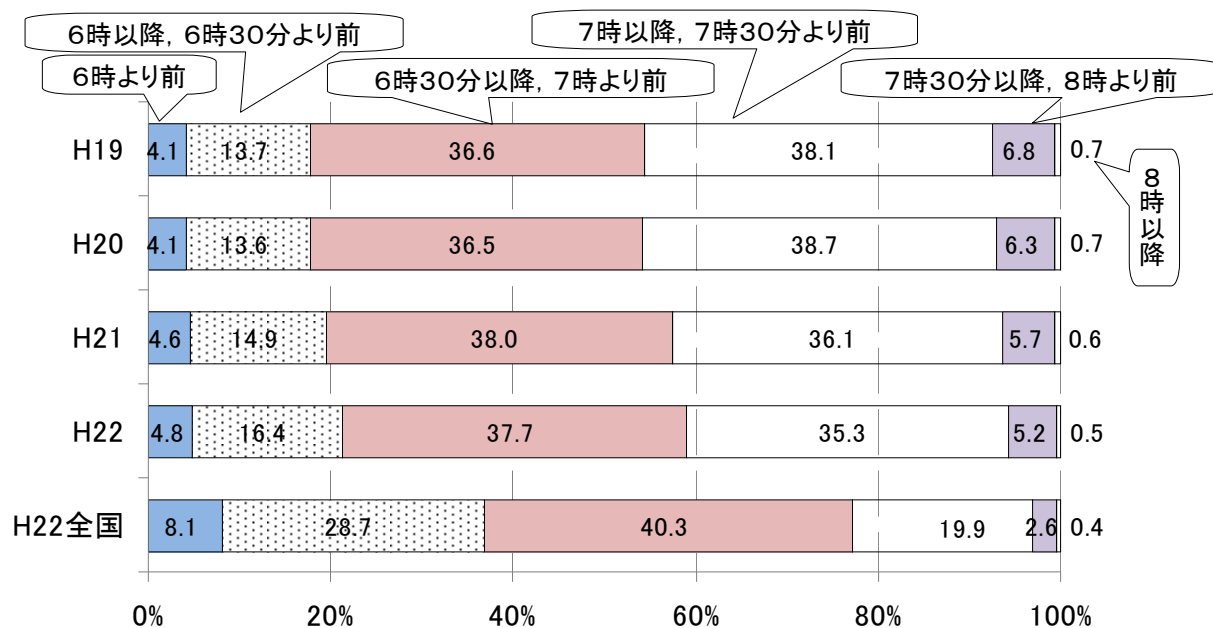
I ー1ー1 就寝時刻(中学校3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

中学校3年の就寝時刻は、全国平均より遅く、「11時以降, 0時より前」が最も多い。

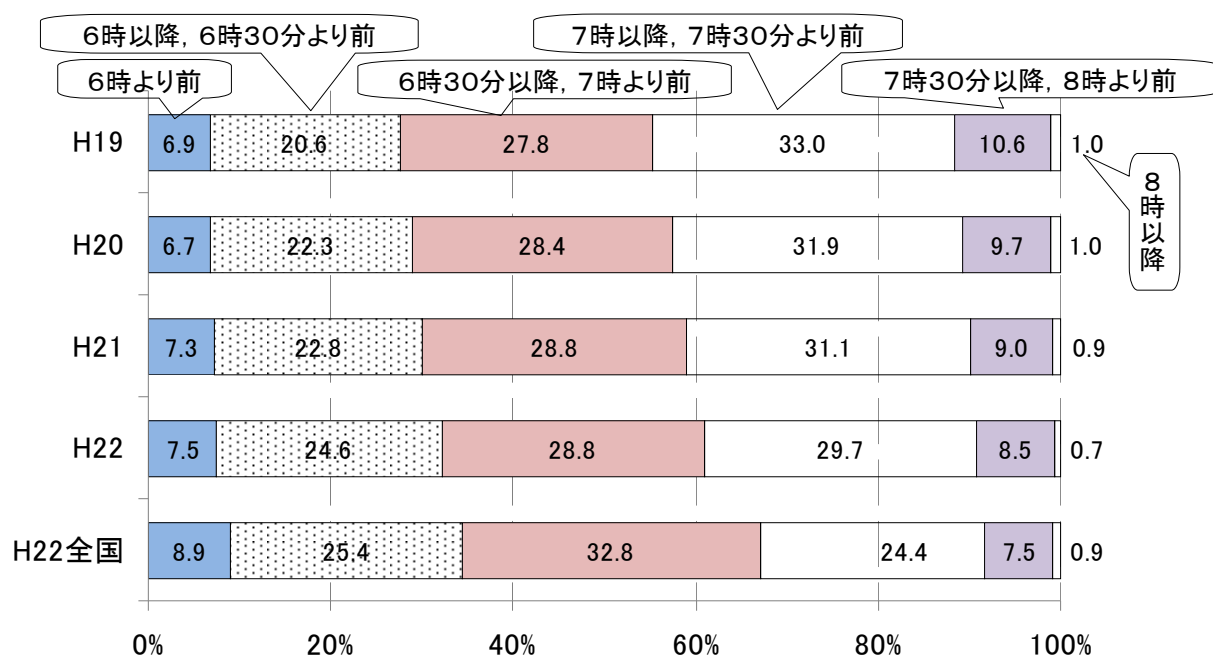
I-1-2 起床時刻(小学校6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

小学校6年の起床時刻は、全国平均より遅く、「6時30分以降、7時より前」が最も多い。

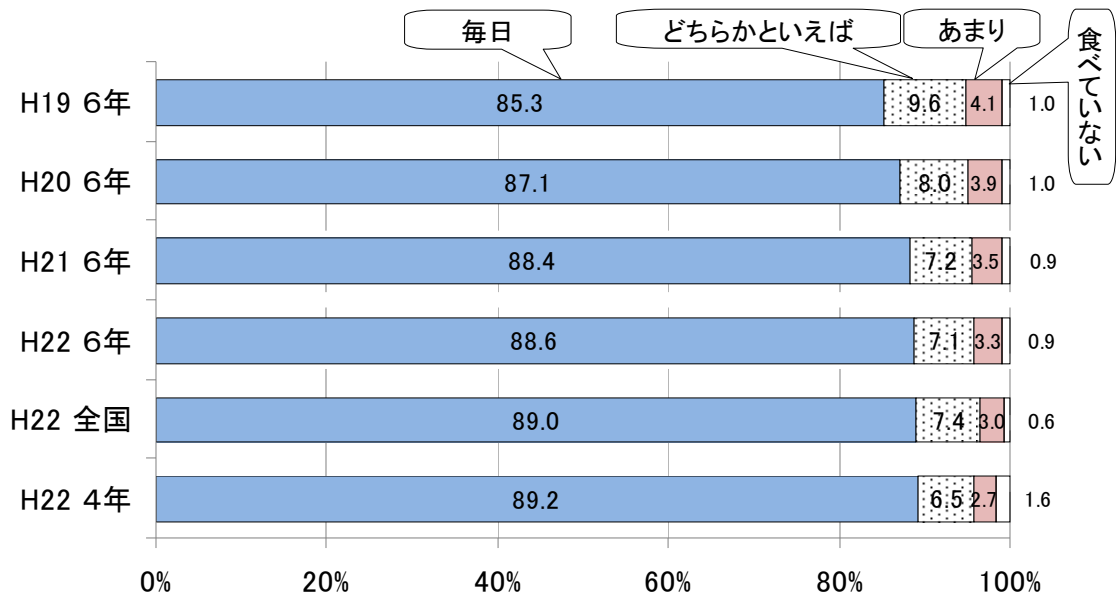
I-1-2 起床時刻(中学校3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

中学校3年の起床時刻は、年々、早くなってきており、「6時以降、6時30分より前」に起床している生徒の割合が増加している。

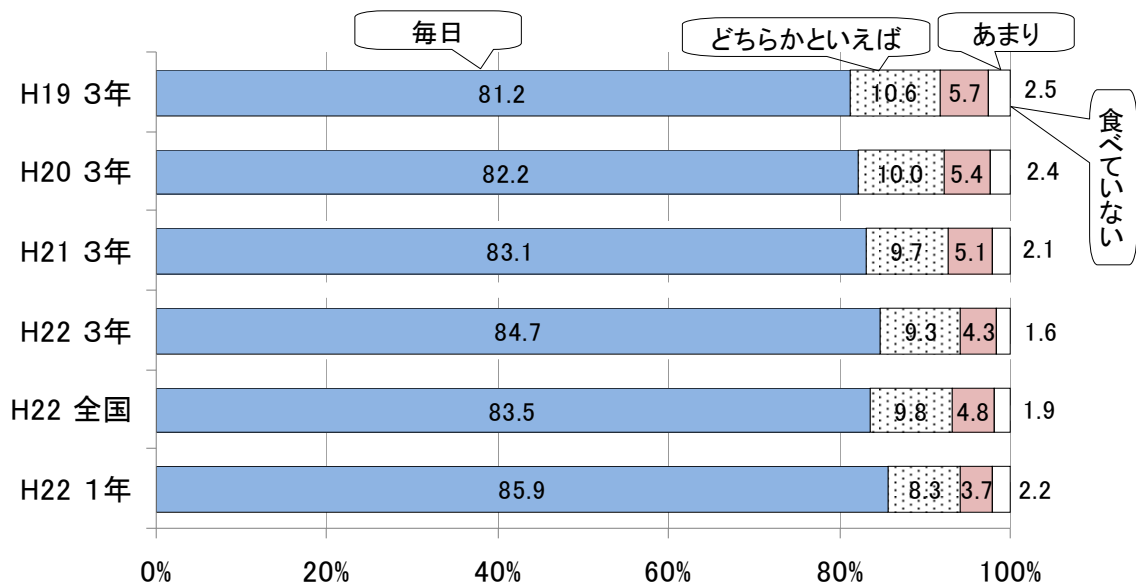
I-1-3 朝食の摂取(小学校4・6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査(小6)」・福岡市「生活習慣・学習等定着度調査(小4)」

毎日朝食を食べる児童の割合は、小学校4、6年とも90%弱であり、安定した割合となっている。

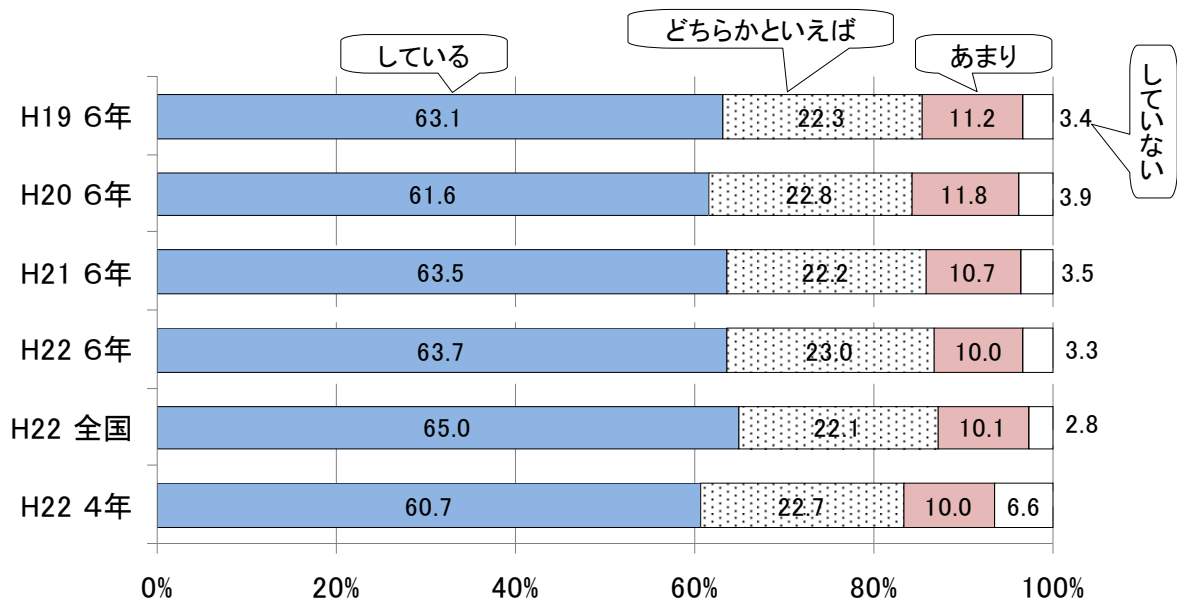
I-1-3 朝食の摂取(中学校1・3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査(中3)」・福岡市「生活習慣・学習等定着度調査(中1)」

毎日朝食を食べる生徒の割合は、中学校1、3年とも80%強であり、「食べていない」割合は減少傾向である。

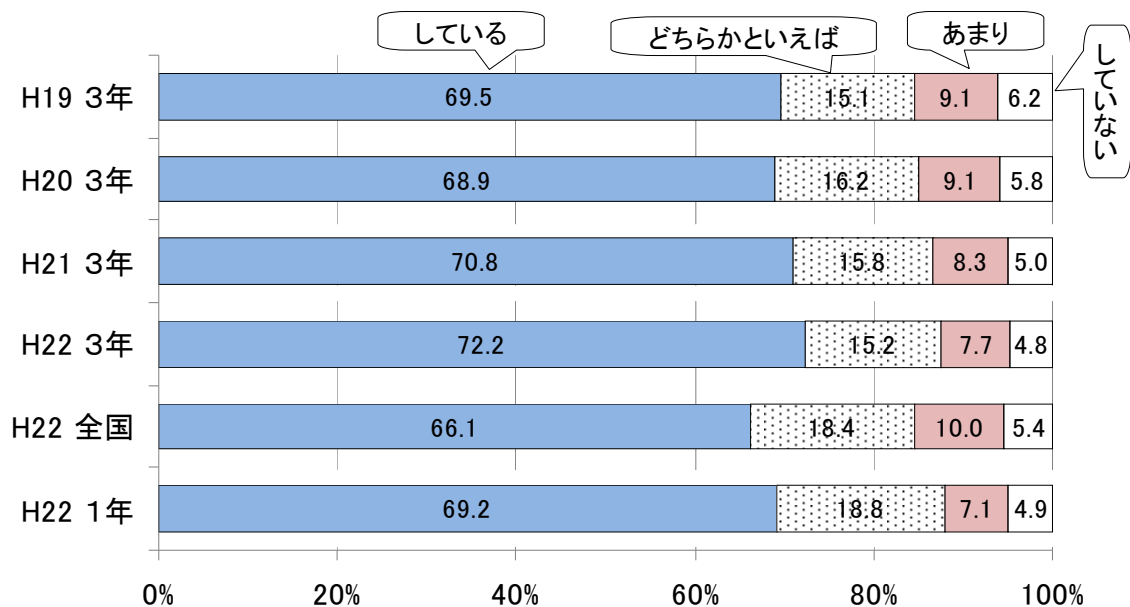
I-1-4 学校に持っていくものの事前確認(小学校4・6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査(小6)」・福岡市「生活習慣・学習等定着度調査(小4)」

学校に行く前に持ち物を確認している児童の割合は、ほとんど変化がない。

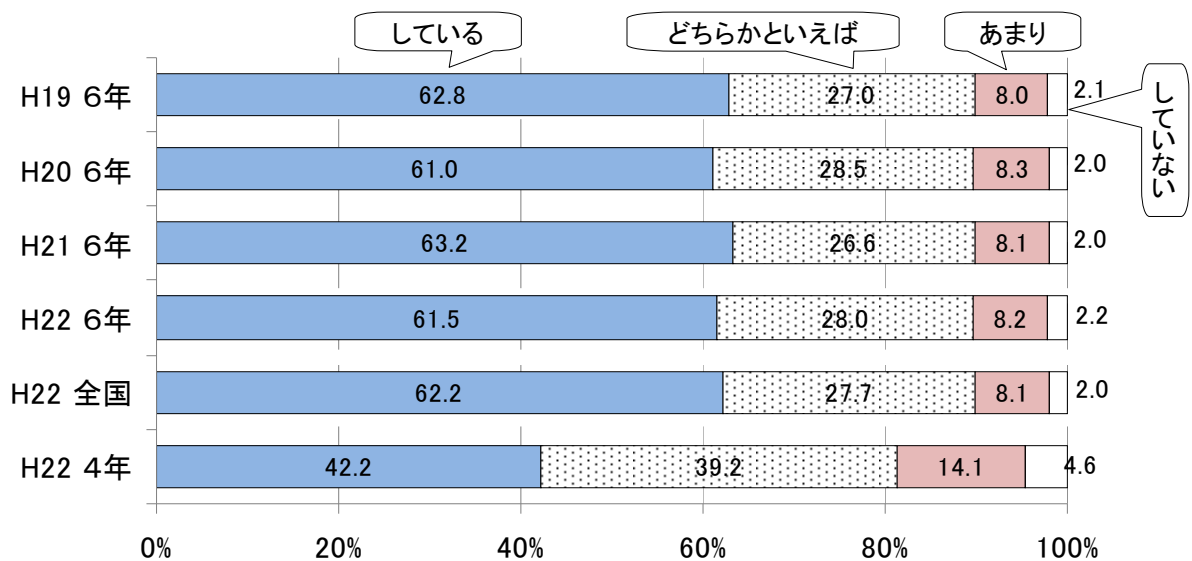
I-1-4 学校に持っていくものの事前確認(中学校1・3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査(中3)」・福岡市「生活習慣・学習等定着度調査(中1)」

学校に行く前に持ち物を確認している生徒の割合は、中学校3年でわずかに増加している。

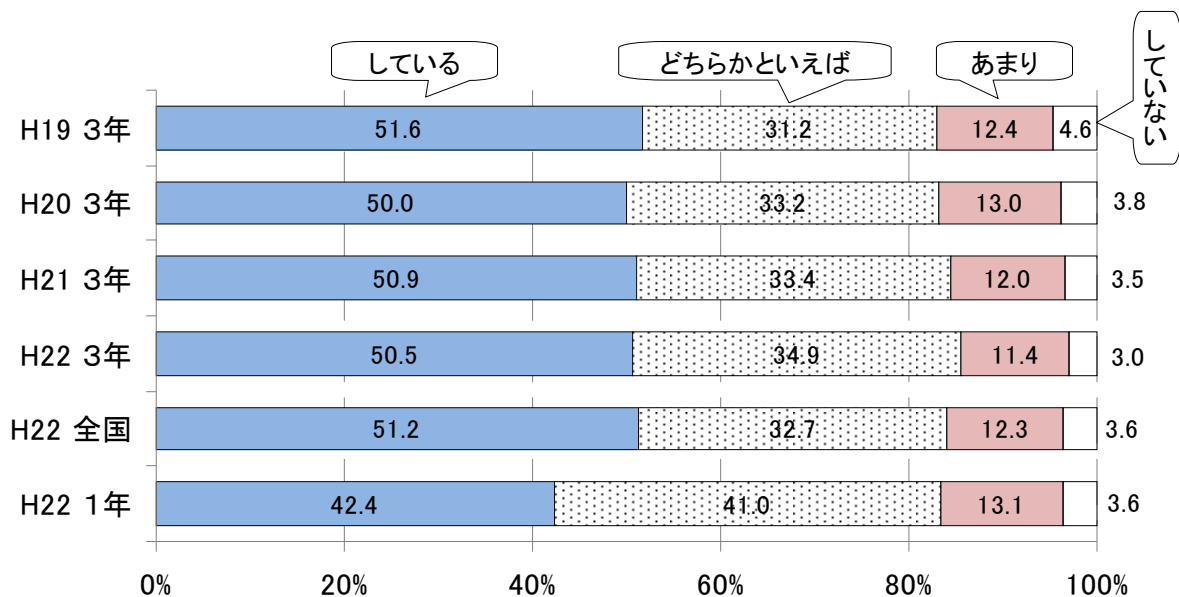
I-1-5 近所の人へのあいさつ(小学校4・6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査(小6)」・福岡市「生活習慣・学習等定着度調査(小4)」

近所の人へあいさつをしている小学校6年の児童の割合に、大きな変化は見られない。
平成22年度では、小学校4年より6年の児童の方があいさつをしている割合が多い。

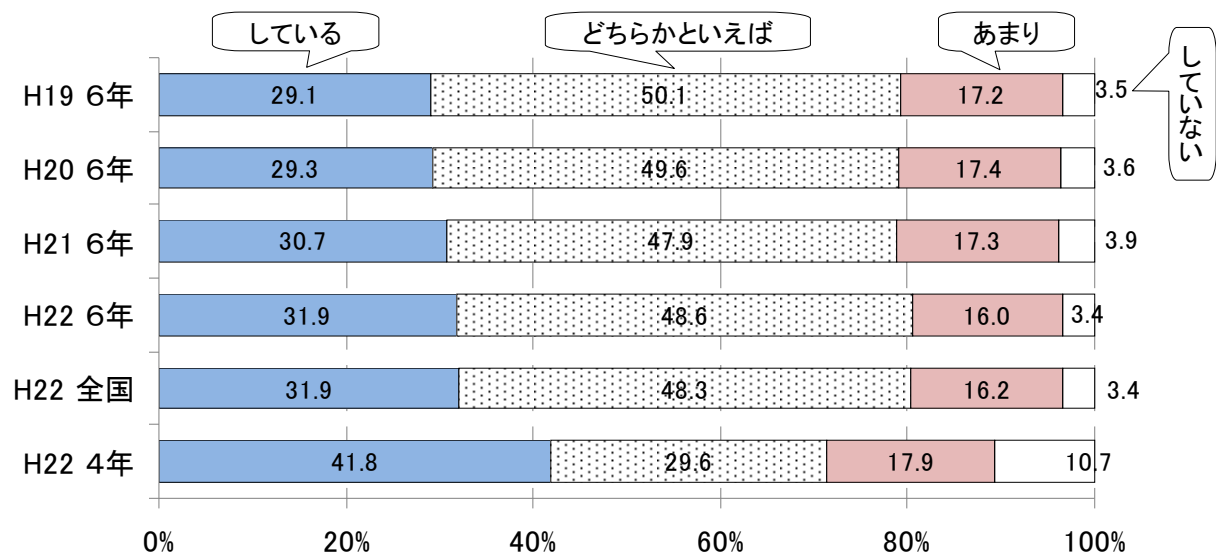
I-1-5 近所の人へのあいさつ(中学校1・3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査(中3)」・福岡市「生活習慣・学習等定着度調査(中1)」

近所の人へあいさつしている中学校3年の生徒の割合に、大きな変化は見られない。
平成22年度では、中学校1年より3年の生徒の方があいさつをしている割合が多い。

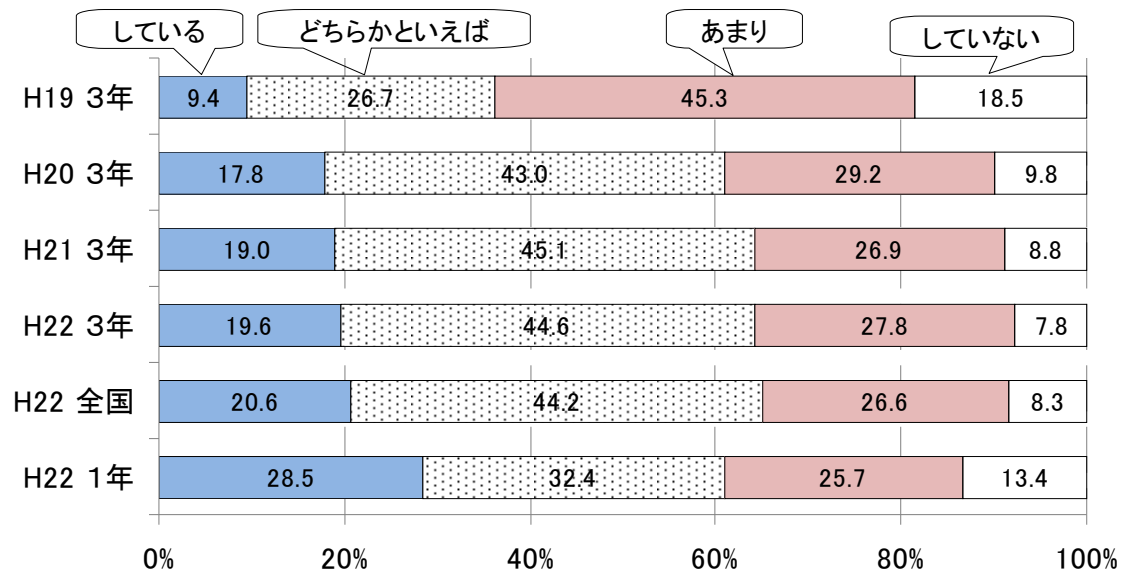
I-1-6 家の手伝い(小学校4・6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査(小6)」・福岡市「生活習慣・学習等定着度調査(小4)」

小学校6年での家の手伝いを「している」割合に変化は見られない。しかし、「していない」割合は小学校4年で約10%前後であり、小学校6年では、約3%と減少している。

I-1-6 家の手伝い(中学校1・3年)

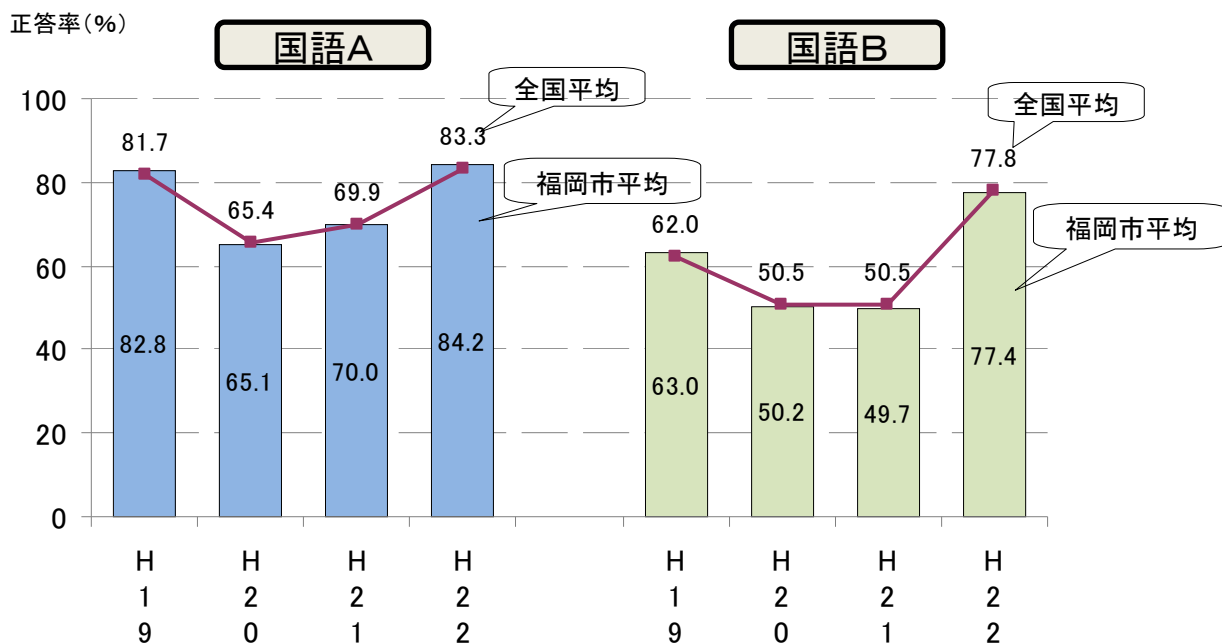


文部科学省「全国学力・学習状況調査(中3)」・福岡市「生活習慣・学習等定着度調査(中1)」

中学校3年の家の手伝いを「している」生徒の割合に若干の増加が見られる。「していない」生徒の割合は8%弱である。

I-2 学力

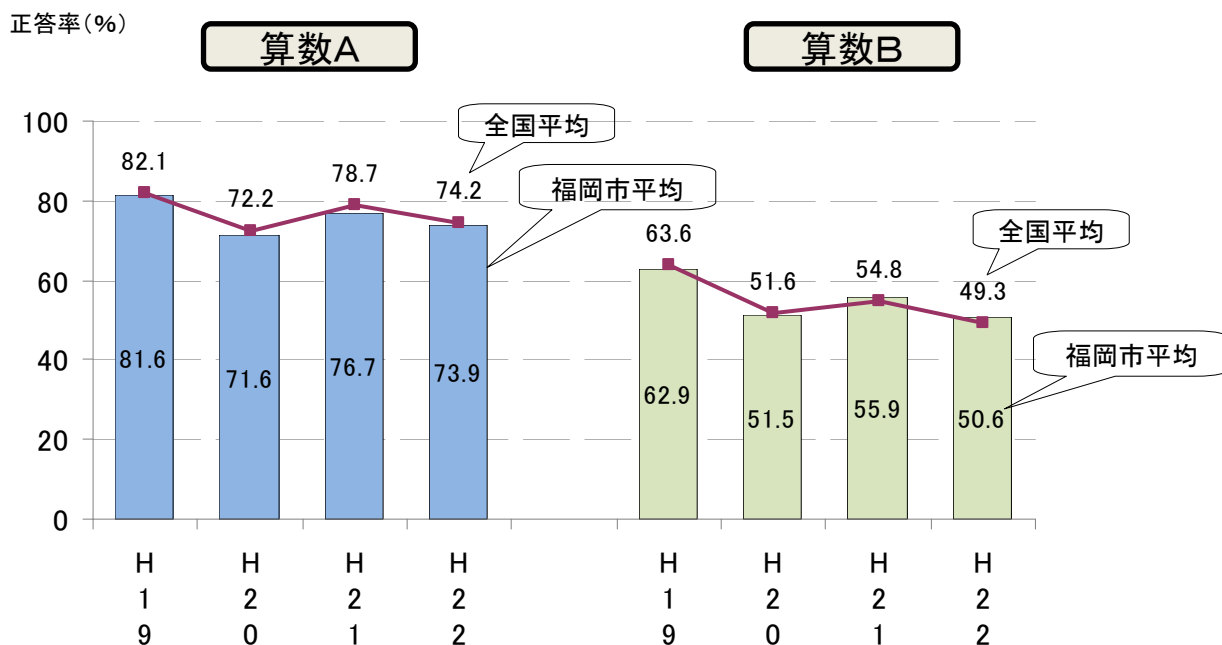
I-2-1 国語A・Bにおける平均正答率の推移(小学校6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

国語A問題は、全国平均をやや上回っているが、国語B問題は、全国平均とほぼ変わらない。

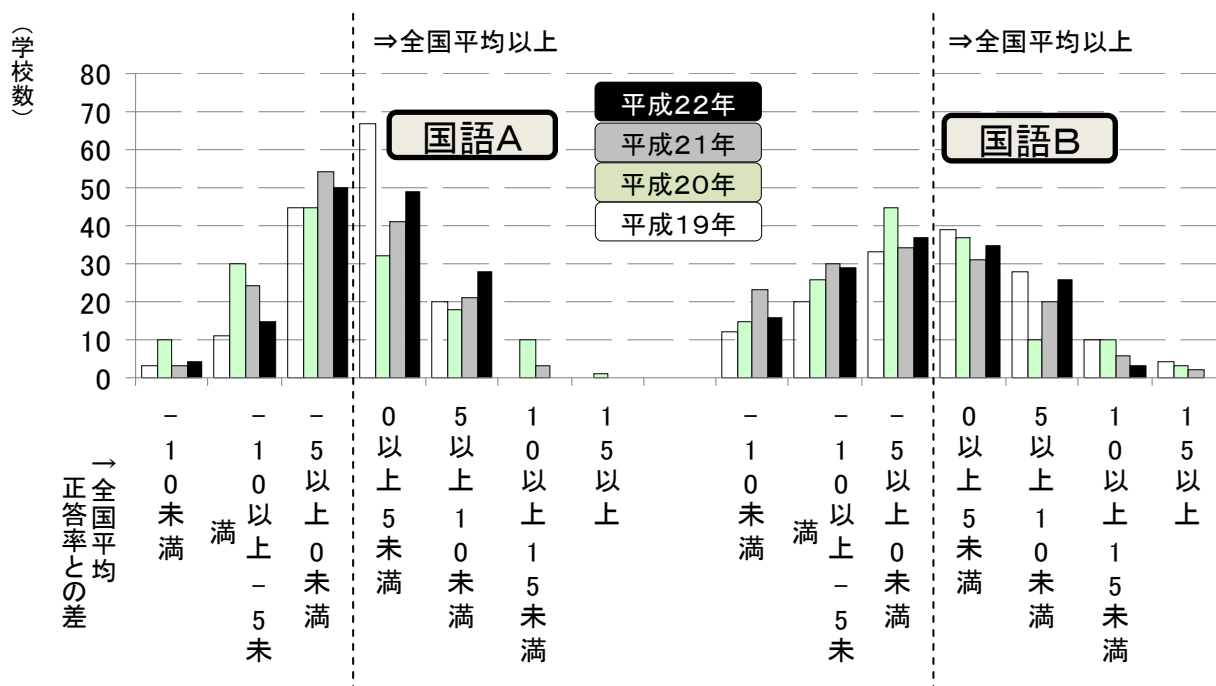
I-2-1 算数A・Bにおける平均正答率の推移(小学校6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

算数A問題は全国平均とほぼ変わらないが、B問題は全国平均をやや上回っている。

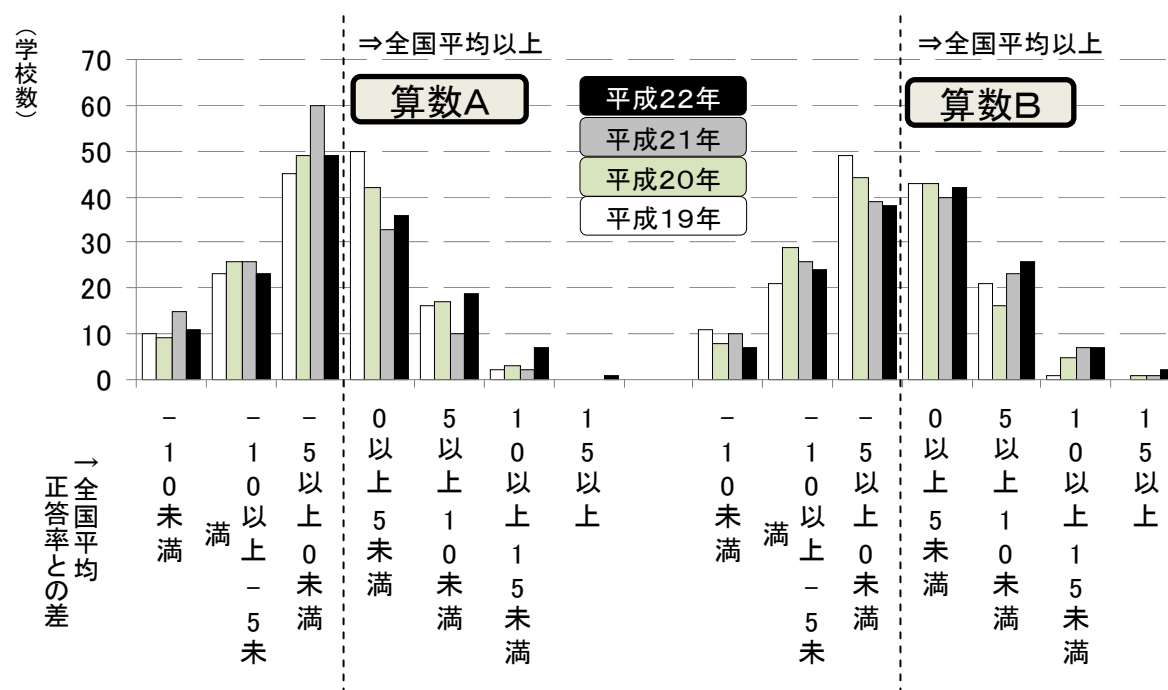
I-2-2 国語A・Bテストの全国平均正答率との差(小学校6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

国語A・B問題ともに、全国平均正答率との差が「0以上5未満」「5以上10未満」の学校数が増加している。

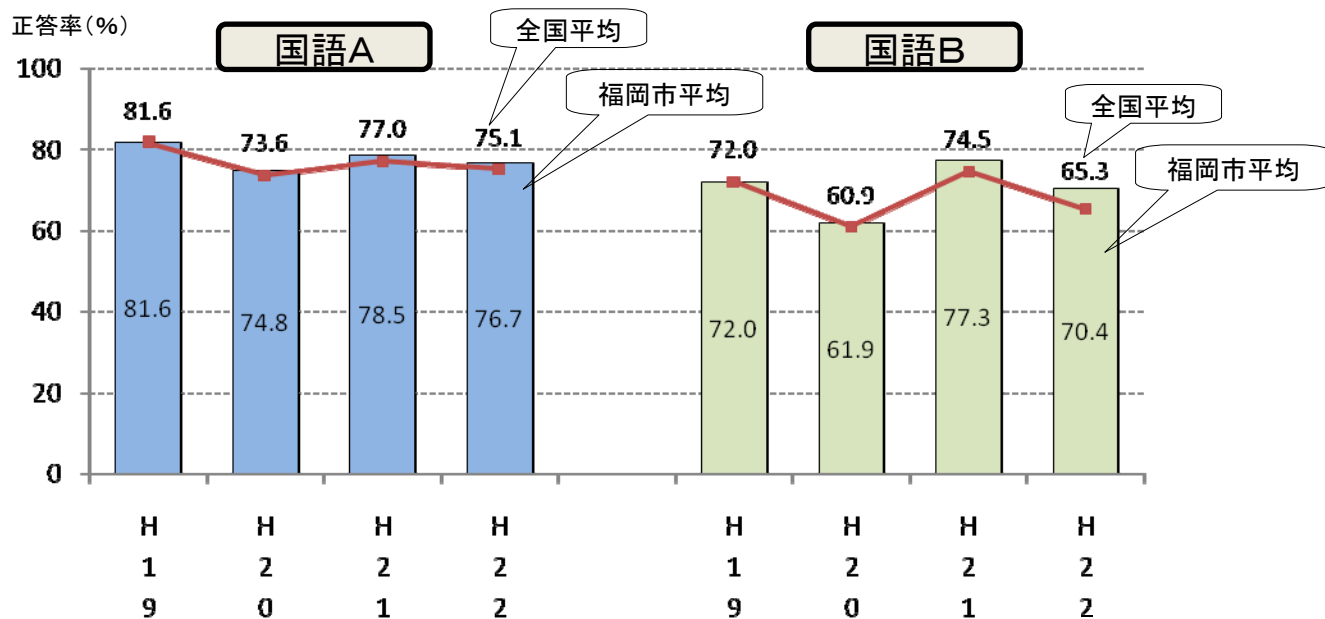
I-2-2 算数A・Bテストの全国平均正答率との差(小学校6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

平成22年度の算数A問題において、全国平均正答率との差が、「0以上5未満」「5以上10未満」の学校数が増加している。

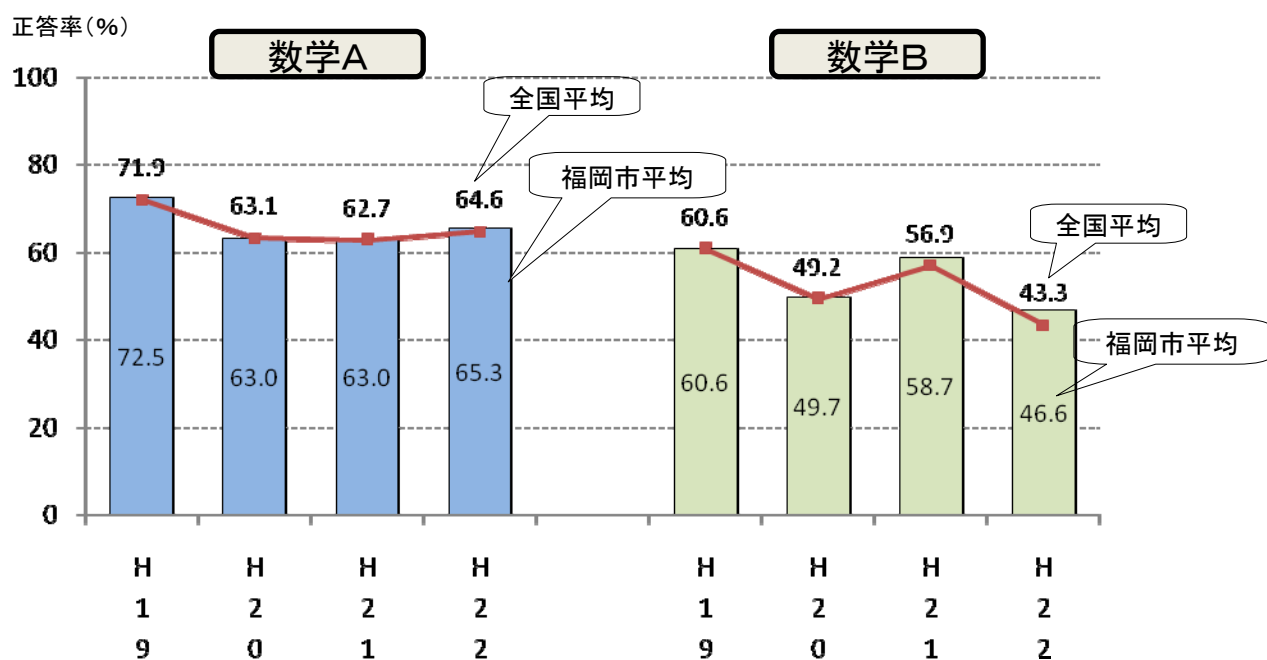
I-2-3 国語A・Bにおける平均正答率の推移(中学校3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

国語A・B問題とも全国平均を上回っている。特に、国語B問題は、全国平均を大きく上回っている。

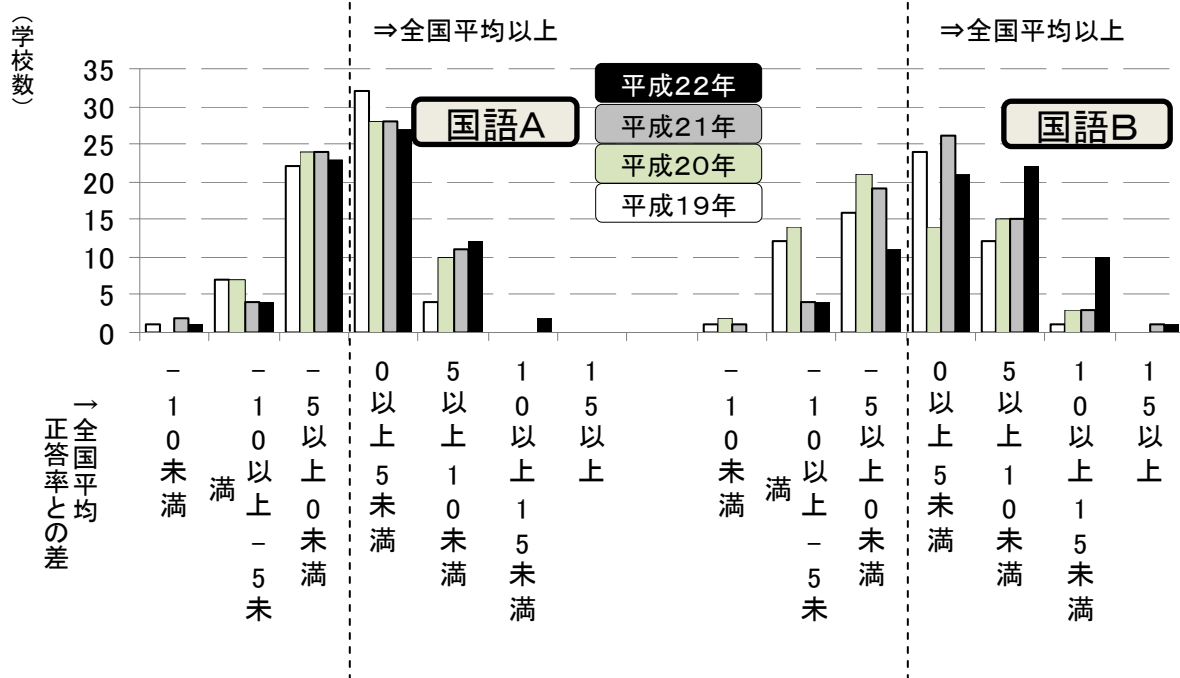
I-2-3 数学A・Bにおける平均正答率の推移(中学校3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

数学A・B問題とも全国平均を上回っている。特に、数学B問題は、全国平均を大きく上回っている。

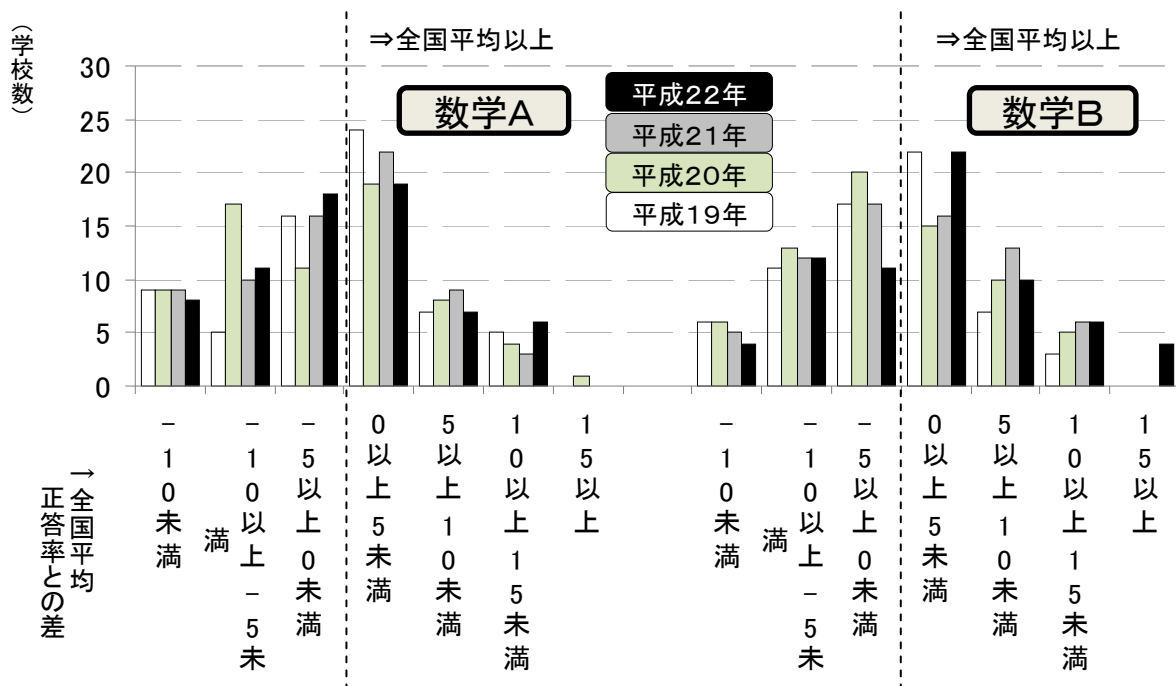
I-2-4 国語A・Bテストの全国平均との差(中学校3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

国語 A・B問題ともに、全国平均正答率との差が、0以上の学校が増加している。特に、国語B問題において、「5以上10未満」「10以上15未満」の学校数の伸びが大きい。

I-2-4 数学A・Bテストの全国平均との差(中学校3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

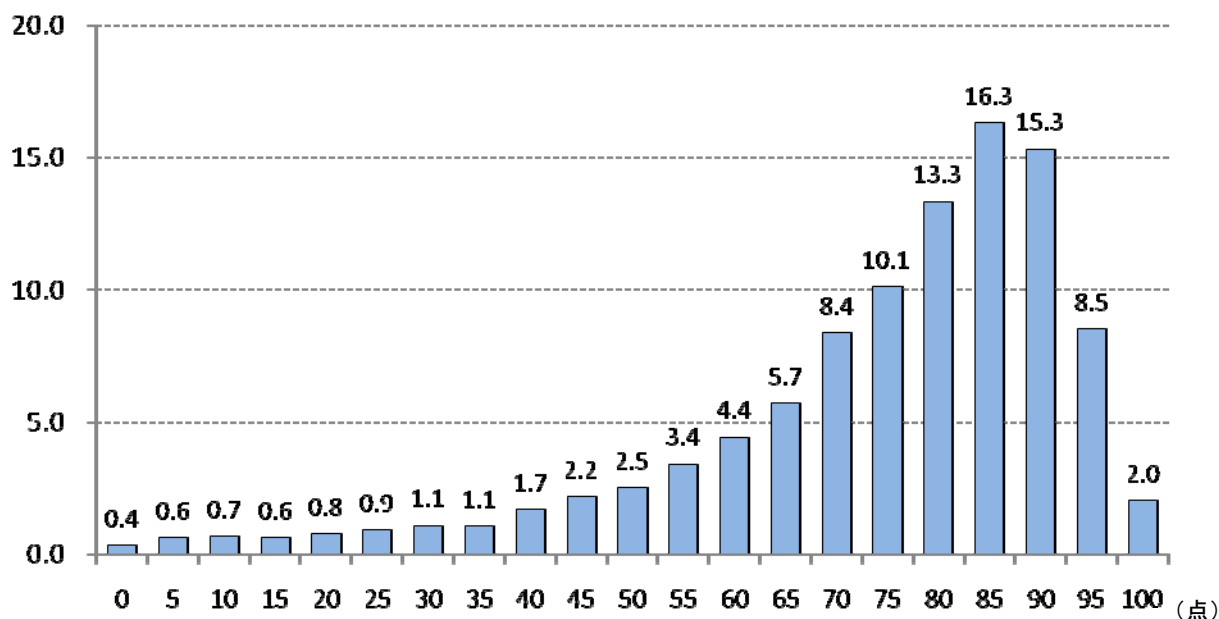
数学A・B問題とも、全国平均正答率との差が0以上の学校が増加している傾向である。特に、数学Bでは、「0以上5未満」「15以上」の学校数の伸びが大きい。

I-2-5 定着度調査集計結果(小学校4年 国語)

(%)

n:12, 278(調査を受けていない児童は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)

H22 福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

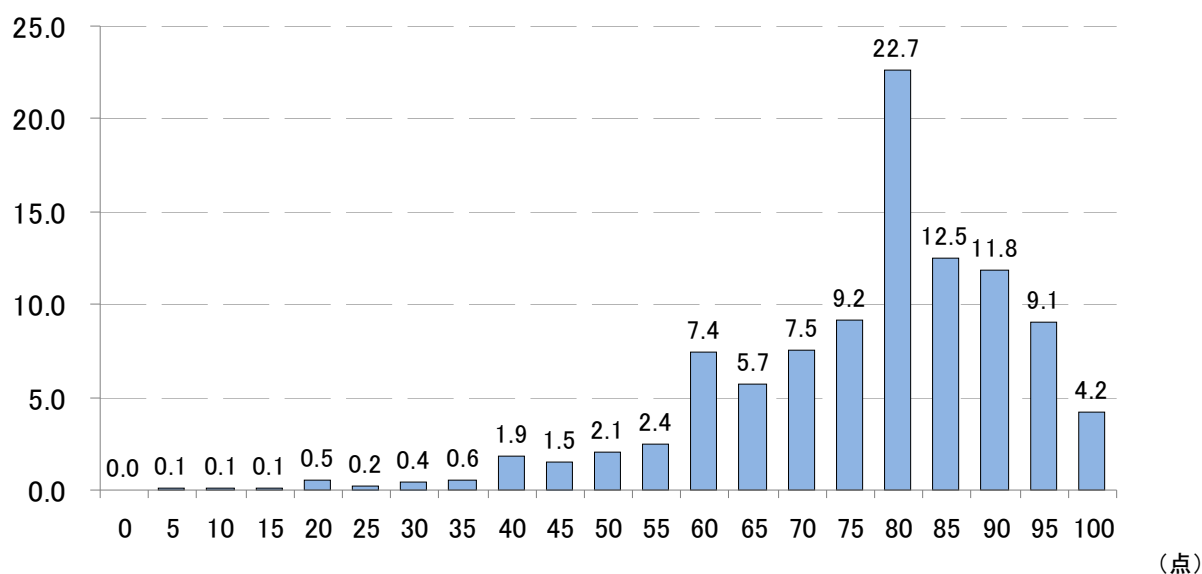
国語は、85点前後の児童の割合が最も多い。

I-2-5 定着度調査集計結果(小学校4年 社会)

(%)

n:12, 313(調査を受けていない児童は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)

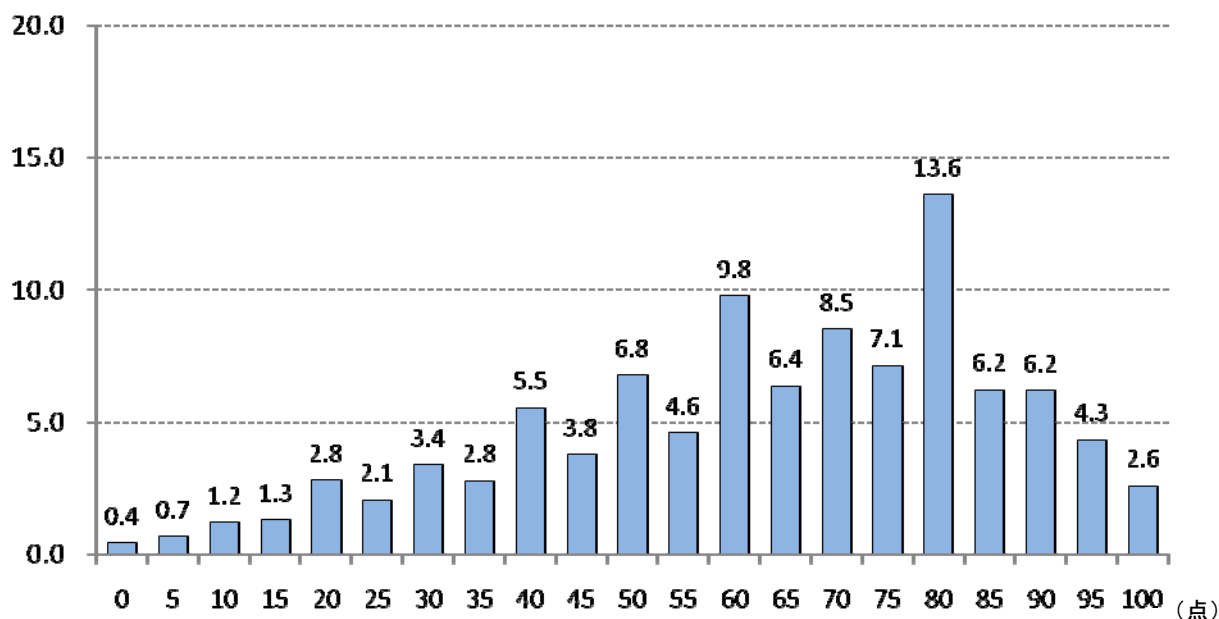
H22福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

社会では、80点前後の児童の割合が最も多い。

I-2-5 定着度調査集計結果(小学校4年 算数)

(%) n:12, 279(調査を受けていない児童は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)

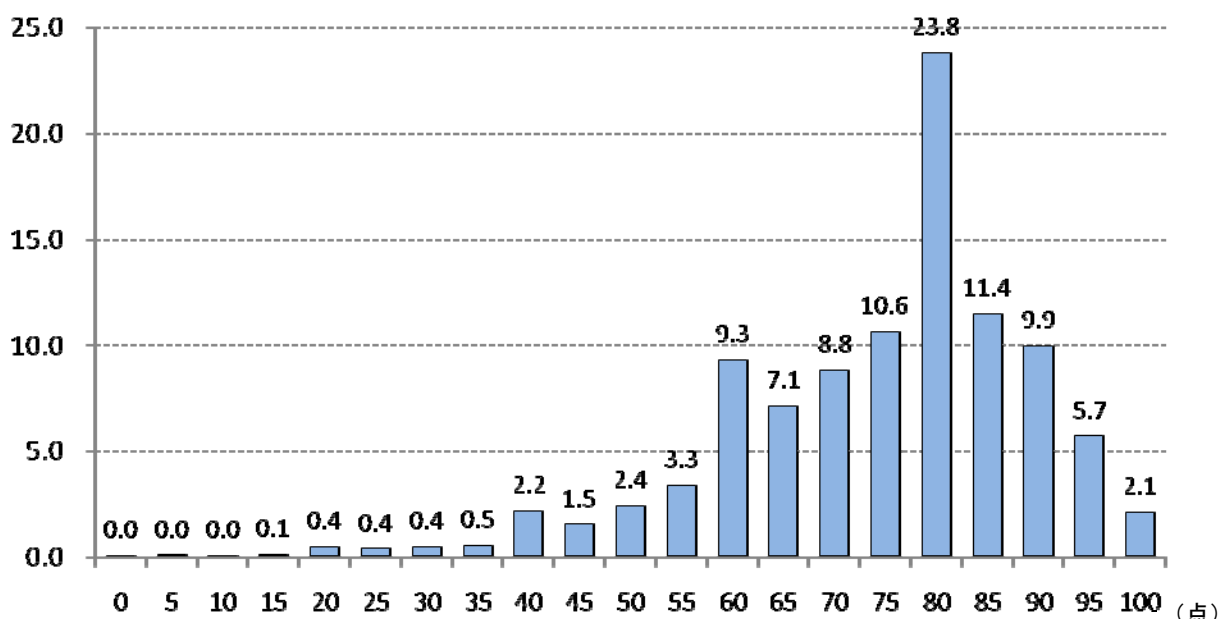
H22 福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

算数は、80点前後の児童の割合が最も多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-5 定着度調査集計結果(小学校4年 理科)

(%) n:12, 321(調査を受けていない児童は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)

H22 福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

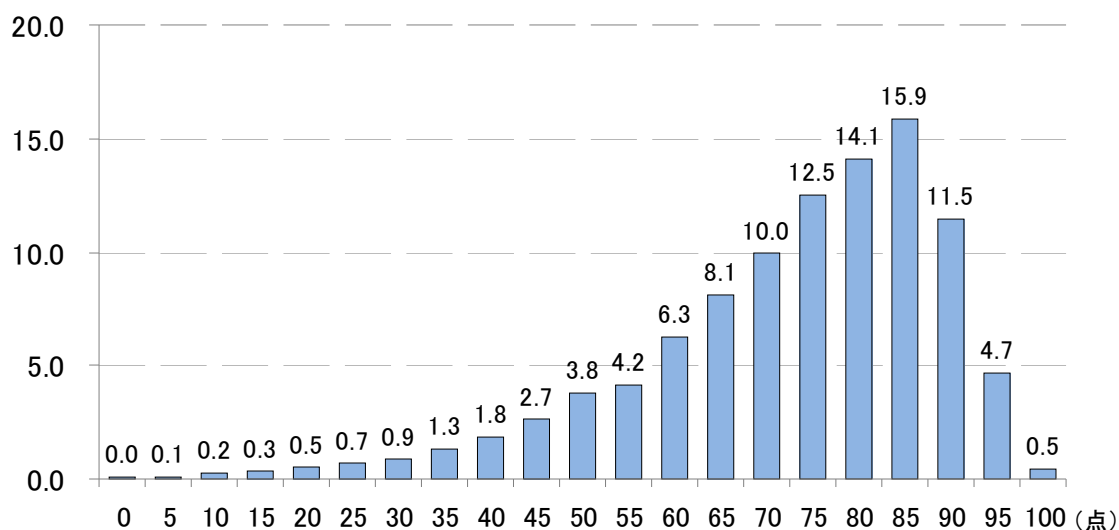
理科は、80点前後の児童の割合が最も多い。

I-2-6 定着度調査中継結果(中学校1年 国語)

(%)

n:11, 218(調査を受けていない生徒は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)

H22 福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

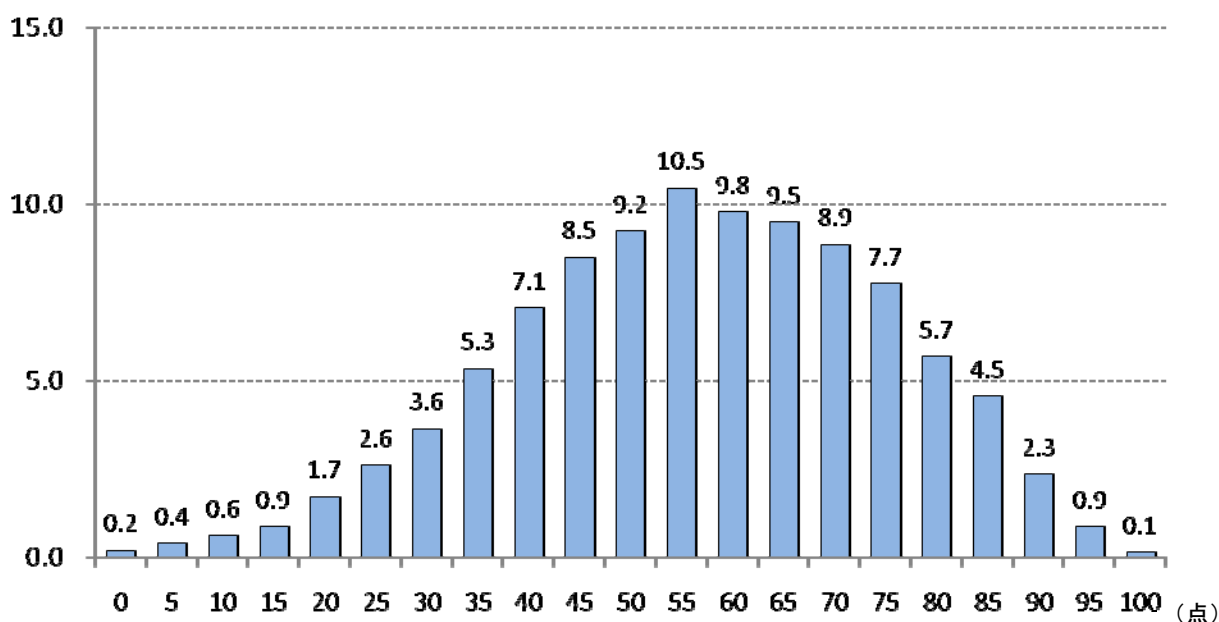
国語は、85点前後の生徒の割合が最も多い。

I-2-6 定着度調査集計結果(中学校1年 社会)

(%)

n:11, 194(調査を受けていない生徒は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)

H22 福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

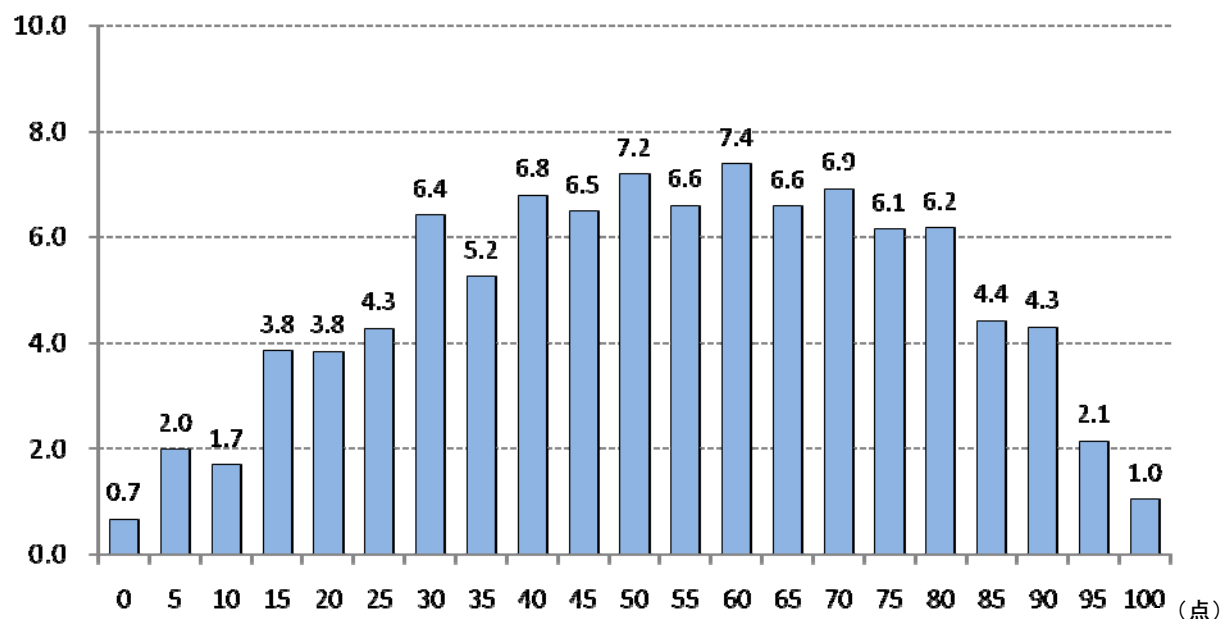
社会は、55点前後の生徒の割合が最も多い。

I-2-6 定着度調査集計結果(中学校1年 数学)

(%)

n:11, 160(調査を受けていない生徒は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)

H22 福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

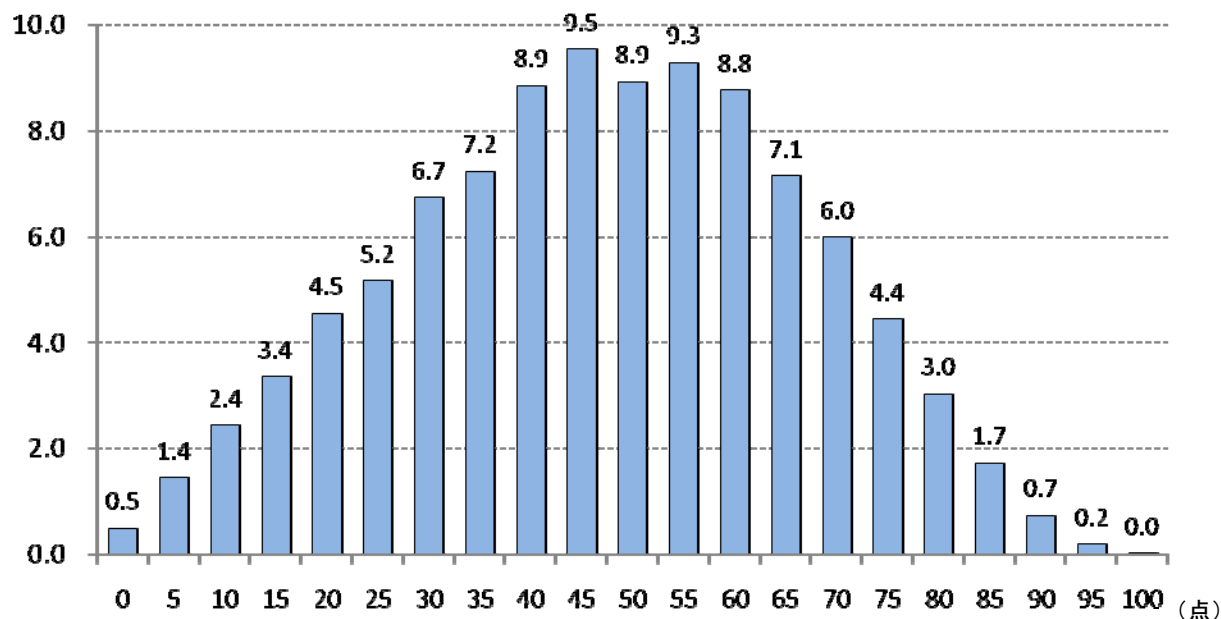
数学は、60点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-6 定着度調査集計結果(中学校1年 理科)

(%)

n:11, 175(調査を受けていない生徒は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)

H22福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

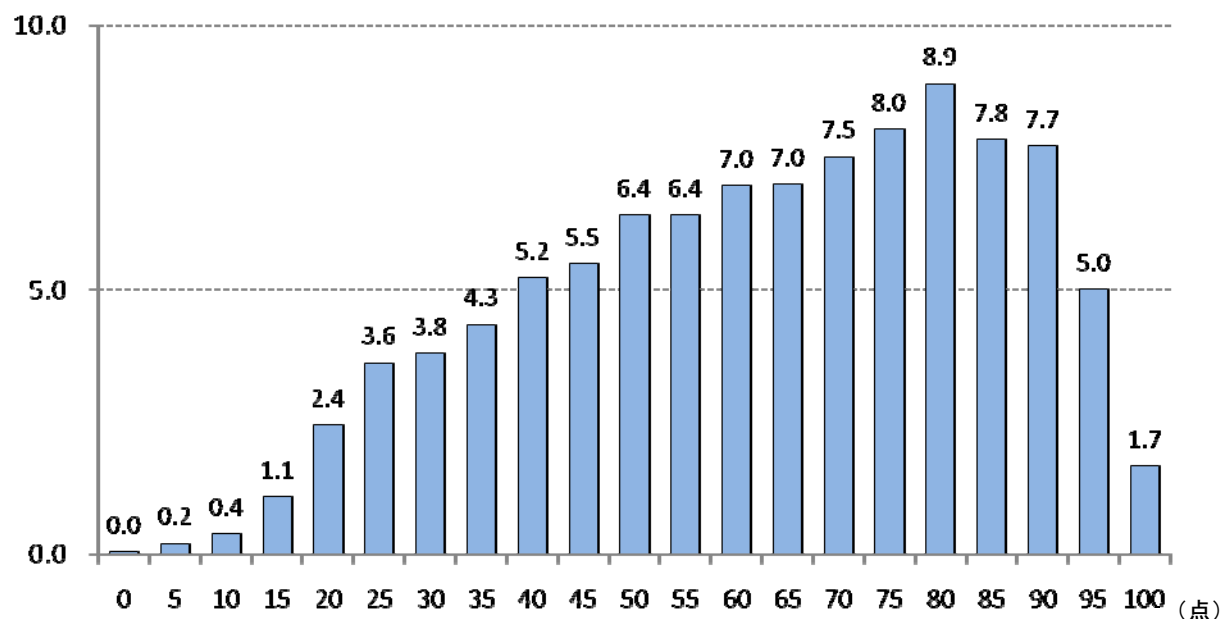
英語は、45点前後の生徒の割合が多いが、点数のバラツキは良い。

I-2-6 定着度調査集計結果(中学校1年 英語)

(%)

n:11, 201(調査を受けていない生徒は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)

H22 福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

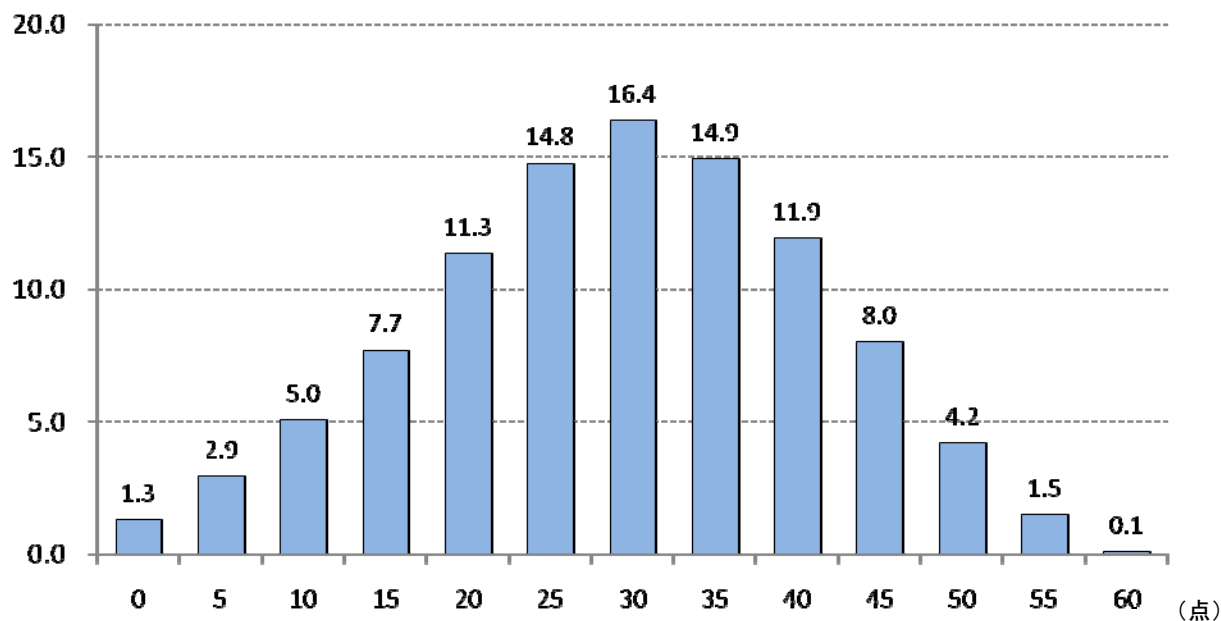
英語は、80点前後の生徒の割合が多く、点数が低い生徒の割合も多い傾向である。

I-2-7 定着度調査集計結果(中学校3年 国語)

(%)

n:11, 003(調査を受けていない生徒は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)※中3は60点満点

H22 福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

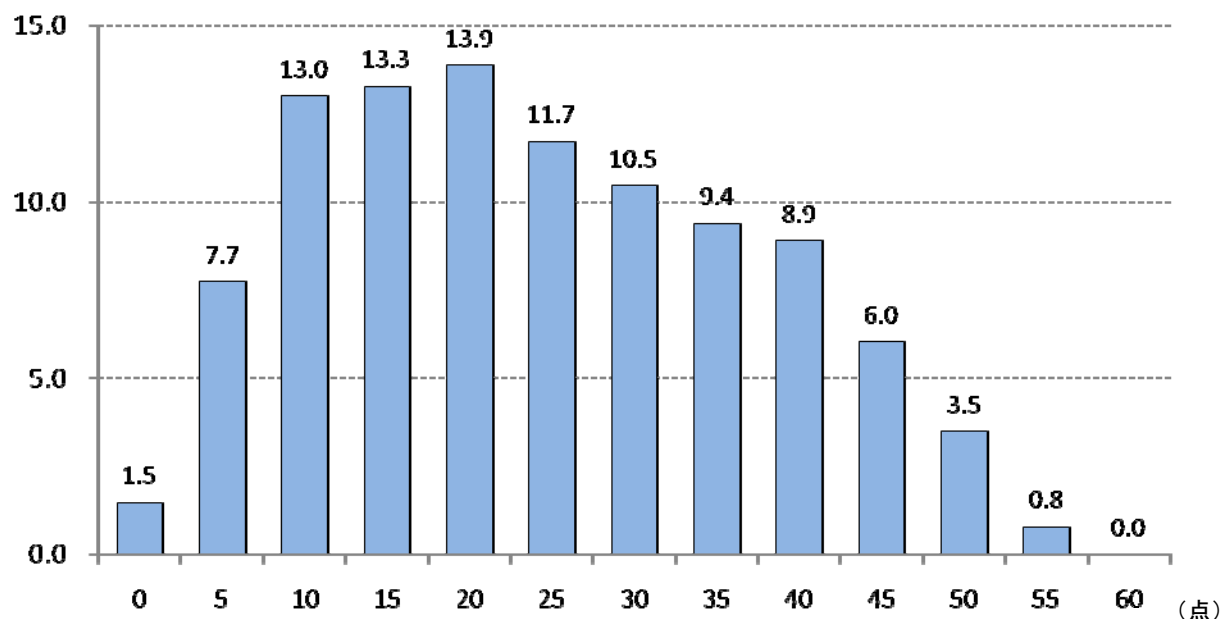
国語は、30点前後の生徒の割合が多い。

I-2-7 定着度調査集計結果(中学校3年 社会)

(%)

n:11,004(調査を受けていない生徒は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)※中3は60点満点

H22 福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

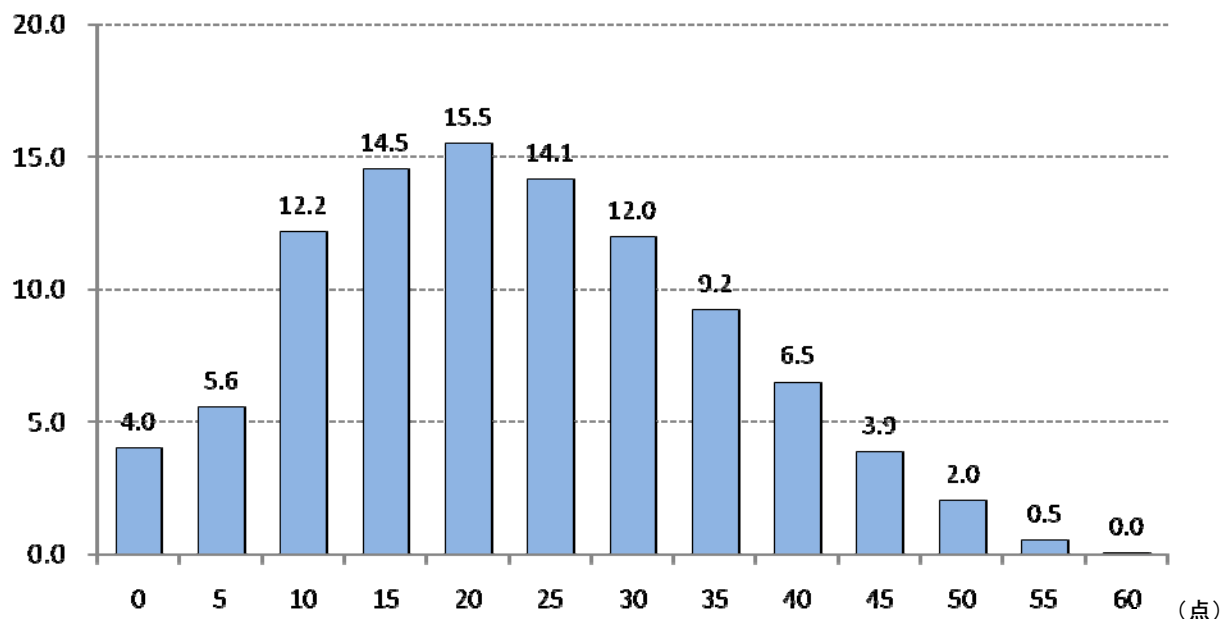
社会は、20点前後の生徒の割合が多く、低い得点の生徒の割合も多い。

I-2-7 定着度調査集計結果(中学校3年 数学)

(%)

n:10,839(調査を受けていない生徒は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)※中3は60点満点

H22 福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

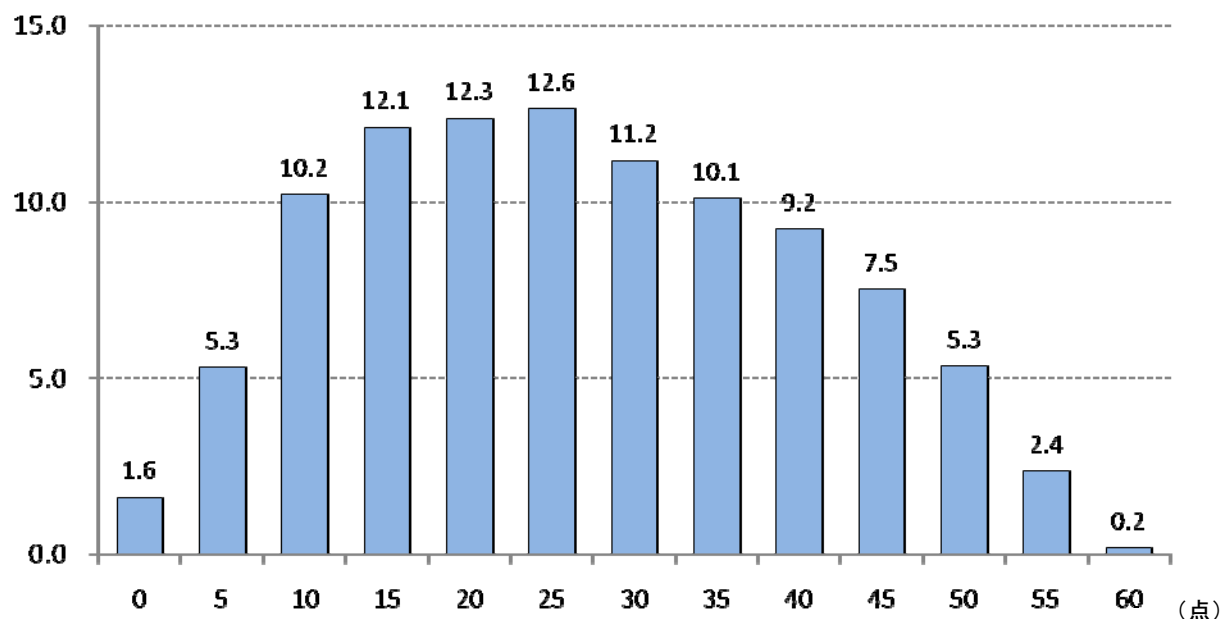
数学は、20点前後の生徒の割合が多く、低い得点の生徒の割合も多い。

I-2-7 定着度調査集計結果(中学校3年 理科)

(%)

n:10,999(調査を受けていない生徒は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合



※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)※中3は60点満点

H22 福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

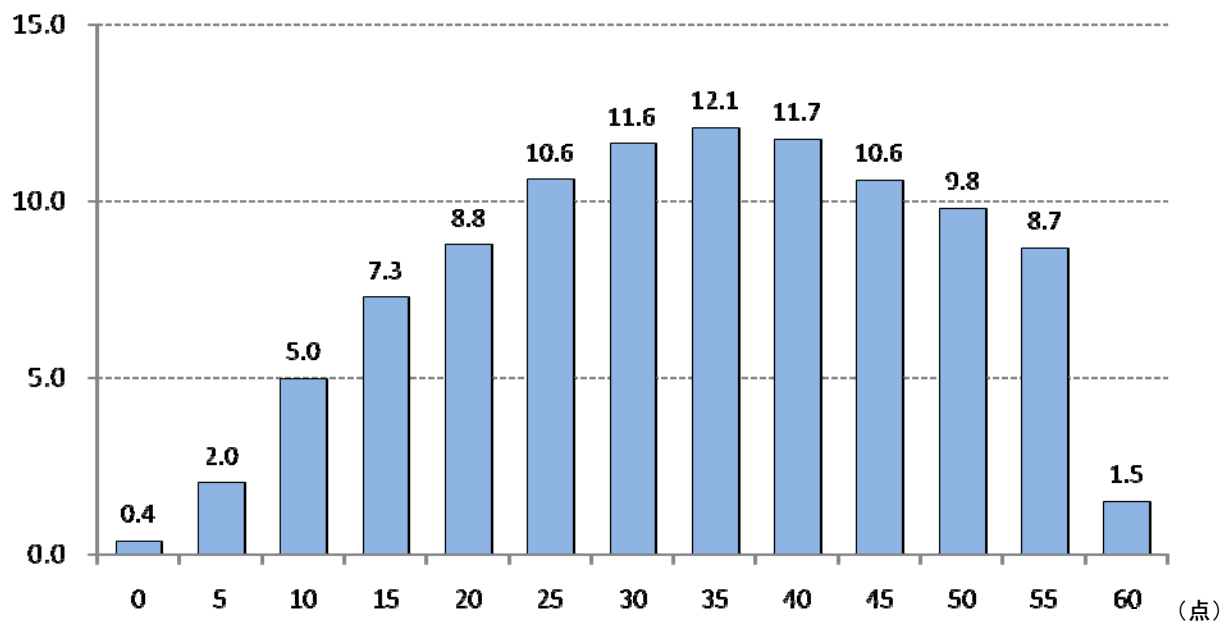
理科は、25点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

I-2-7 定着度調査集計結果(中学校3年 英語)

(%)

n:11,047(調査を受けていない生徒は除く)

※グラフの縦軸は全体の人数に対する割合

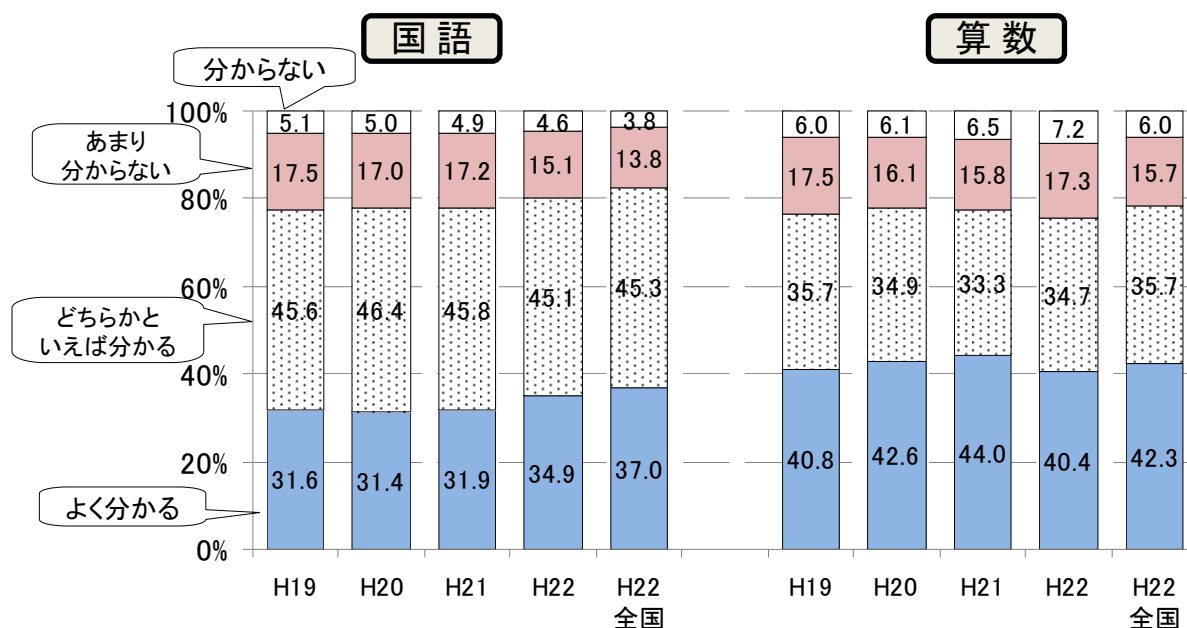


※グラフの横軸は得点区分(0=0点以上5点未満)※中3は60点満点

H22 福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

英語は、35点前後の生徒の割合が多く、点数のバラツキが大きい。

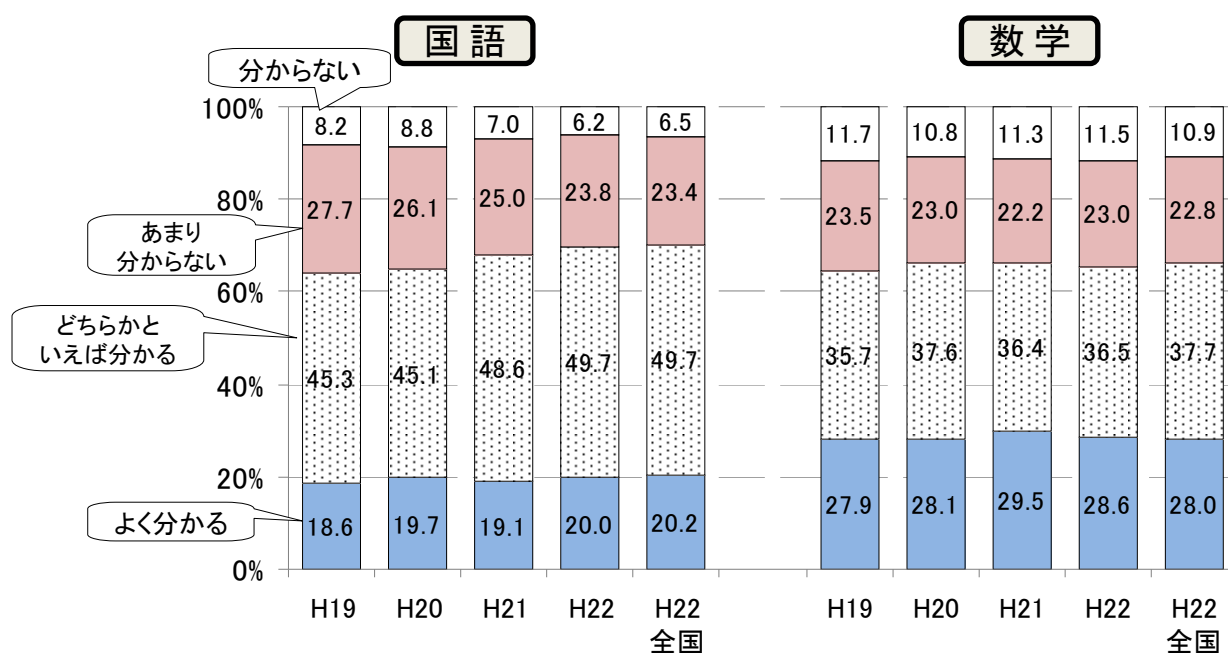
I-2-8 授業内容の理解(小学校6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

国語の授業内容が、「よく分かる」児童の割合は、増加傾向であるが、算数では、大きな変化は見られない。

I-2-8 授業内容の理解(中学校3年)

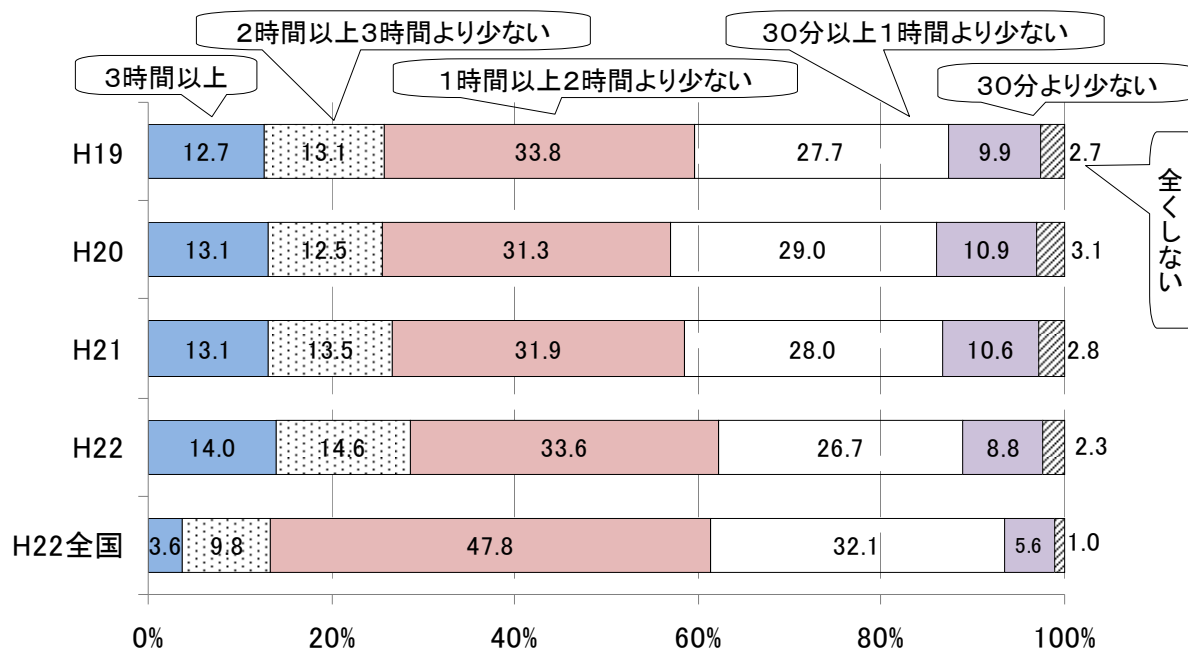


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

国語・数学とも授業内容が「よく分かる」生徒の割合には、大きな変化は見られない。

I-3 学習習慣・家庭学習

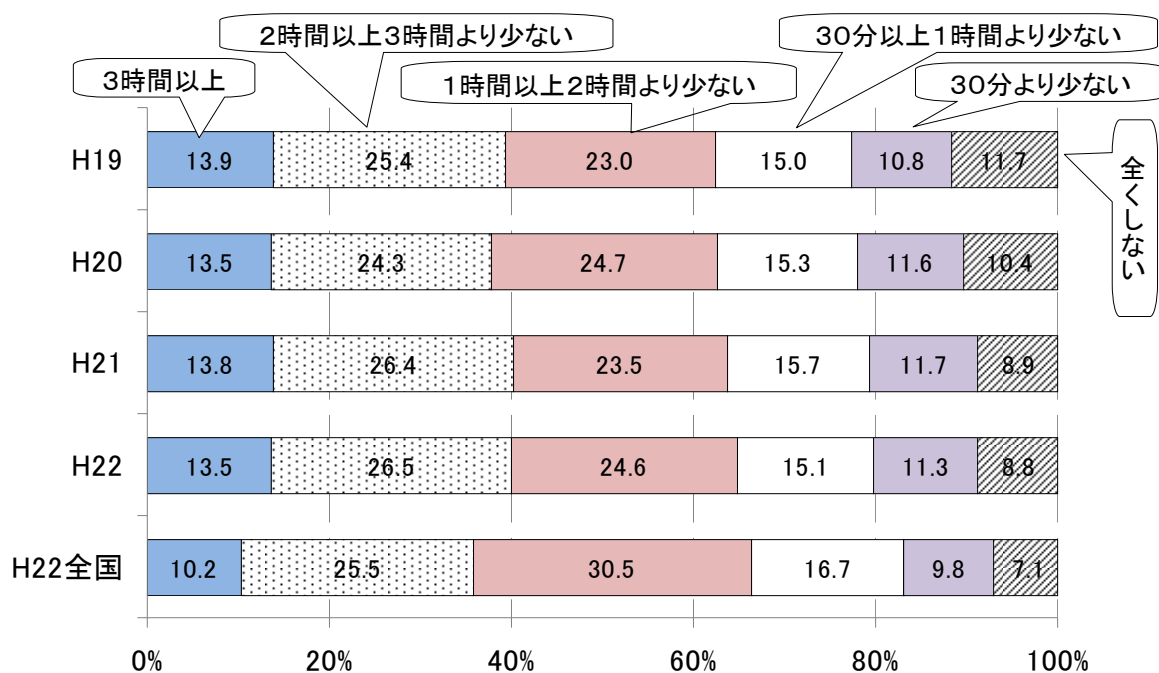
I-3-1 普段(月～金曜日)の勉強時間(小学校6年)※塾・家庭教師を含む



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

普段の家庭での勉強時間について、「全くしない」生徒の割合が減少しているが、まだ、この割合は全国平均を上回っている。

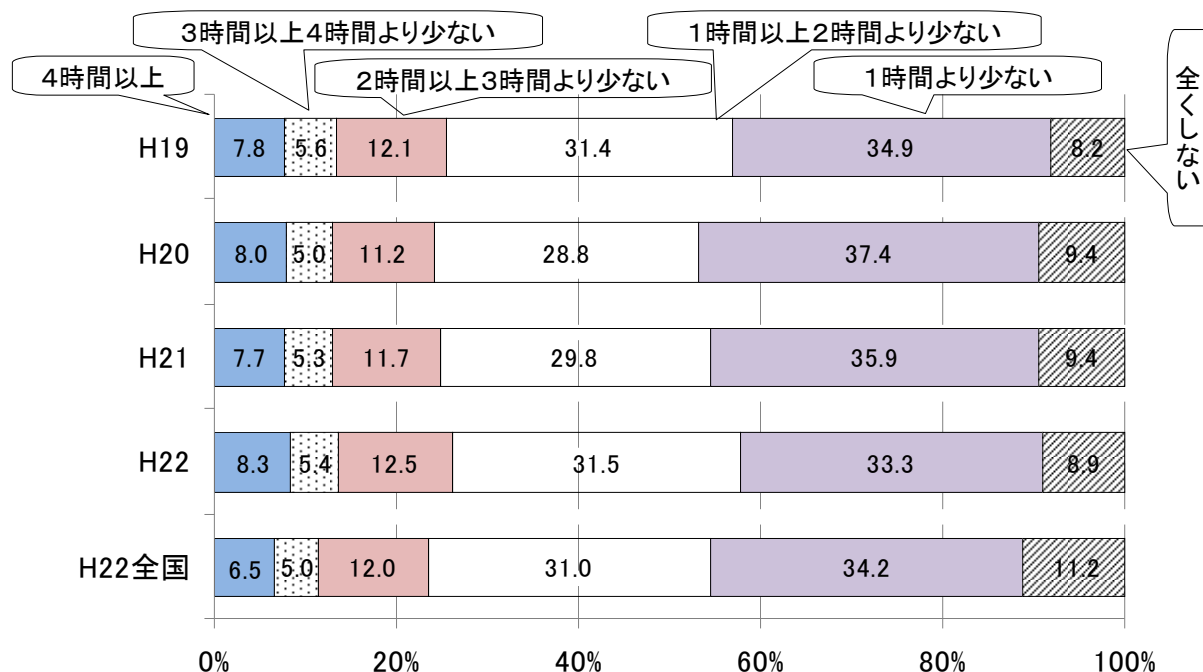
I-3-1 普段(月～金曜日)の勉強時間(中学校3年)※塾・家庭教師を含む



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

普段の勉強時間については、「全くしない」生徒の割合がわずかに減少しているが、まだ、この割合は、全国平均を上回っている。

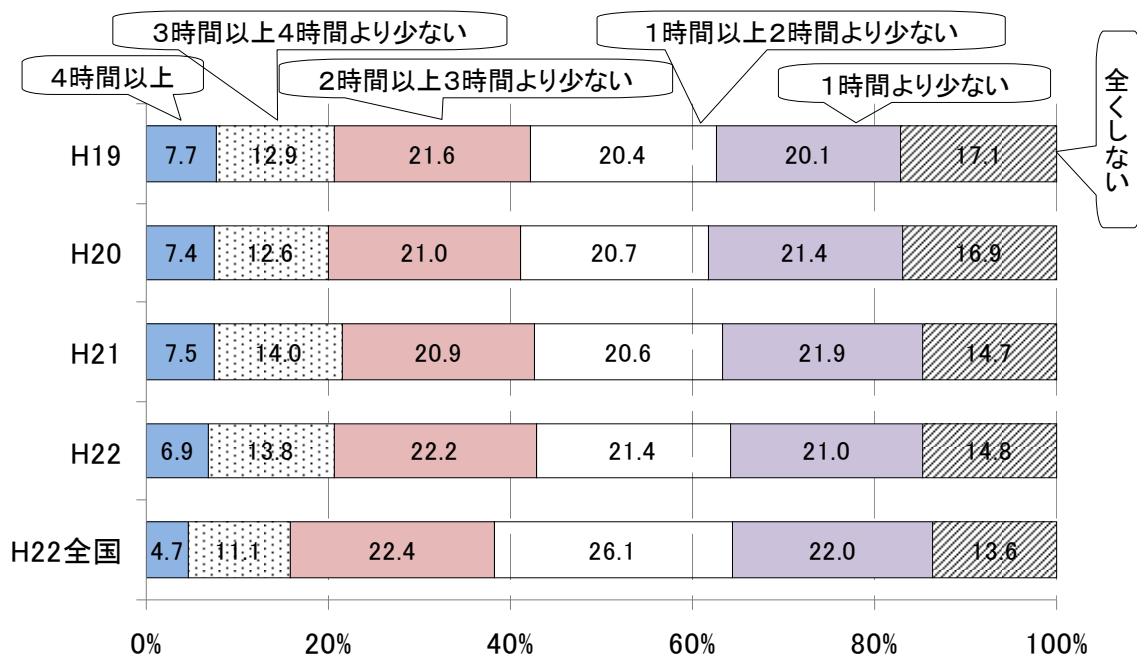
I-3-2 土日など学校が休みの日の勉強時間(小学校6年) ※塾・家庭教師を含む



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

学校が休みの日の家庭での勉強時間に、ほとんど変化は見られない。しかし、約9%の児童は全く勉強していない。

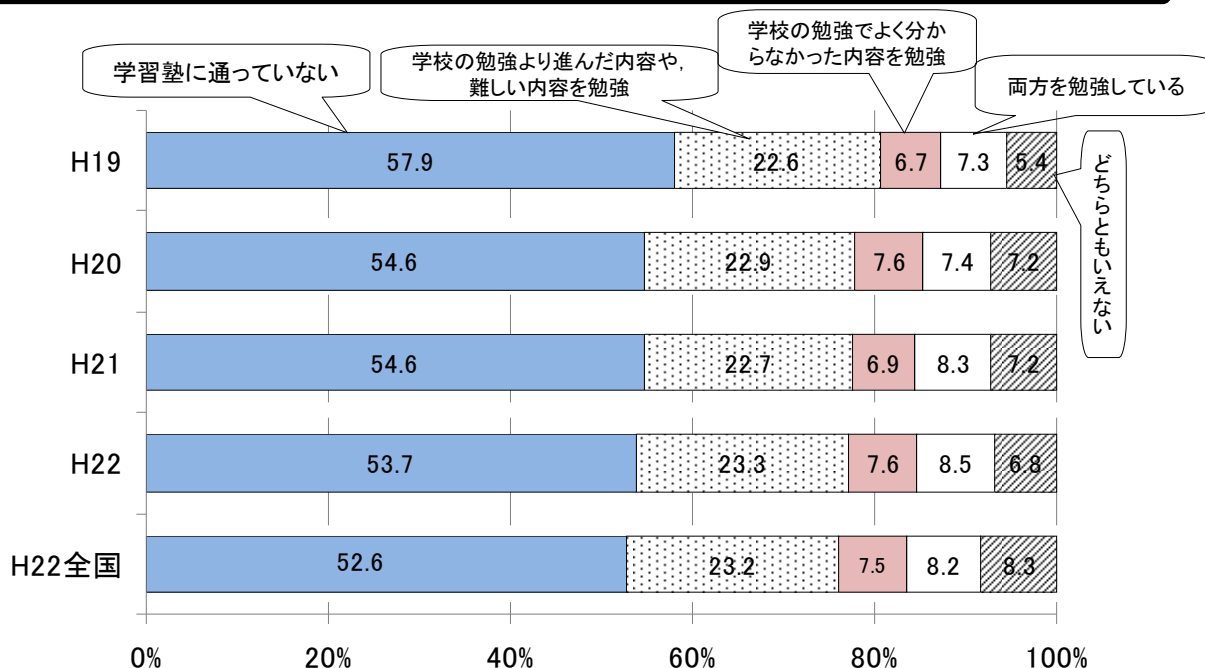
I-3-2 土日など学校が休みの日の勉強時間(中学校3年) ※塾・家庭教師を含む



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

学校が休みの日の家庭での勉強時間に、ほとんど変化は見られない。しかし、約15%の生徒は全く勉強していない。

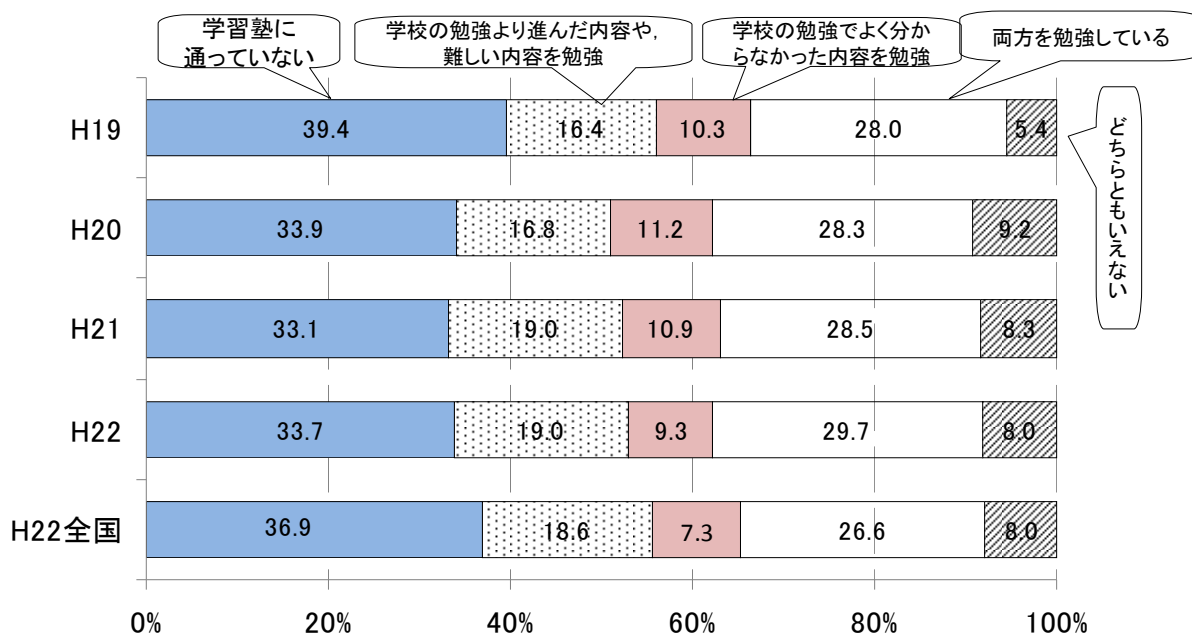
I-3-3 学習塾(家庭教師を含む)での勉強(小学校6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

学習塾に通っていない児童の割合は、減少傾向となっている。「学校の勉強より進んだ内容や難しい内容の勉強」や「学校でよく分からなかった内容を勉強」する児童の割合が増加している。

I-3-3 学習塾(家庭教師を含む)での勉強(中学校3年)

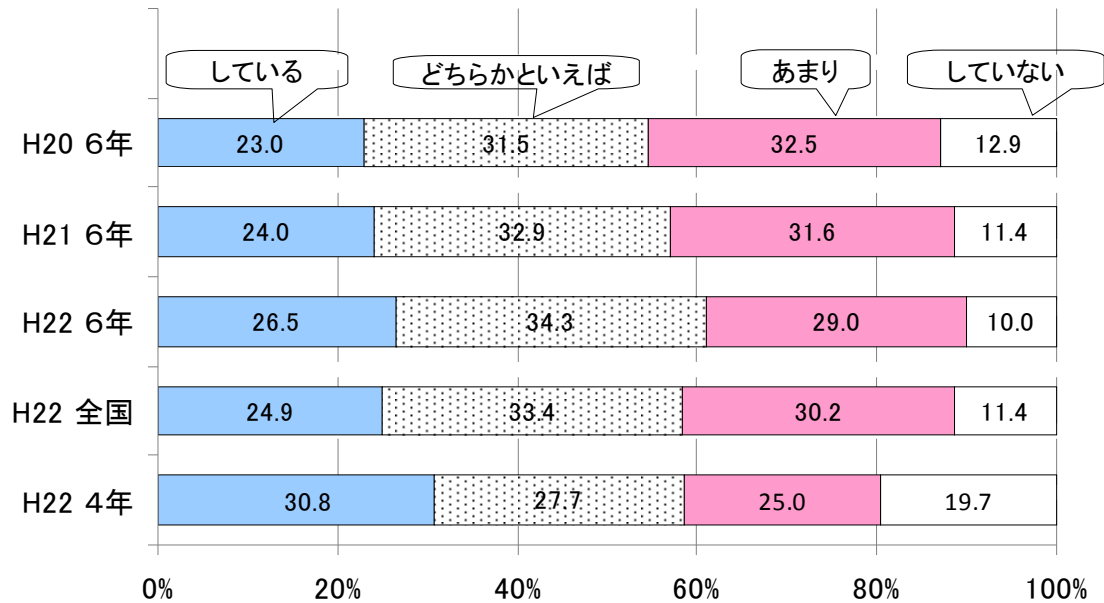


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

学習塾に通っていない生徒の割合は、全国平均より低い。

I-3-4 計画的な家庭学習(小学校4・6年)

※19年度は調査なし

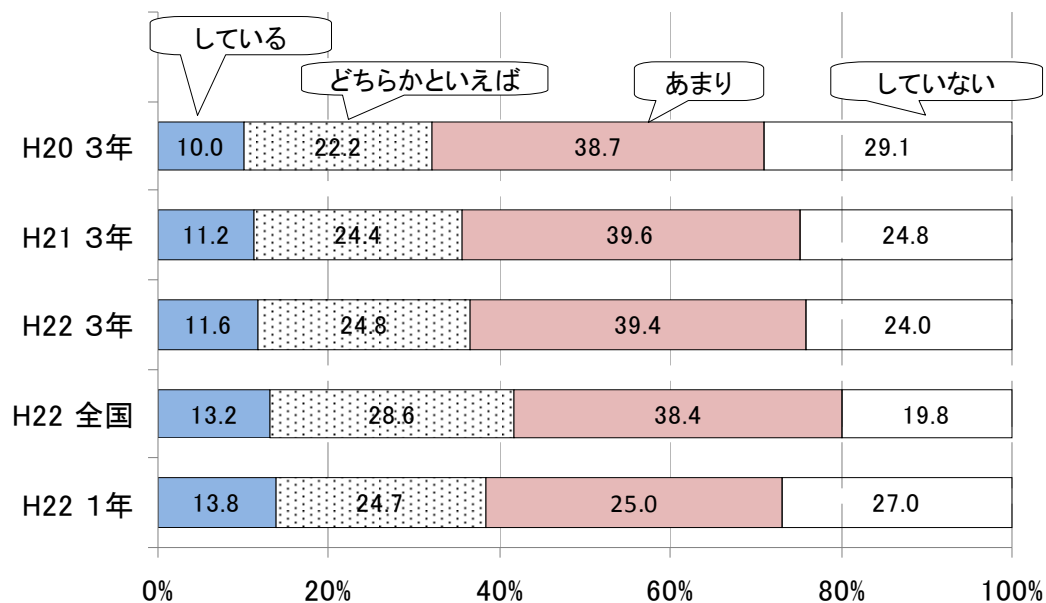


文部科学省「全国学力・学習状況調査(小6)」・福岡市「生活習慣・学習等定着度調査(小4)」

「自分で計画を立てて、家庭で勉強している」小学校6年生の割合は、年々増加している傾向である。

I-3-4 計画的な家庭学習(中学校1・3年)

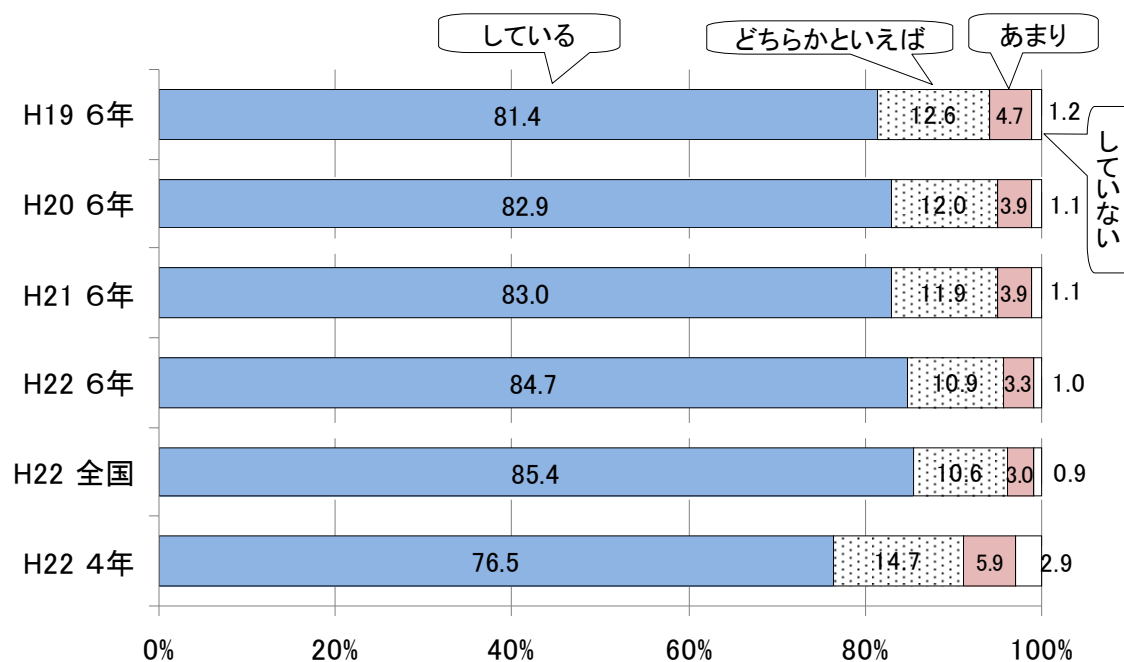
※19年度は調査なし



文部科学省「全国学力・学習状況調査(中3)」・福岡市「生活習慣・学習等定着度調査(中1)」

「自分で計画を立てて、家庭で勉強している」中学3年生の割合は、ほとんど変化が見られない。

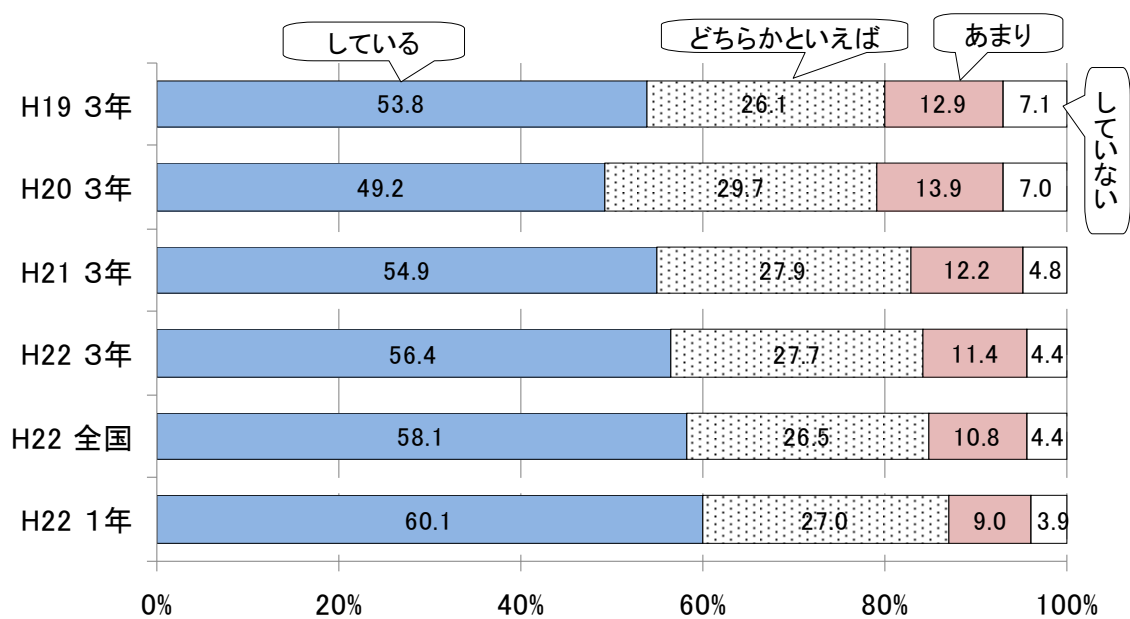
I-3-5 宿題(小学校4・6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査(小6)」・福岡市「生活習慣・学習等定着度調査(小4)」

家庭で学校の宿題をしている小学校6年の児童の割合は、わずかではあるが増加傾向である。

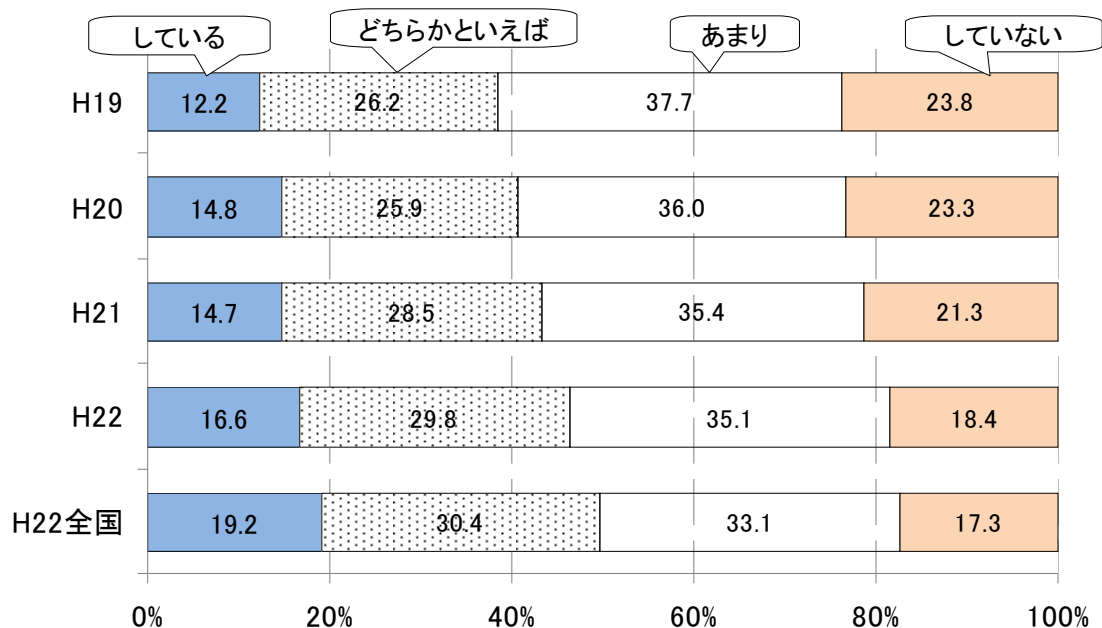
I-3-5 宿題(中学校1・3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査(中3)」・福岡市「生活習慣・学習等定着度調査(中1)」

家庭で学校の宿題をしている中学校3年の生徒の割合が、わずかずつではあるが増加傾向である。

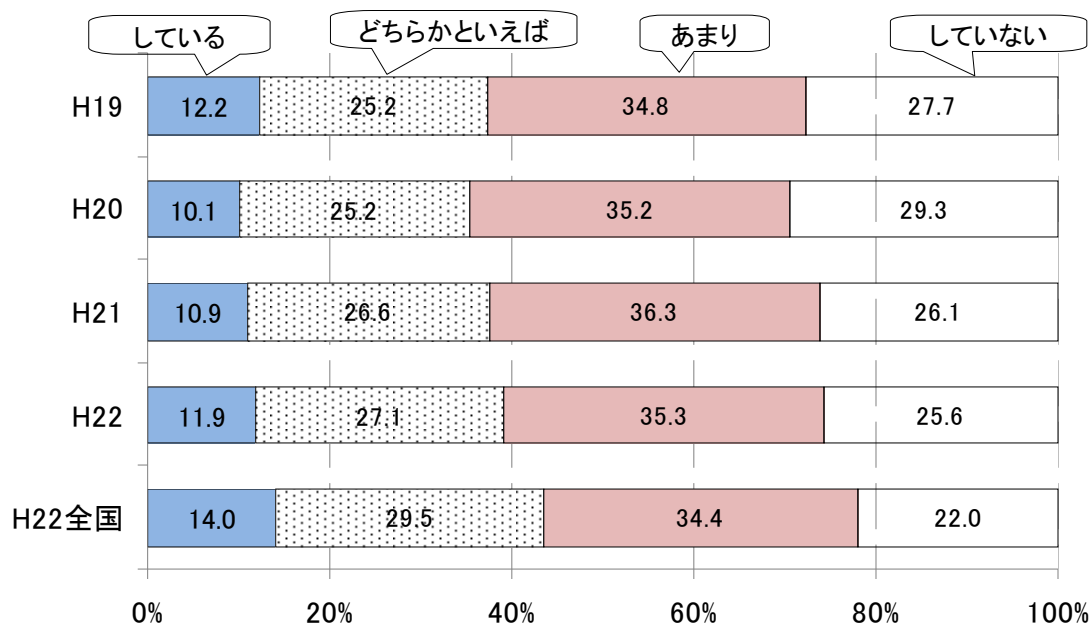
I-3-6 授業の復習(小学校6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

家庭で学校の授業の復習を「している」「どちらかといえば」の割合が、増加している傾向である。

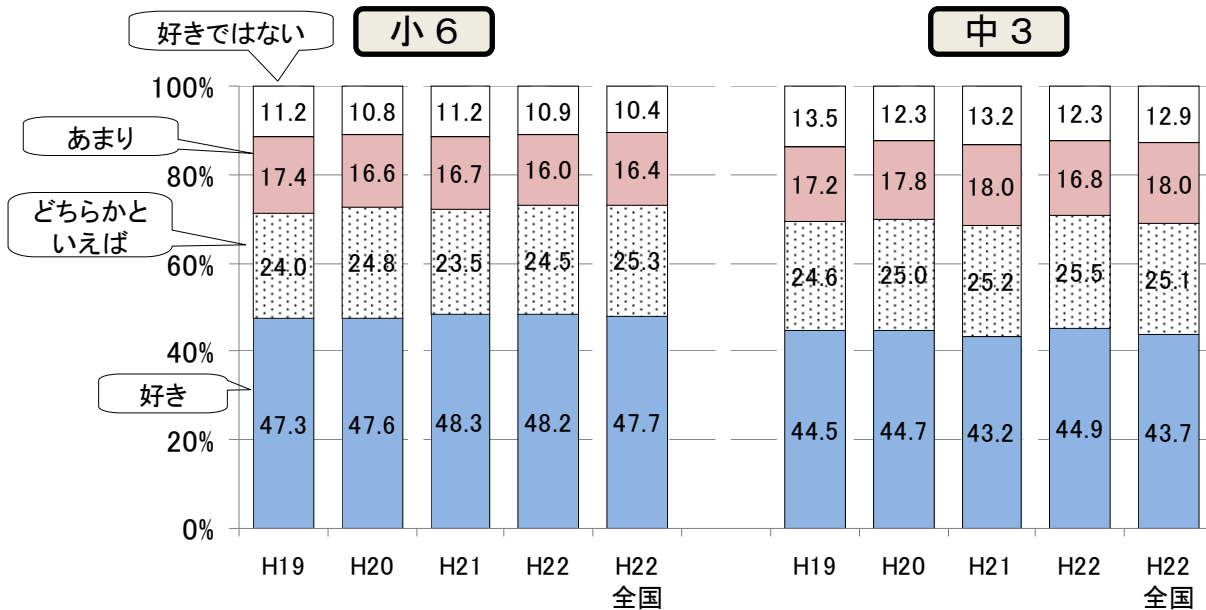
I-3-6 授業の復習(中学校3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

家庭で学校の授業の復習を「している」「どちらかといえば」の割合は、年々増加している傾向がある。

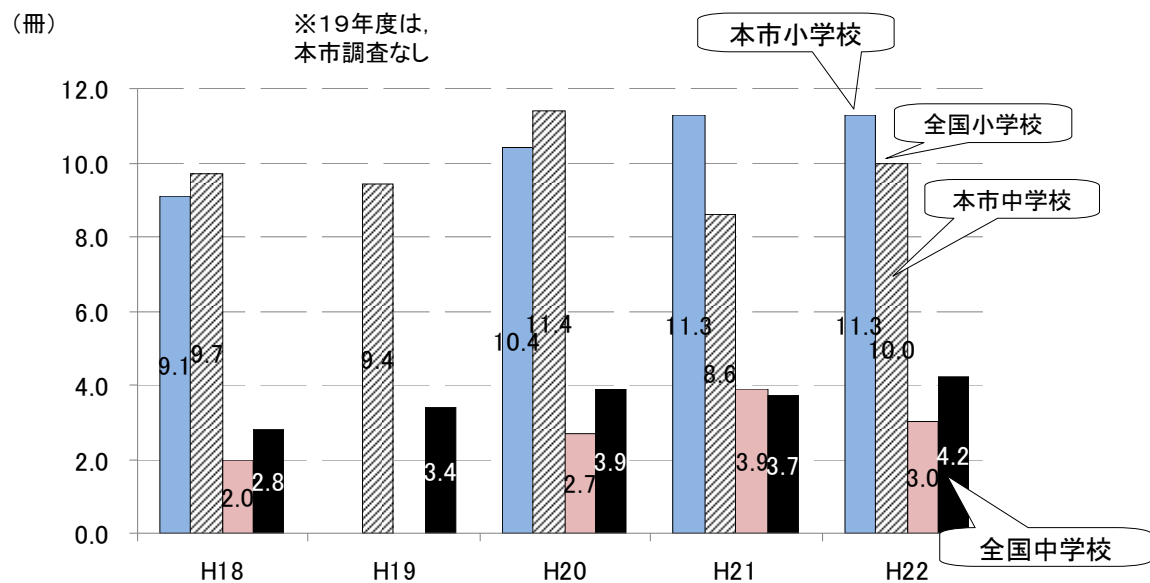
I-3-7 読書



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

読書が好きと回答している児童生徒の割合に、ほとんど変化は見られない。

I-3-8 1か月の平均読書冊数(小学校・中学校)



福岡市教育委員会調べ

平成22年度の本市小学校では全国小学校の1ヶ月平均読書冊数を上回っている。

I ー4 進路状況

I ー4ー1 中学校卒業者の進路状況



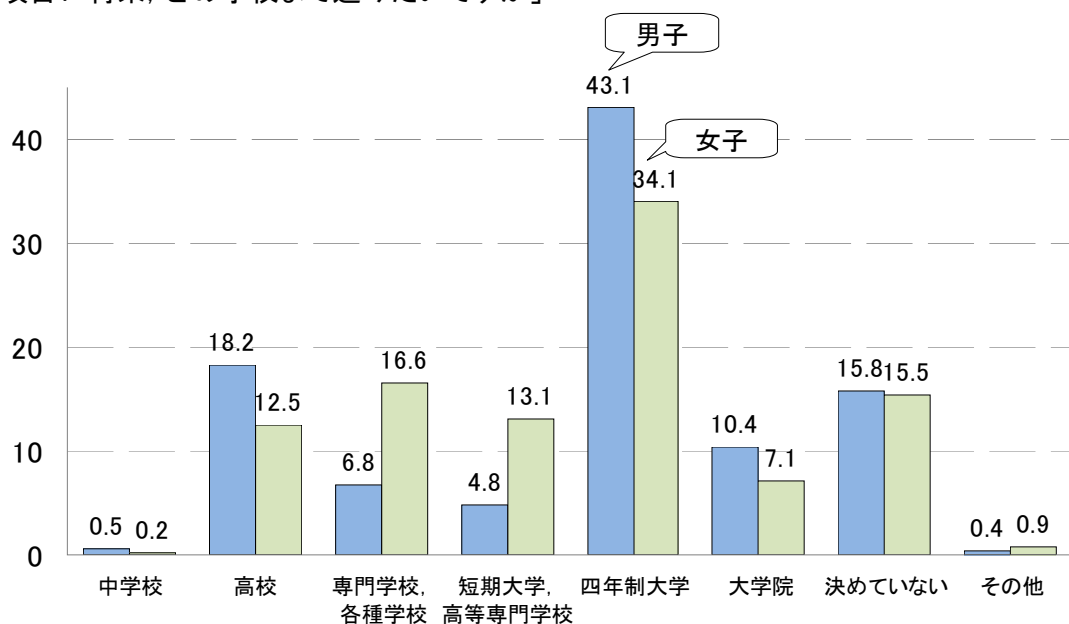
文部科学省「学校基本調査」

中学校卒業者の進路状況に、ほとんど大きな変化は見られない。

I ー4ー2 中学校3年生における進路に対する意識

質問項目：「将来、どの学校まで進みたいですか」

(%)

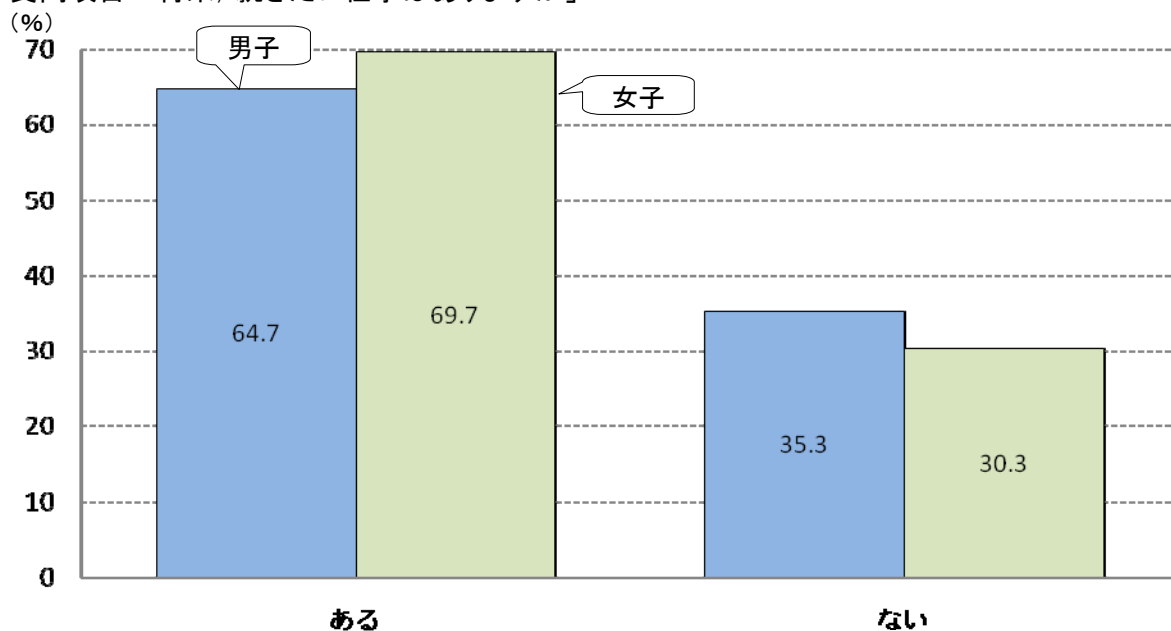


H22生活習慣・学習等定着度調査

多くの中学校3年の生徒が、四年制大学までの進学を希望している。

I-4-2 中学校3年生における進路に対する意識

質問項目:「将来、就きたい仕事はありますか」

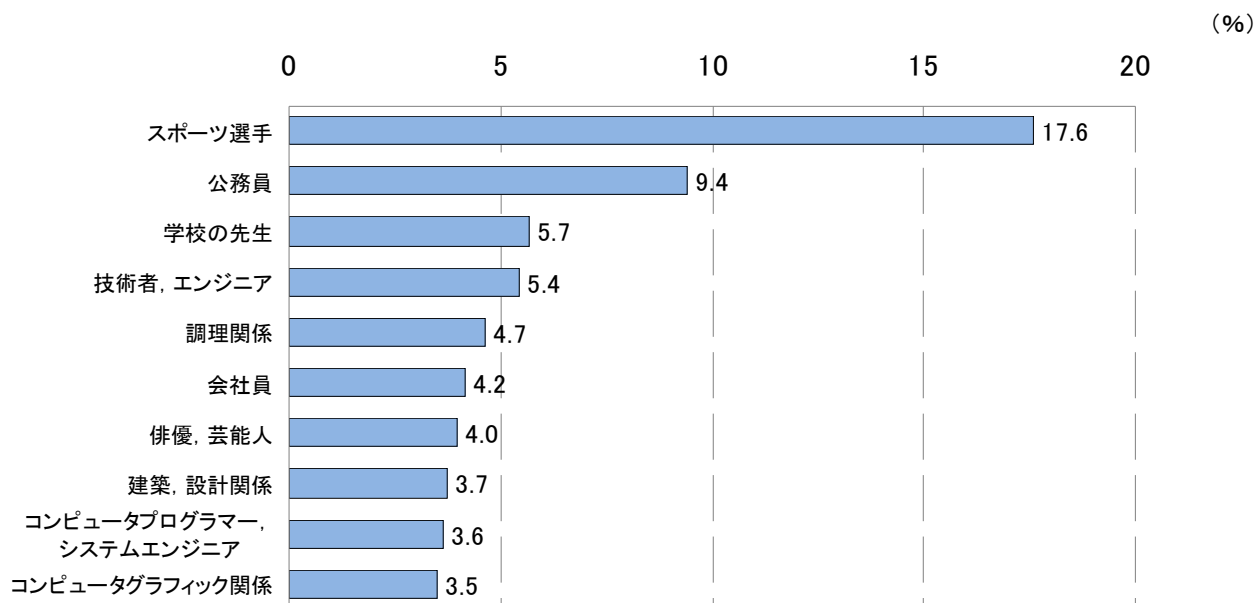


H22福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

中学校3年の7割弱の生徒が、将来、就きたい仕事があると回答しており、男子より女子の方が多い。

I-4-2 中学校3年生における進路に対する意識

質問項目:「将来、就きたい仕事は」(男子生徒:上位10項目)

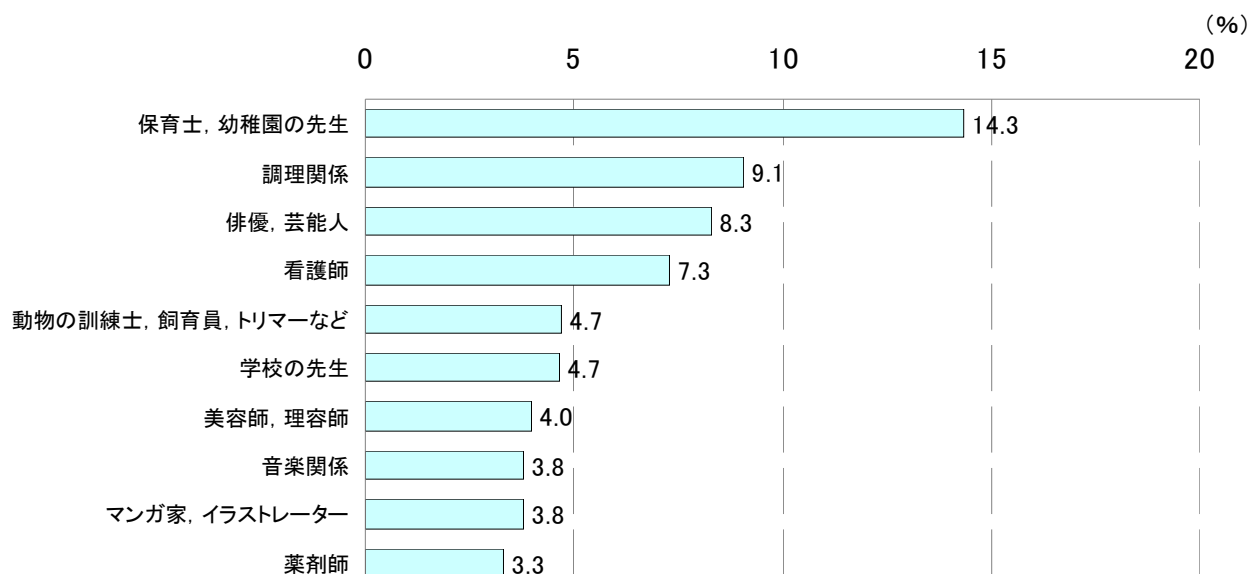


H22福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

中学校3年の多くの男子生徒は、将来、「スポーツ選手」「公務員」などに就きたいと考えている。

I-4-2 中学校3年生における進路に対する意識

質問項目:「将来、就きたい仕事は」(女子生徒:上位10項目)

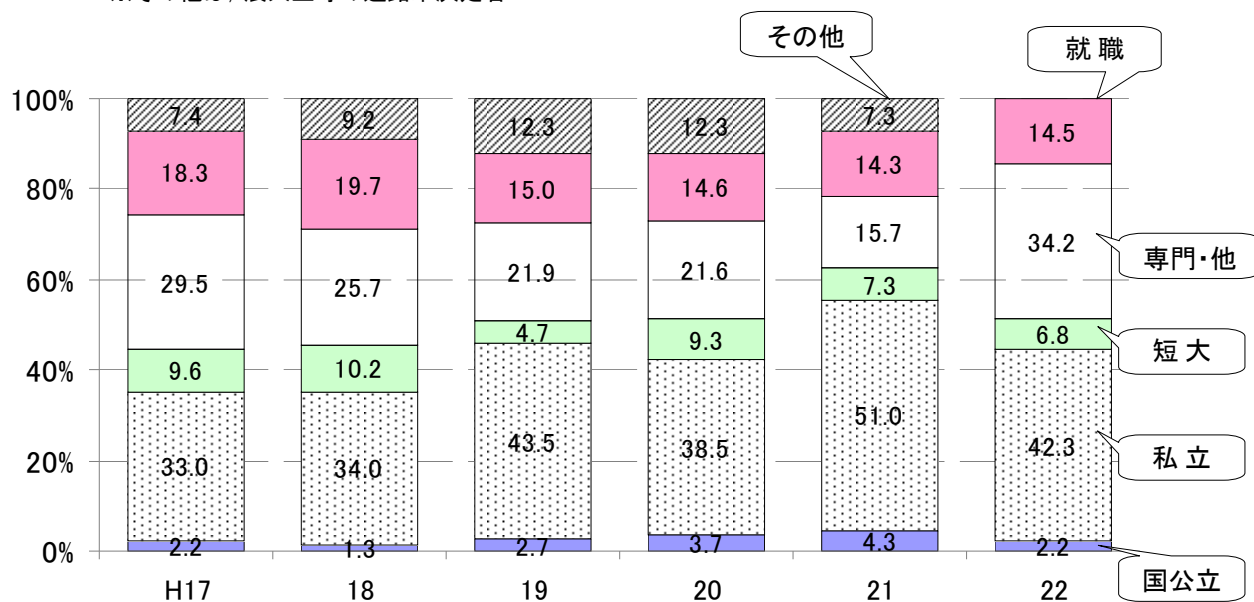


H22福岡市「生活習慣・学習等定着度調査」

中学校3年の女子の生徒は、将来、「保育士, 幼稚園の先生」「調理関係」などに就きたいと考えている。

I-4-2 福岡市立福翔高等学校の進路状況

※その他は、浪人生等の進路未決定者

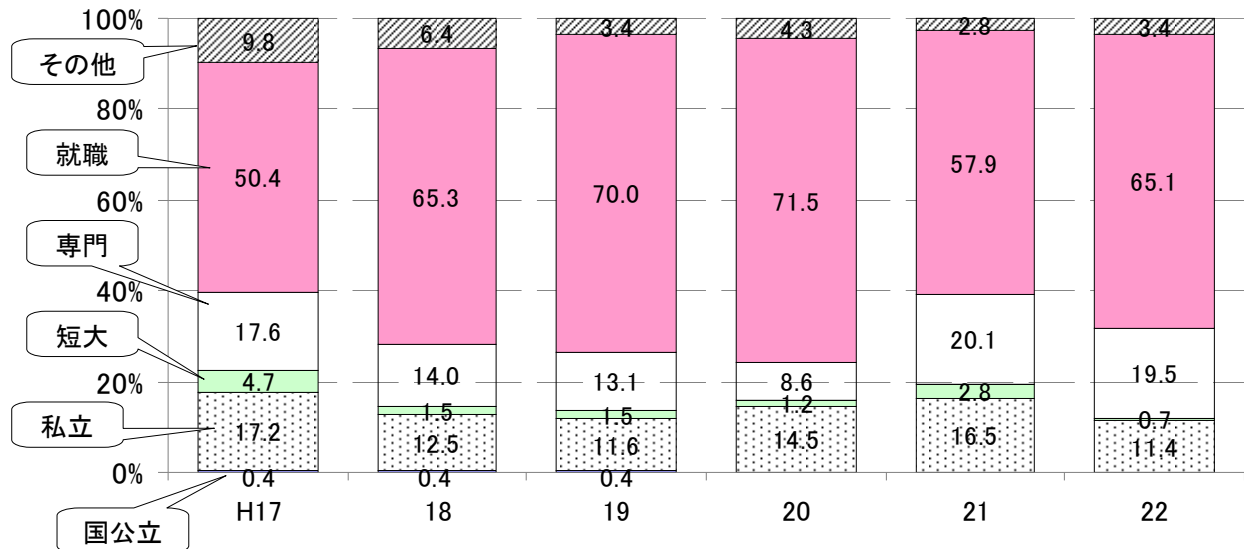


福岡市教育委員会調べ

福翔高等学校の進路状況は、四年制大学(国公立+私立)への進学割合が年々増加している。

I-4-3 福岡市立博多工業高等学校の進路状況

※その他は、浪人生等の進路未決定者

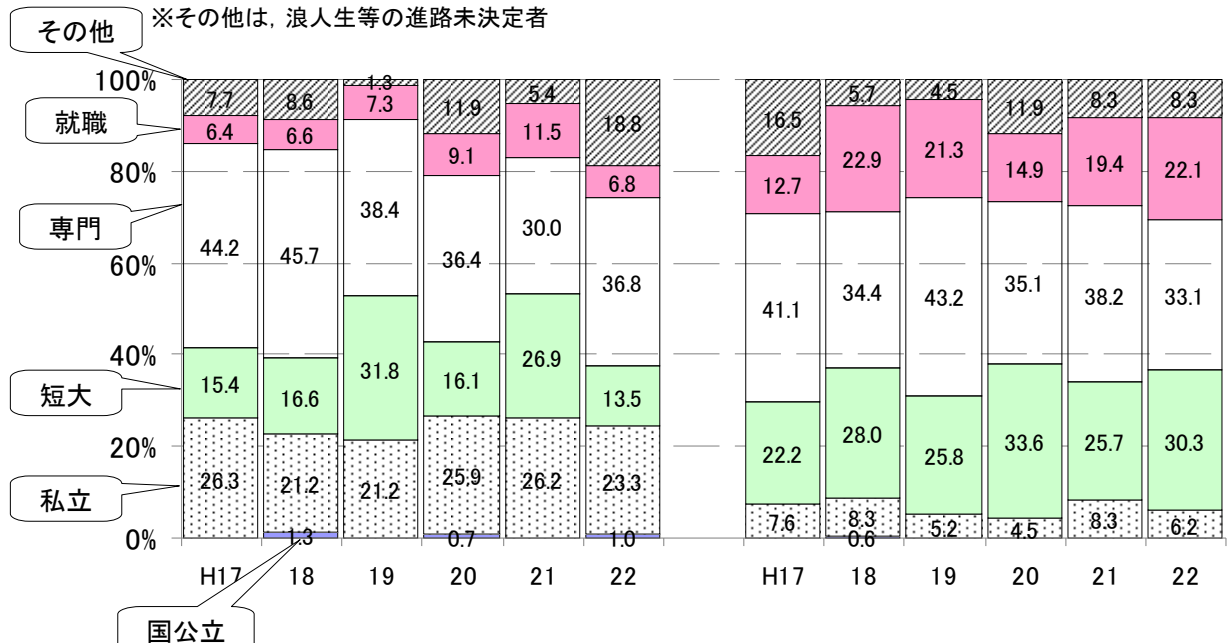


福岡市教育委員会調べ

博多工業高等学校の進路状況は、その他(進路未決定者など)の割合が年々減少している。

I-4-4 福岡市立福岡女子高等学校の進路状況

※その他は、浪人生等の進路未決定者



普通科と国際教養科

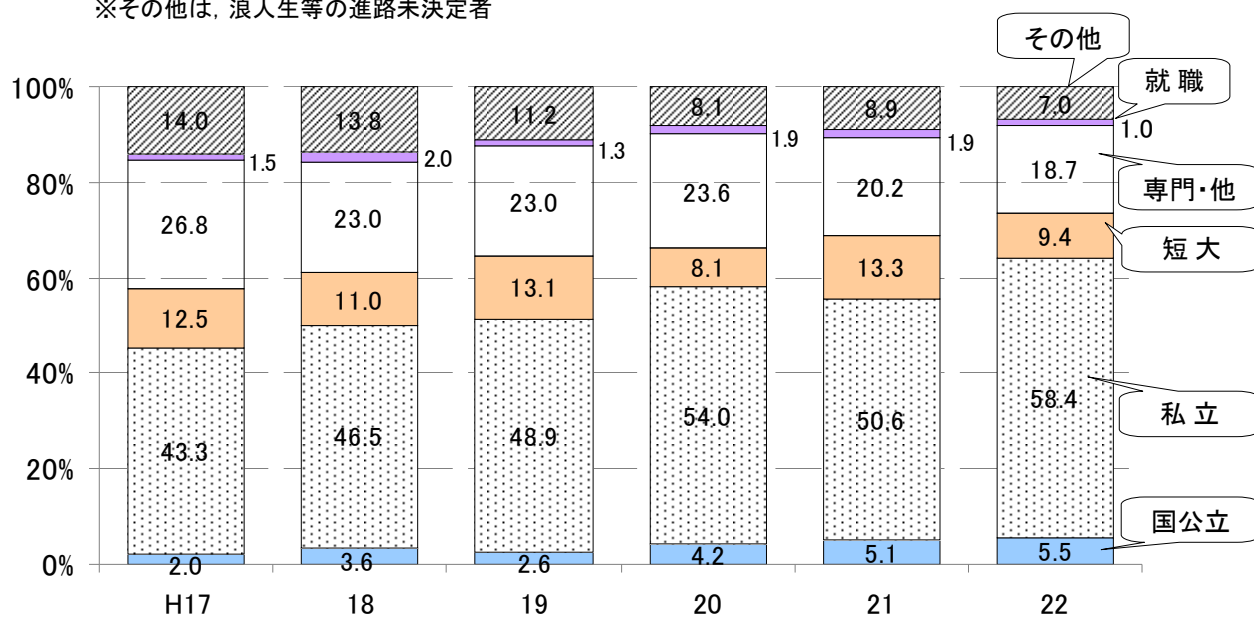
家庭学科(服飾デザイン科, 食物調理科, 保育福祉科, 生活情報科)

福岡市教育委員会調べ

福岡女子高等学校の進路状況は、年度・学科によって異なるが進学する生徒が多数を占める。

I-4-5 福岡市立福岡西陵高等学校の進路状況

※その他は、浪人生等の進路未決定者

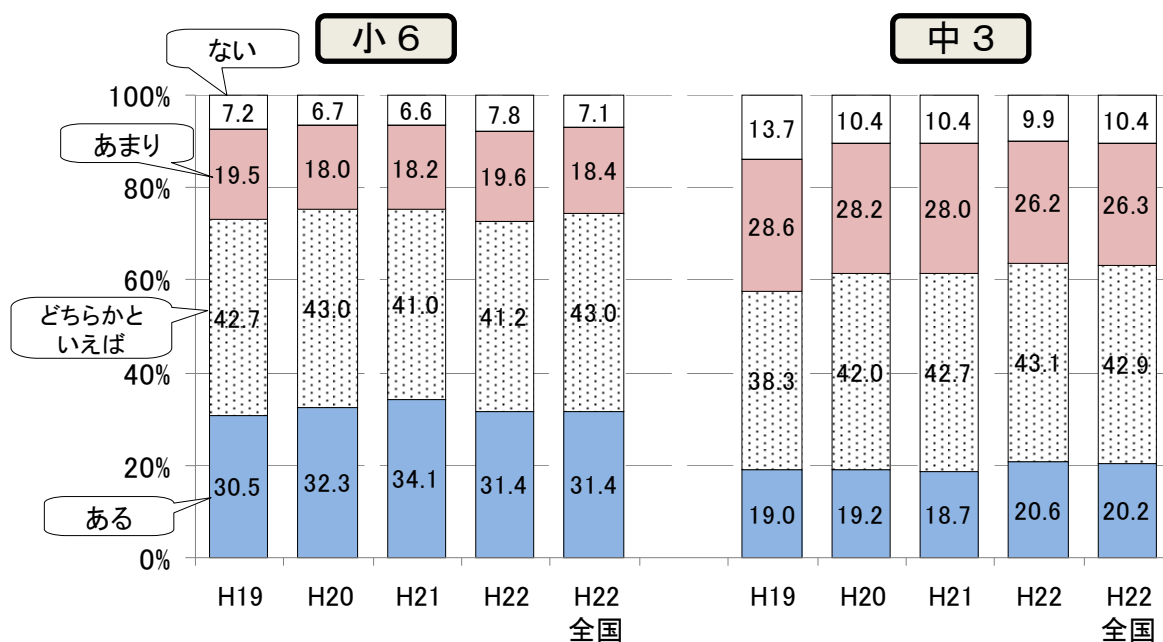


福岡市教育委員会調べ

福岡西陵高等学校の進路状況は、四年制大学(国公立+私立)への進学割合が年々増加傾向となっている。

I-5 自尊意識・規範意識

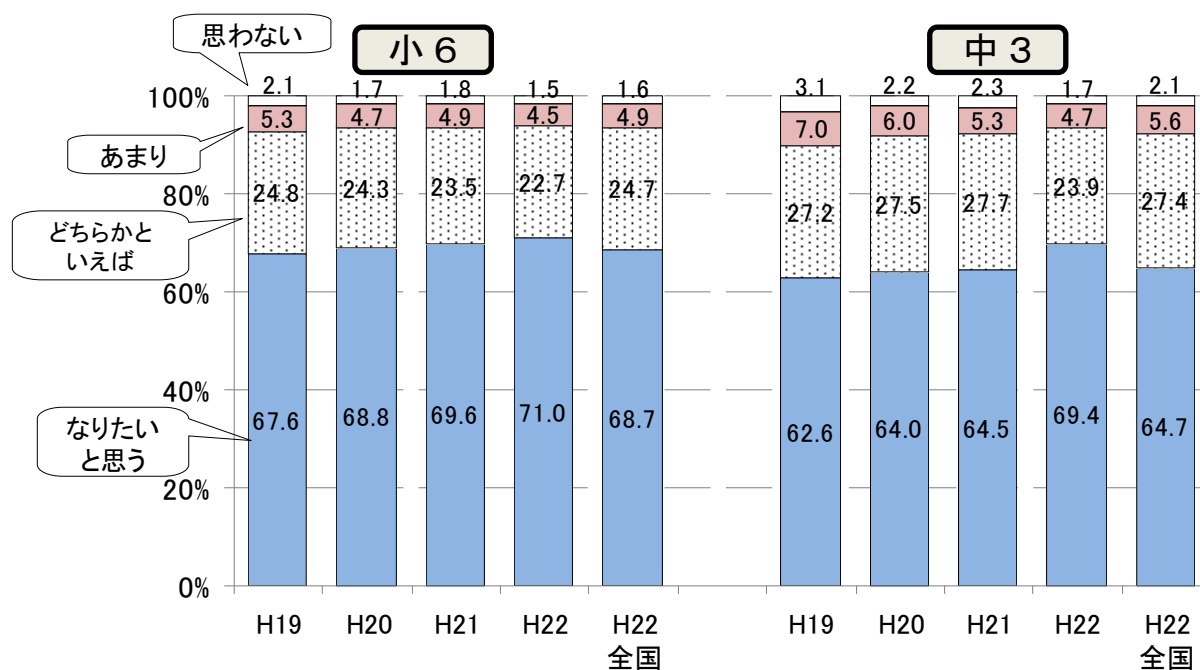
I-5-1 自分のよさ



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

「自分にはよいところがある」と回答している児童生徒の割合は、小6、中3ともあまり変化が見られない。

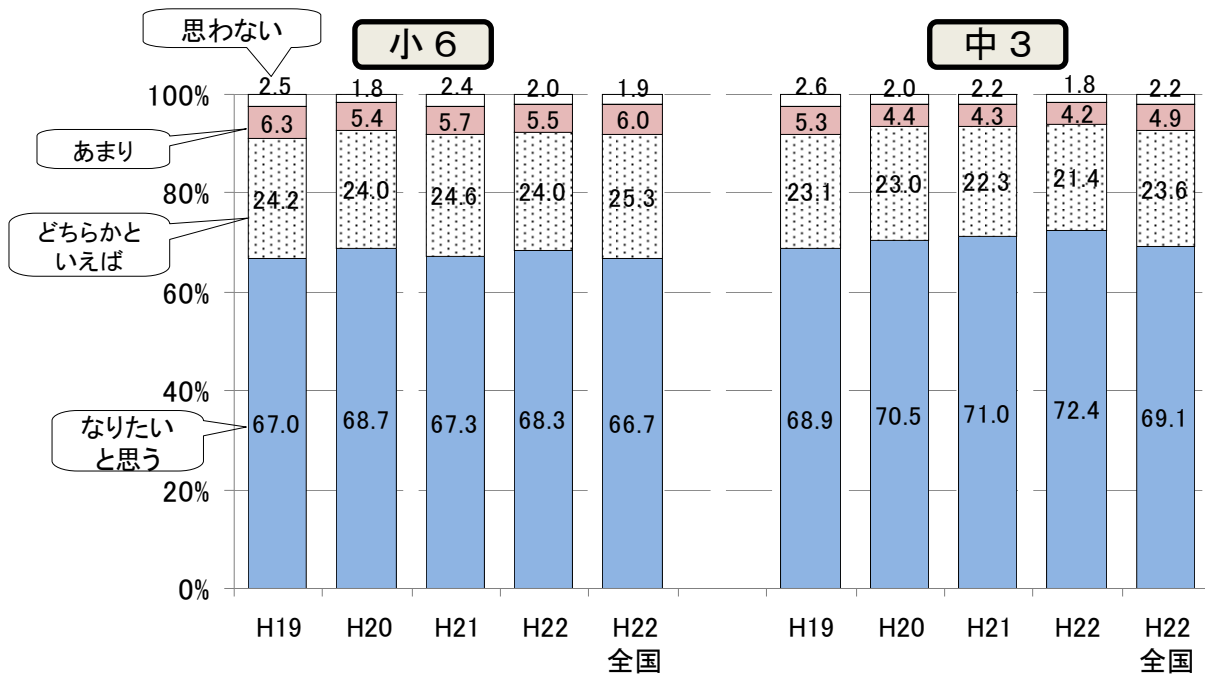
I-5-2 人の役に立つ人間への志向



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

「人の役に立つ人間になりたい」と回答している児童生徒の割合は、小6、中3ともあまり変化が見られない。

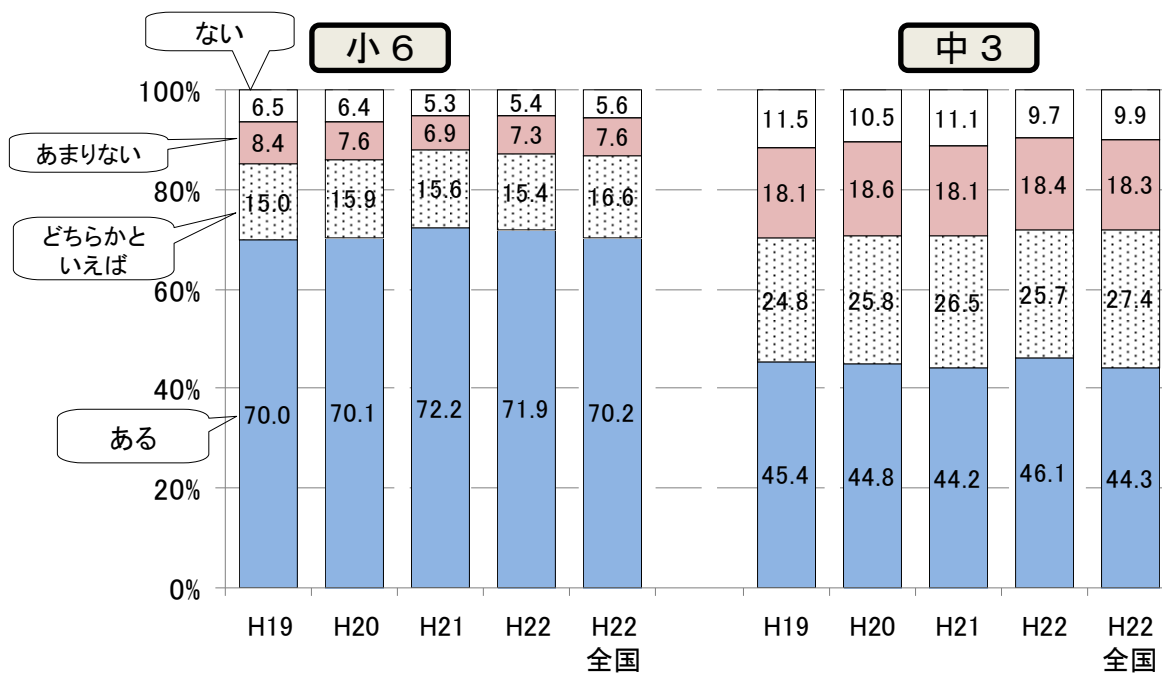
I-5-3 人の気持ちがわかる人間への志向



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

「人の気持ちがわかる人間になりたい」と回答している児童生徒の割合は、小6にはほとんど変化は見られないが、中3は微増傾向となっている。

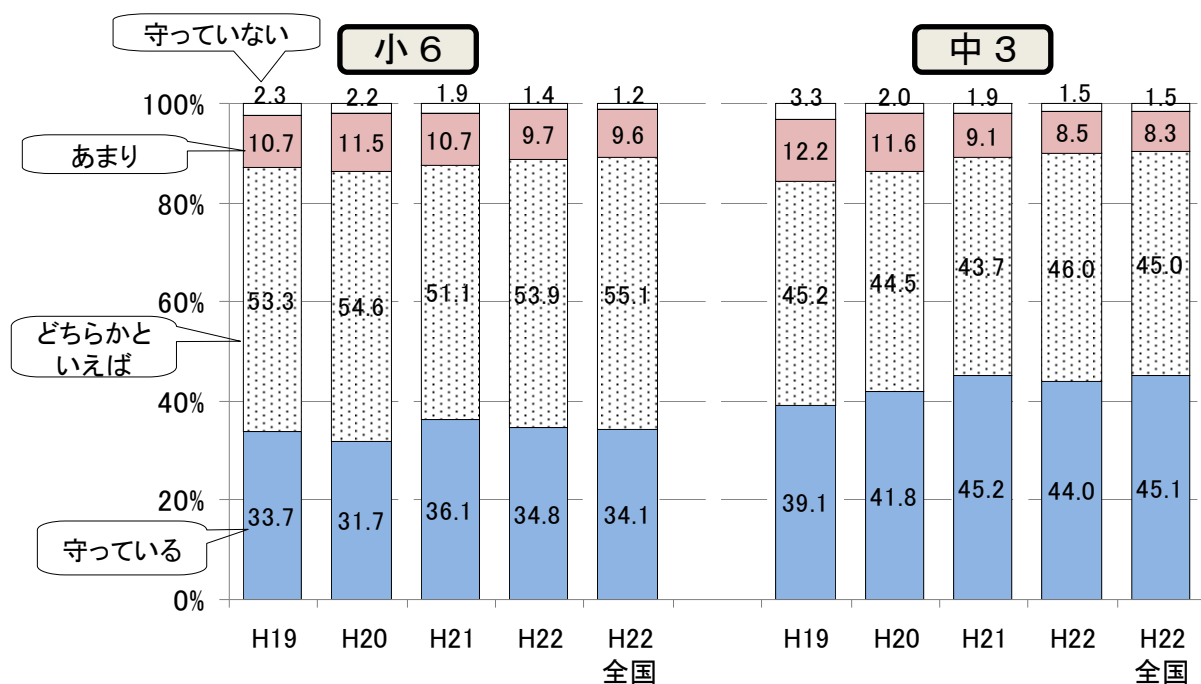
I-5-4 将来の夢や目標



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

「将来の夢や目標を持っている」と回答している児童生徒の割合は、小6、中3ではほとんど変化は見られない。

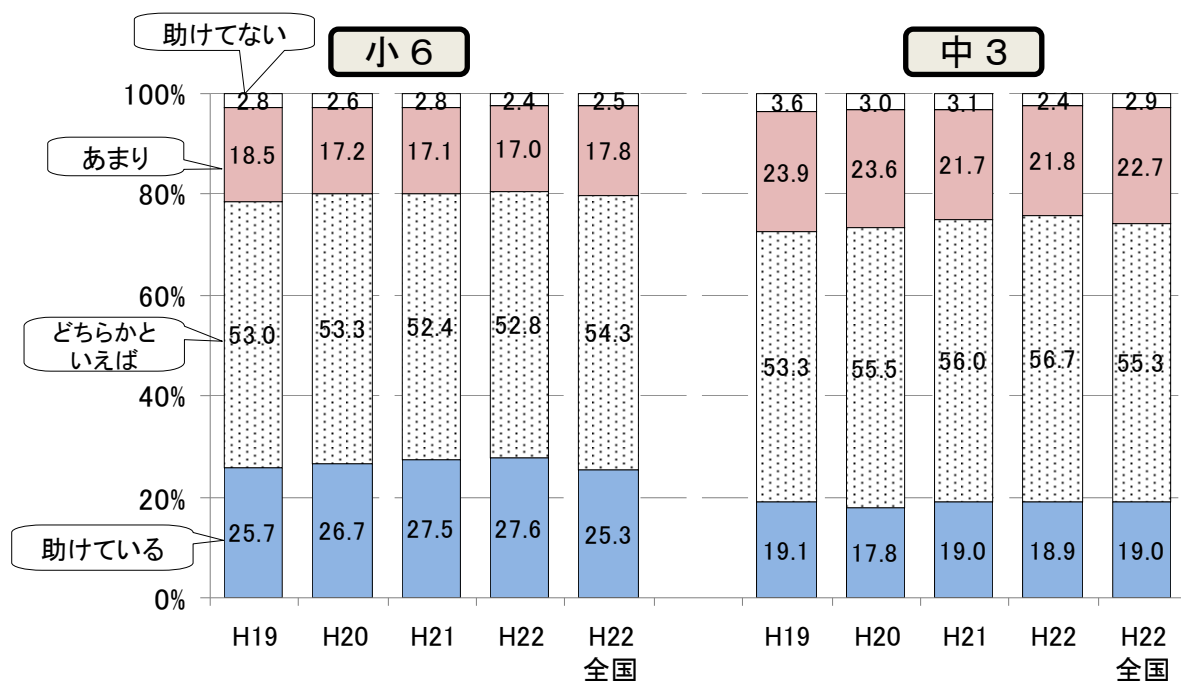
I-5-5 学校のきまりの順守



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

学校のきまりを「守っている」「どちらかといえば」と回答している児童生徒の割合は、小6、中3とも増加傾向となっている。

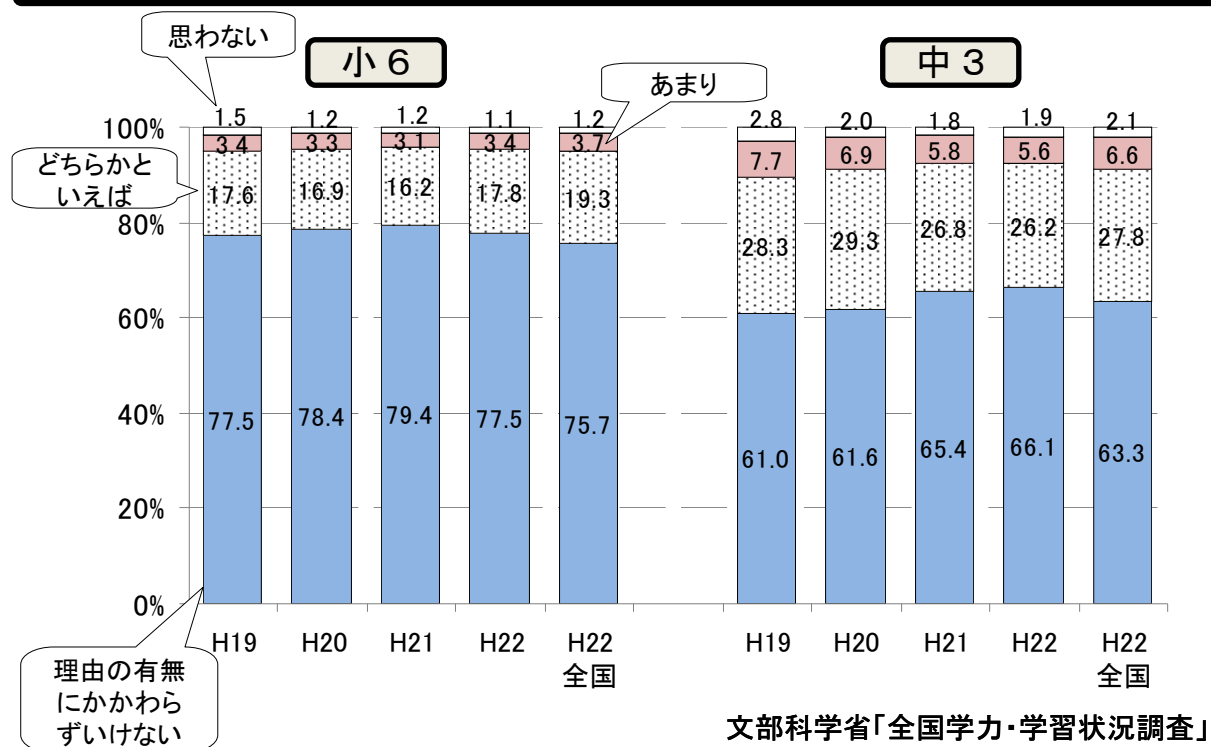
I-5-6 困っている人への援助



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

「人が困っているときは進んで助けている」と回答している児童生徒の割合は、小6、中3とも増加傾向である。

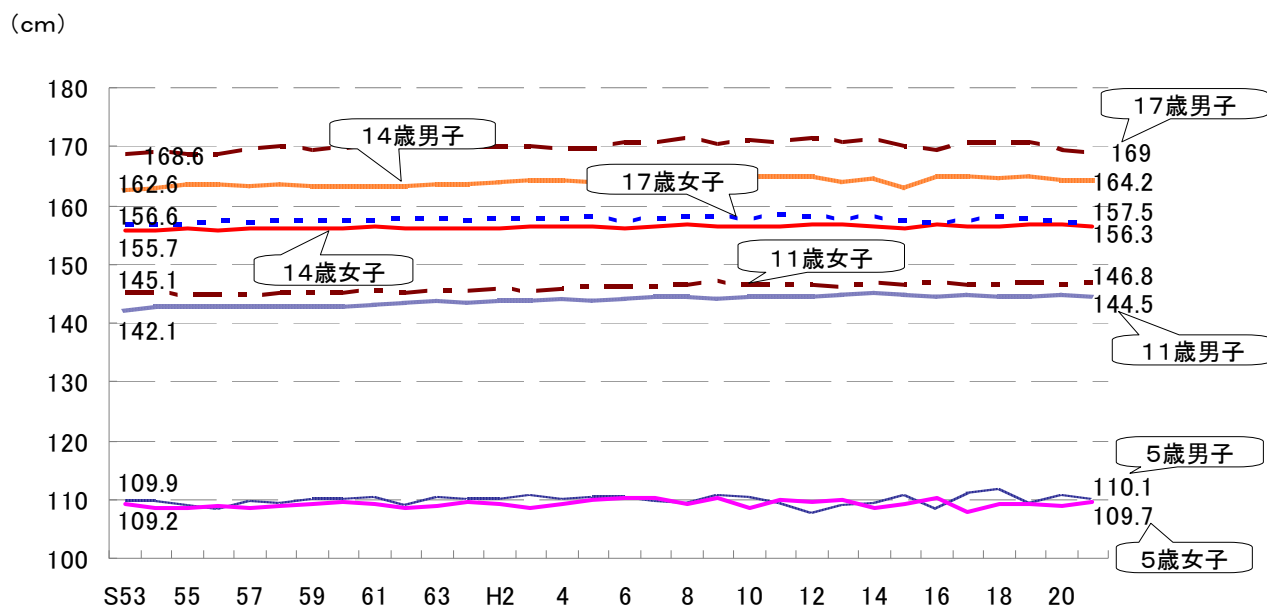
I-5-7 いじめの認識



いじめは「理由の有無にかかわらずいけない」と回答している児童生徒の割合は、全国平均より多く、「思わない」割合が、小6、中3ともに1～2%の割合である。

I－6 体格・疾病

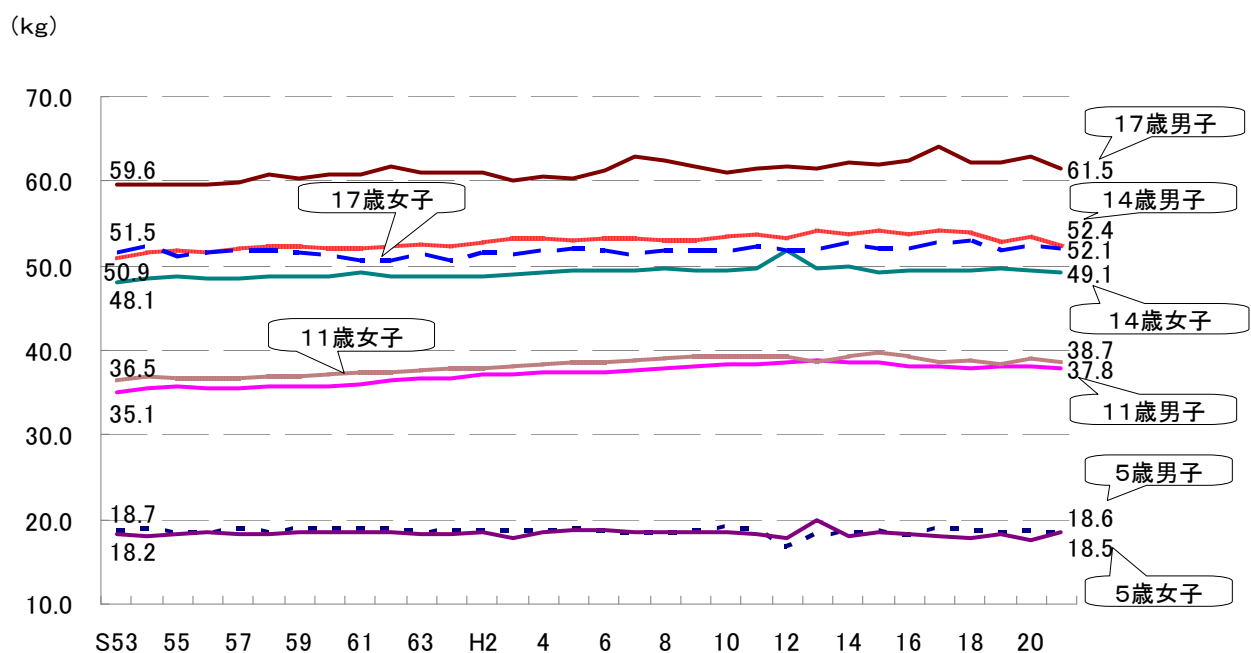
I－6－1 平均身長の推移



福岡市学校保健統計調査

平均身長は、ほとんど変化なく推移している。

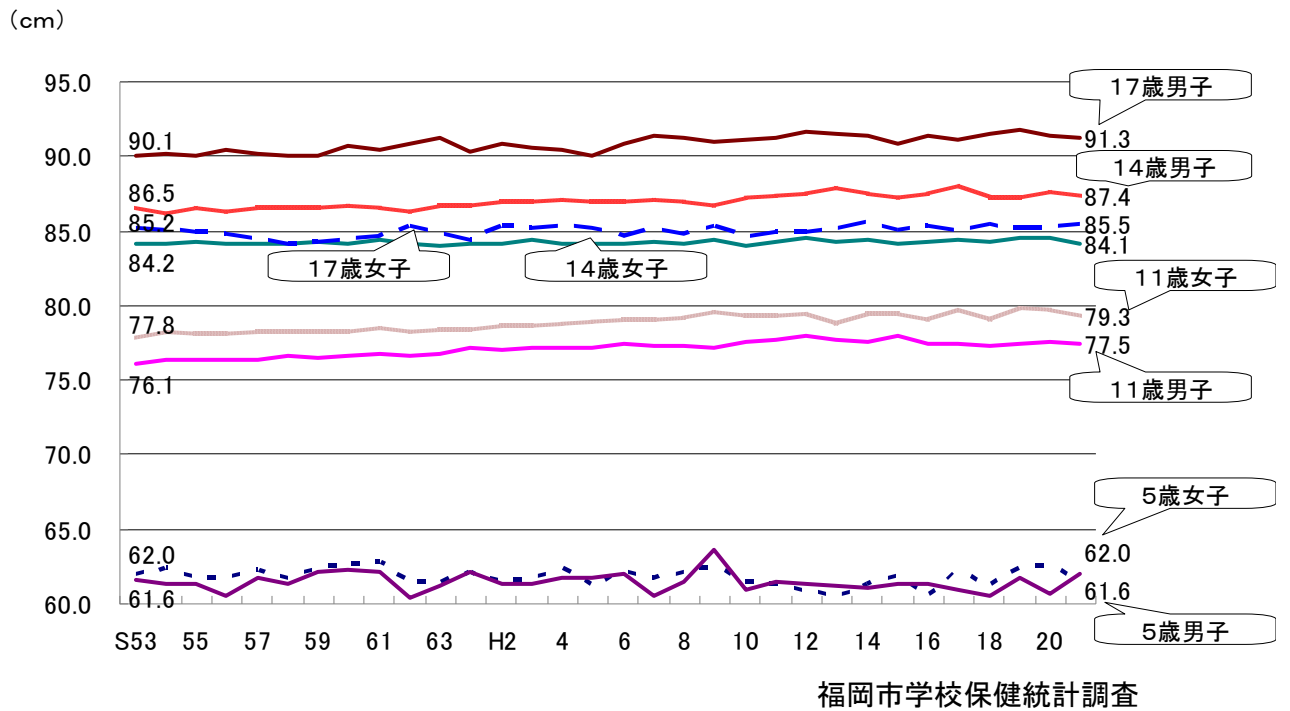
I－6－2 平均体重の推移



福岡市学校保健統計調査

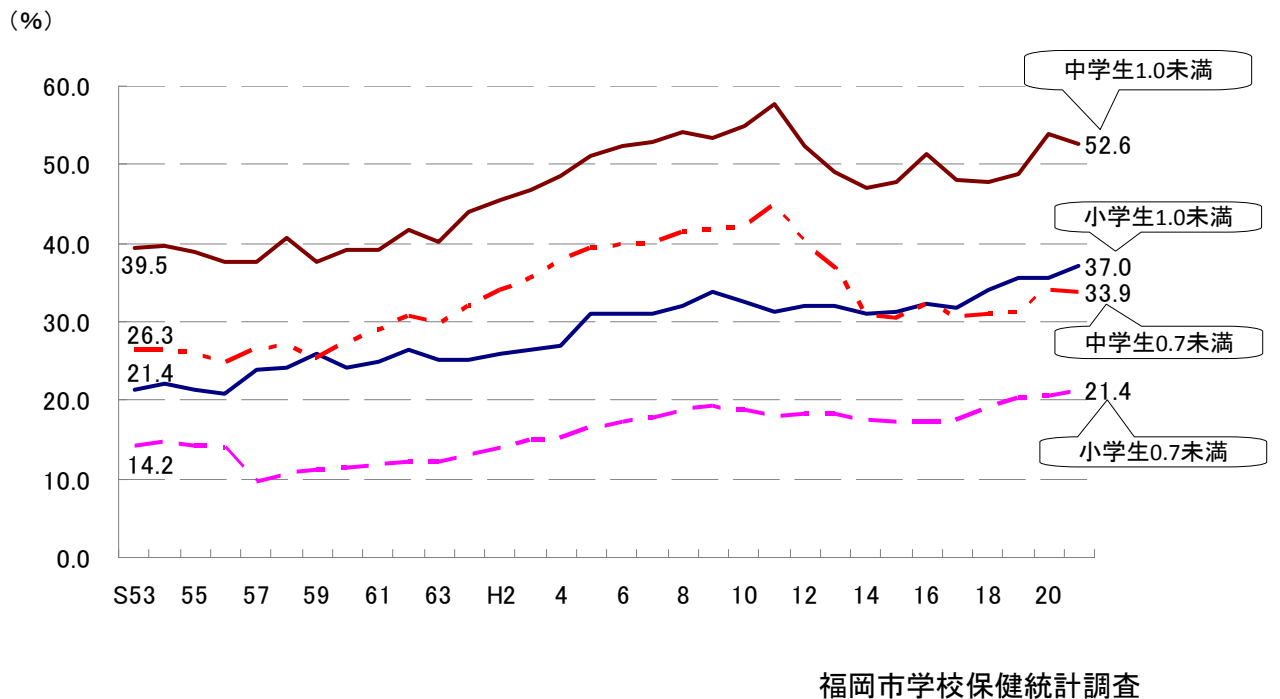
平均体重は、5歳女子を除いた年齢、性別のグループで、わずかではあるが、低下傾向となっている。

I-6-3 平均座高の推移



平均座高は、5歳女子、17歳女子において、わずかであるが増加傾向となっている。

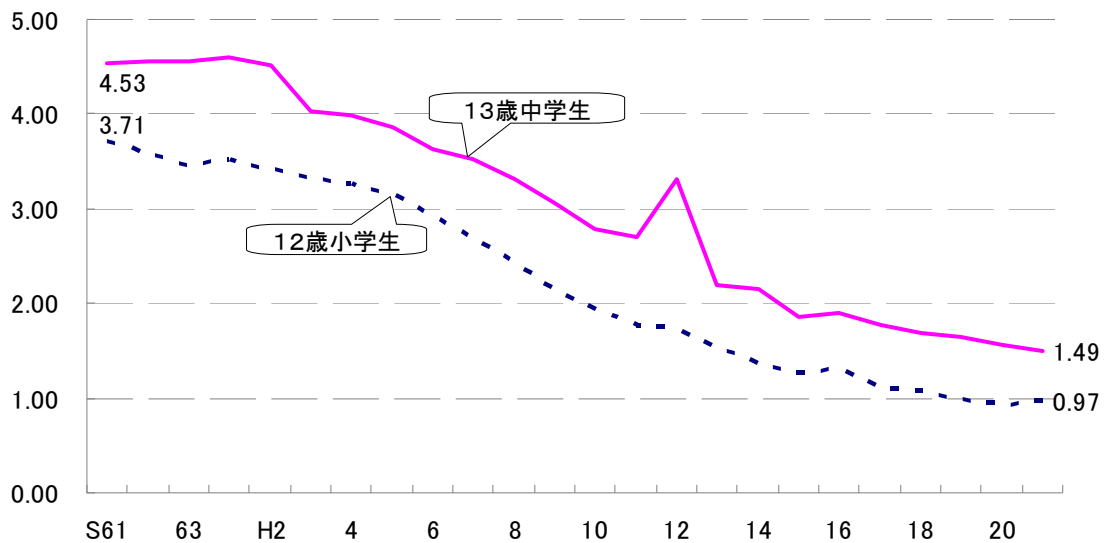
I-6-4 裸眼視力(小・中学生)



裸眼視力は、小学生の0.7未満・1.0未満の児童生徒の割合がわずかであるが増加傾向となっている。

I-6-5 DMF指数(小・中学生)

(本) ※DMF指数・・・子ども一人における永久歯の虫歯の本数(処置されたものも含む)

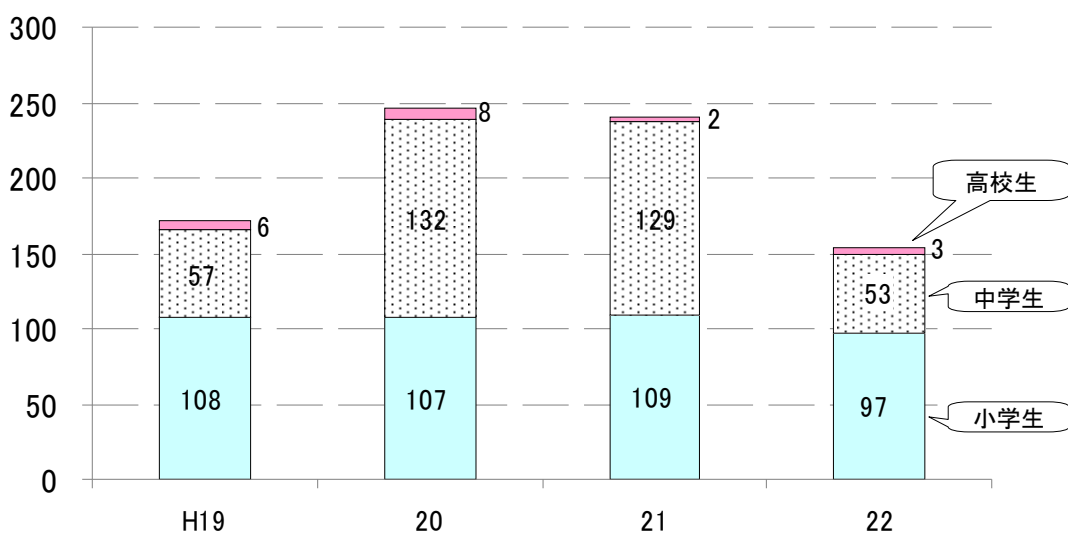


福岡市学校保健統計調査

子ども一人における永久歯の虫歯の本数は1本前後であり、12歳小学生・13歳中学生とも減少傾向で推移している。

I-6-6 保健室登校の人数(小学生・中学生・高校生)

(人) ※高校生には、特別支援学校高等部を含む



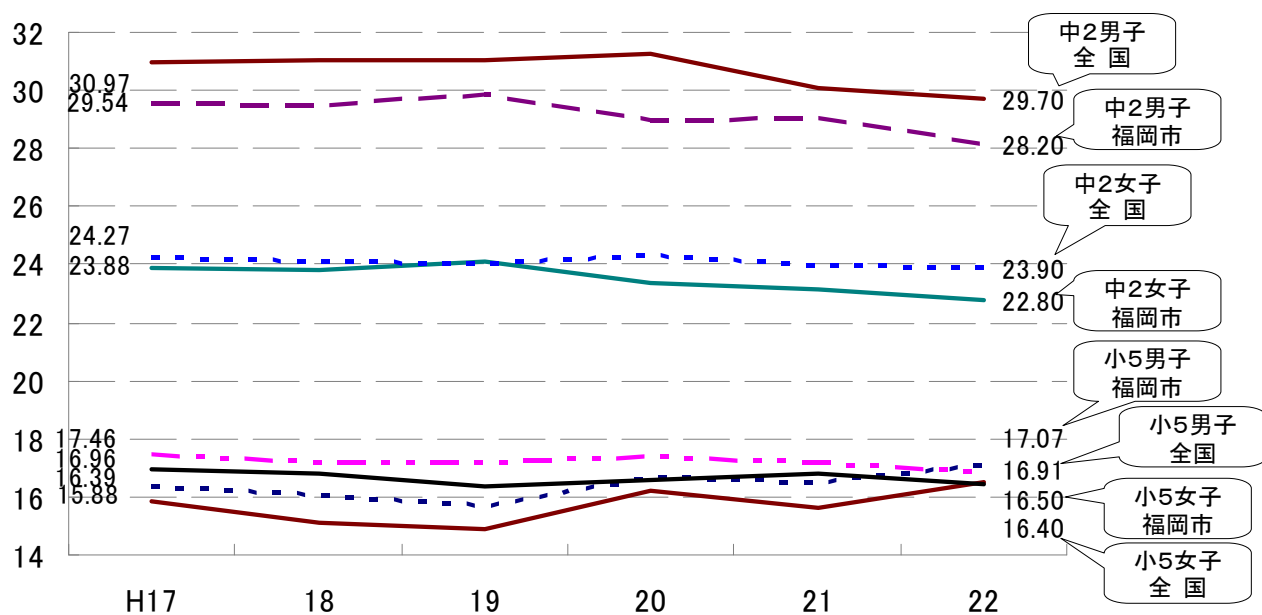
福岡市学校保健統計調査

高校生の保健室登校は横ばいで推移しているが、小・中学生は減少傾向となっている。

I-7 体力・運動能力

I-7-1 握力の推移(筋力)

(kg)

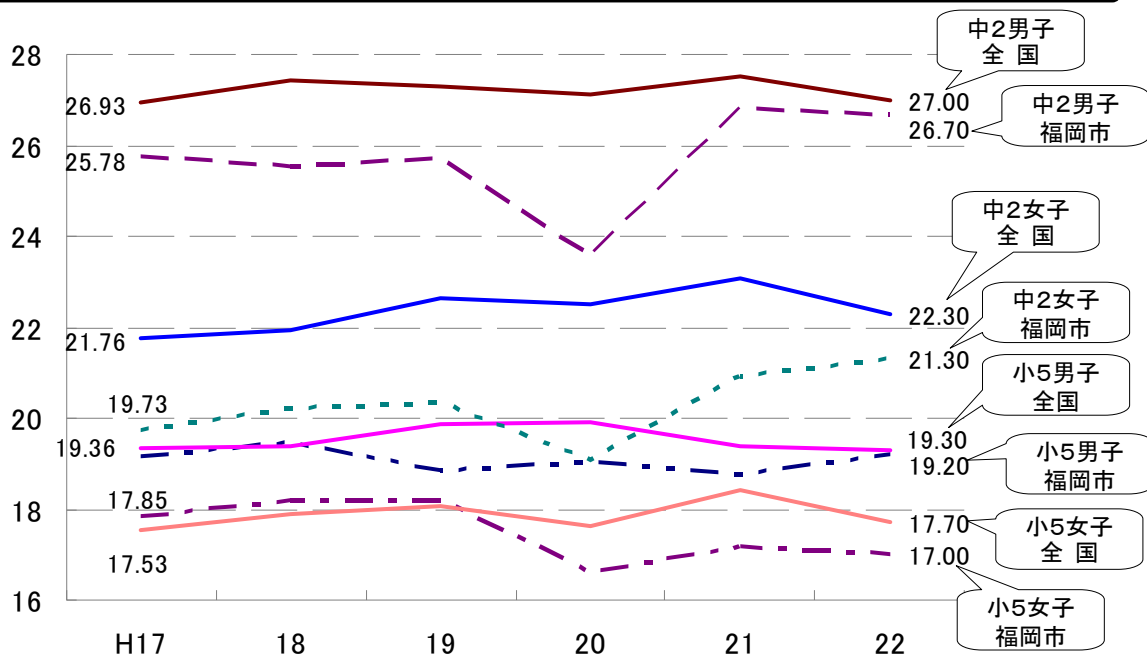


全国体力・運動能力, 運動習慣等調査

握力は、全体的に低下傾向となっているが、小5男子・女子ともに全国平均をわずかに上回っている。

I-7-2 上体おこしの推移(筋持久力・筋力)

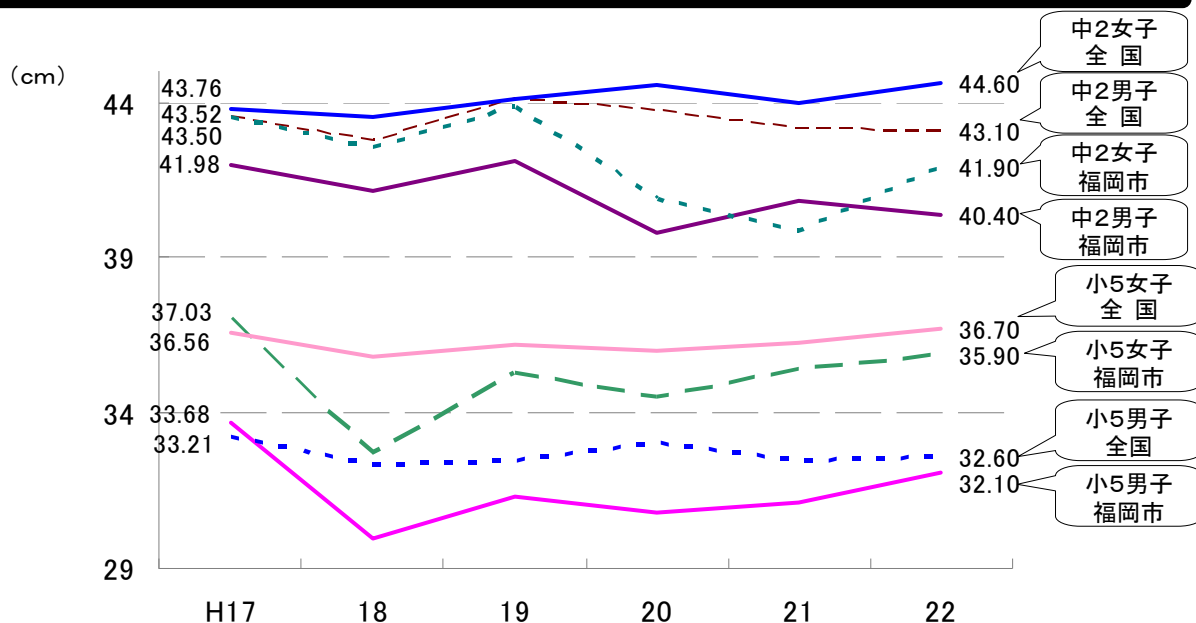
(30秒あたりの回数)



全国体力・運動能力, 運動習慣等調査

上体おこしの全国平均は、低下傾向にあるが、本市の児童・生徒の平均は横ばい傾向である。

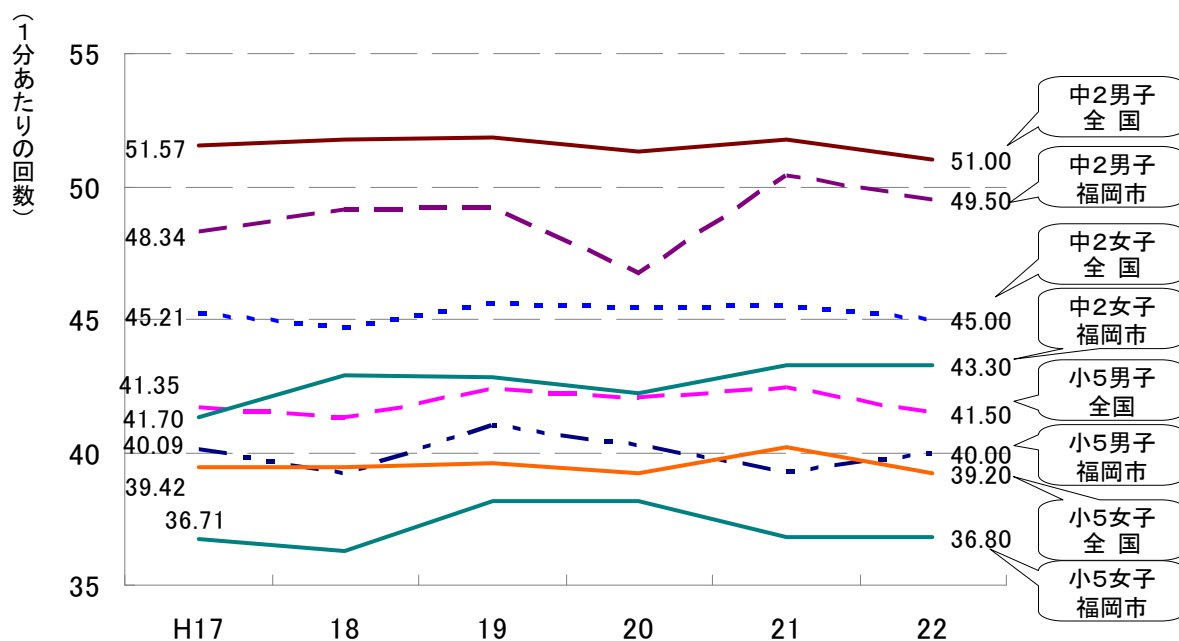
I-7-3 長座体前屈の推移(柔軟性)



全国体力・運動能力, 運動習慣等調査

長座体前屈は, 一部改善はみられるが全体としては低下傾向となっている。どの学年も全国平均より下回っている。

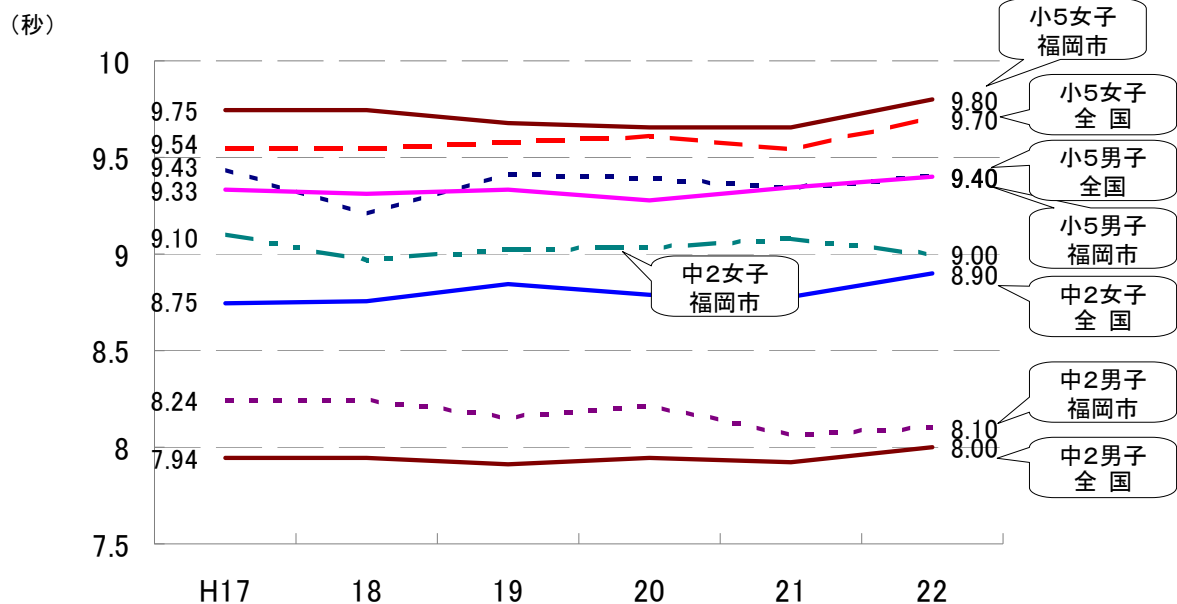
I-7-4 反復横跳びの推移(敏捷性)



全国体力・運動能力, 運動習慣等調査

反復横跳びは, 小5男子・女子においてわずかに上昇傾向が見られるが, どの学年も全国平均より下回っている。

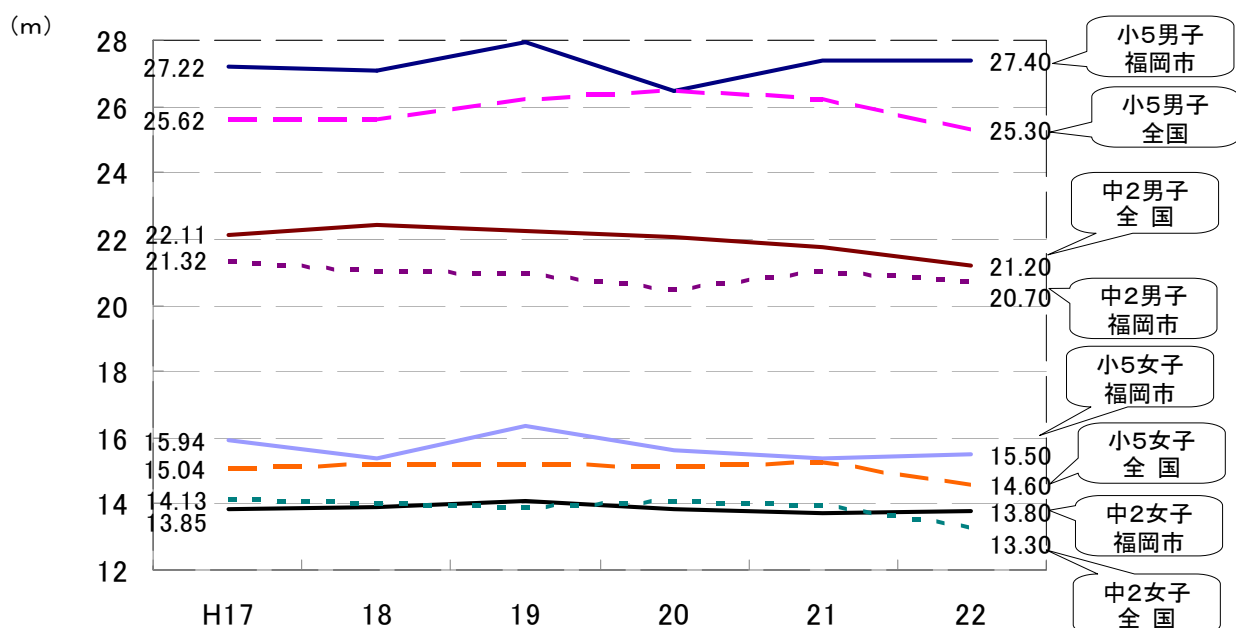
I-7-5 50メートル走の推移(スピード)



全国体力・運動能力, 運動習慣等調査

50メートル走は, 中2女子の数値がわずかに低下傾向になっているが, どの学年の児童生徒も全国平均より遅い。

I-7-6 ソフトボール(小)・ハンドボール(中)投げの推移(巧緻性・筋パワー)

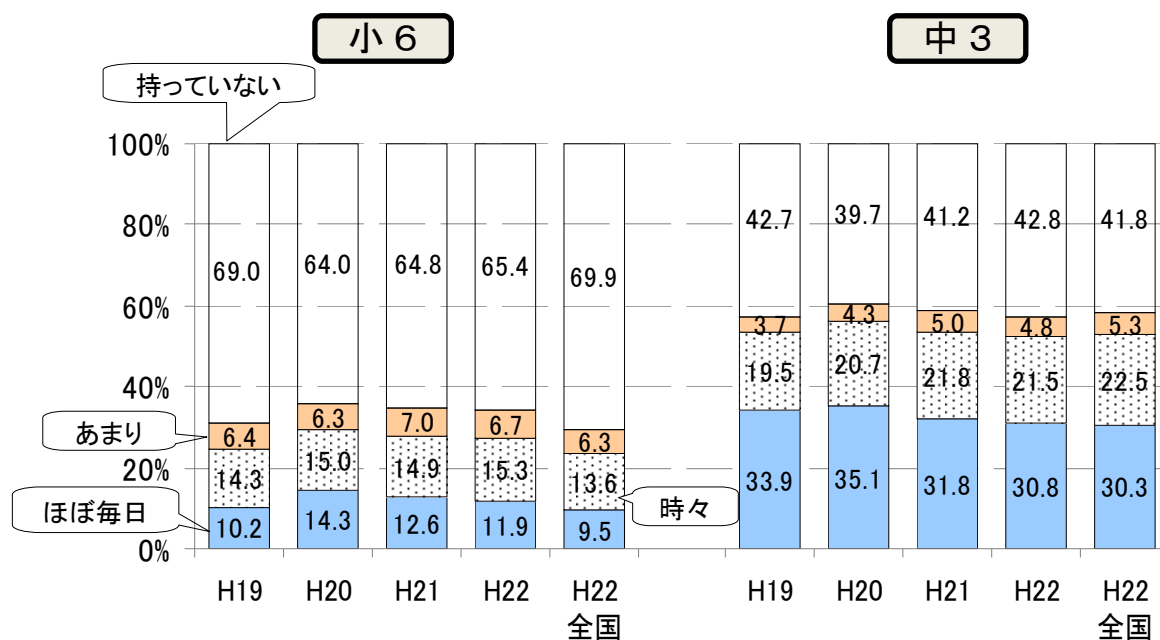


全国体力・運動能力, 運動習慣等調査

ソフトボール投げ・ハンドボール投げは, 横ばい傾向になっている。小5男子・女子, 中2女子は, 全国平均を上回っている。

I-8 メディアとの接触

I-8-1 携帯電話の使用状況(通話やメール)

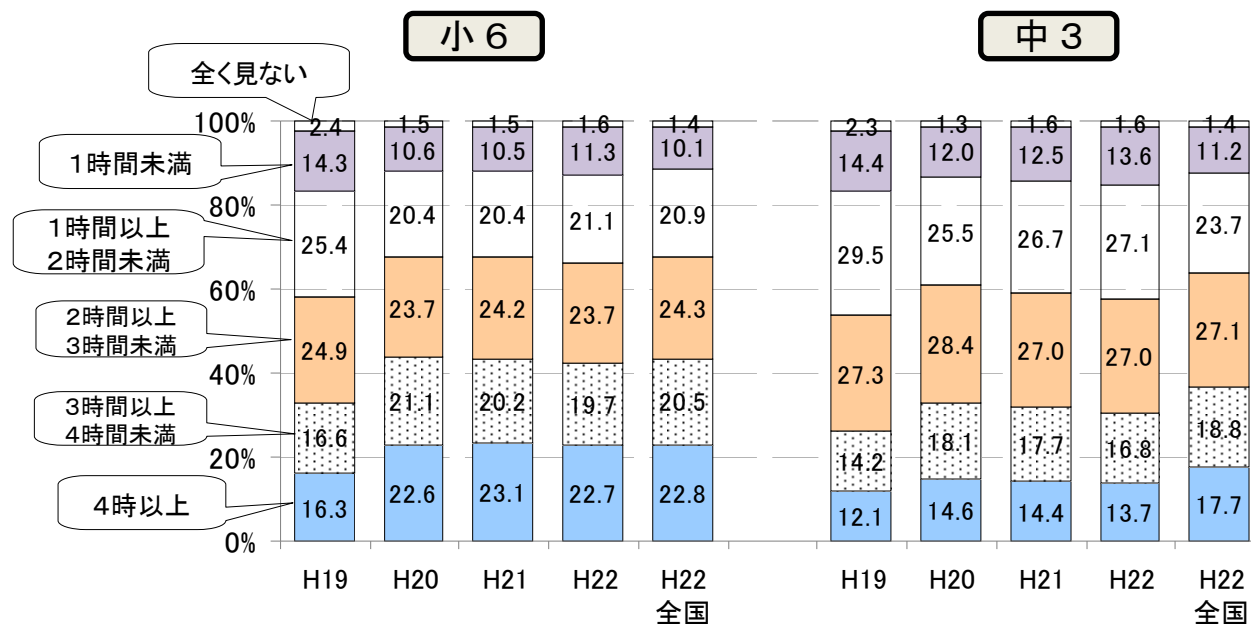


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

携帯電話を持っていない割合は、小6、中3で増加している。

I-8-2 普段(月～金曜日)のテレビ・ビデオ等の視聴時間

※テレビゲームをする時間は除く

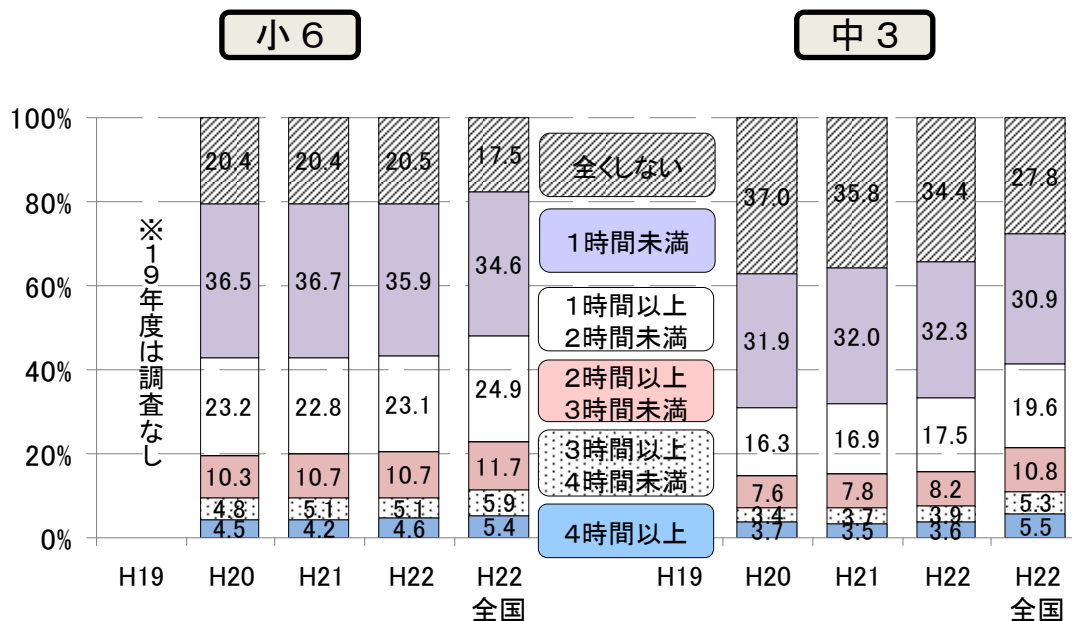


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

小6、中3ともに1日あたりのテレビ・ビデオ等の視聴時間に、大きな変化は見られない。

I-8-3 普段(月～金曜日)のテレビゲーム時間

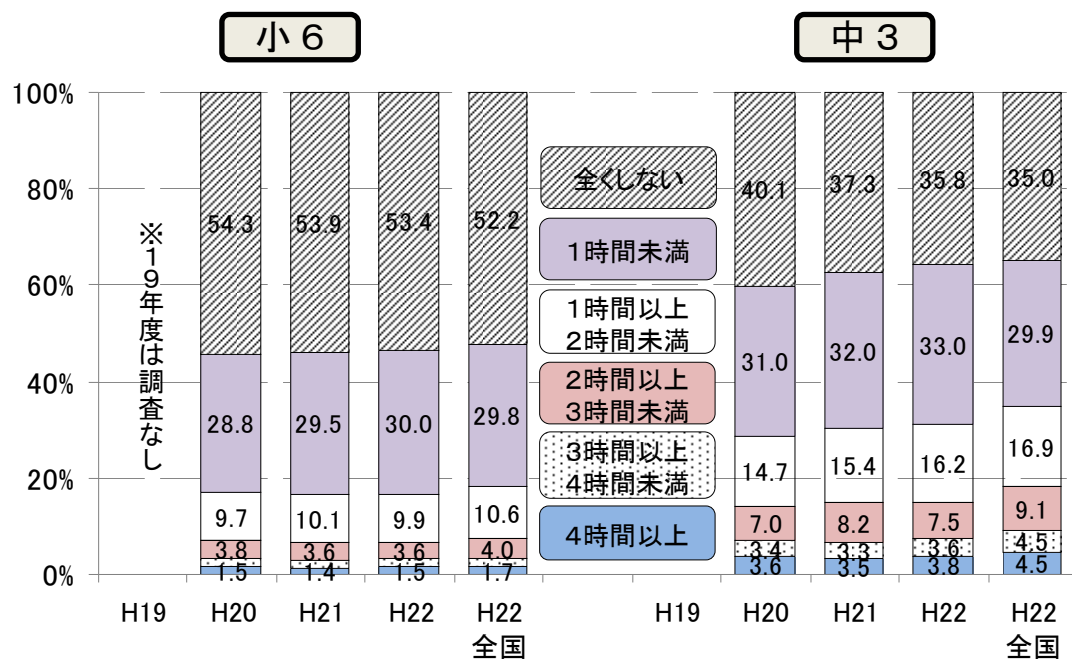
※コンピュータゲーム、携帯式のゲームを含む



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

1日あたりのテレビゲーム時間の割合は、小6、中3とも大きな変化は見られない。

I-8-4 普段(月～金曜日)のインターネット時間

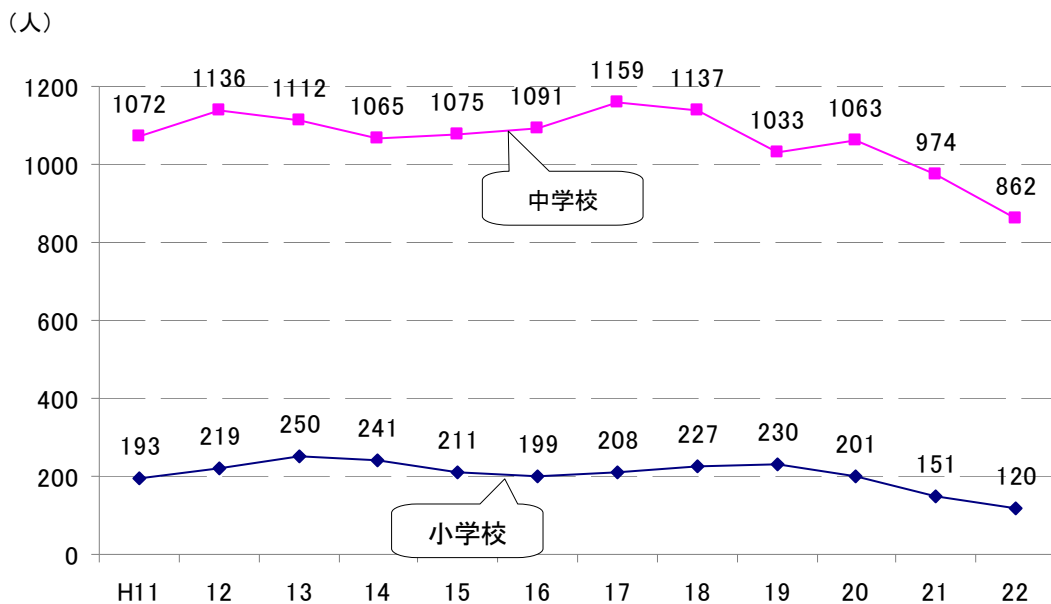


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

1日あたりのインターネット時間の割合は、小6はほとんど変化はないが、中3では、「全くしない」割合が減少している。

I－9 不登校・いじめ・暴力行為

I－9－1 不登校児童生徒数(年間30日以上欠席)



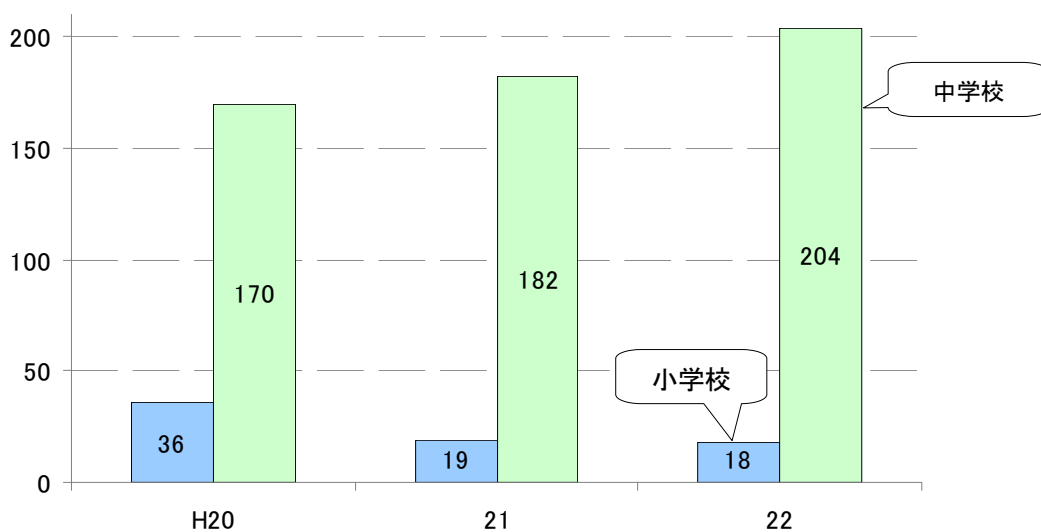
福岡市教育委員会調べ

不登校生徒数は、小学校・中学校とも減少傾向となっている。

I－9－2 不登校児童生徒の復帰の状況

(人)

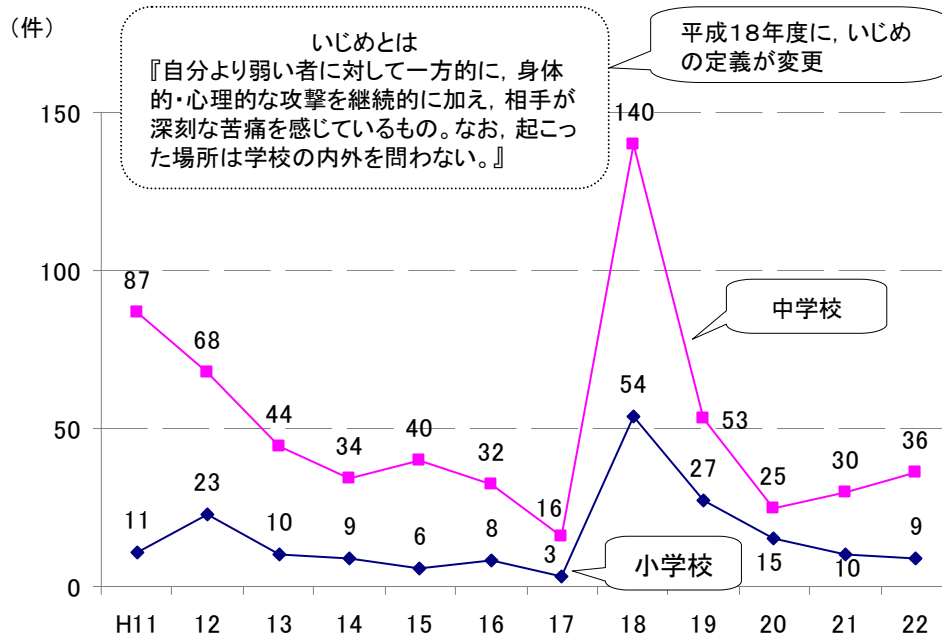
復帰とは・・・指導の結果、登校する又は登校できるようになった児童生徒
個々の児童生徒の状況に応じて継続的に登校できるようになったと認められる者を復帰とする



福岡市教育委員会調べ

平成22年度の不登校児童生徒の復帰は、小学校は減少しているが、中学校は増加している。

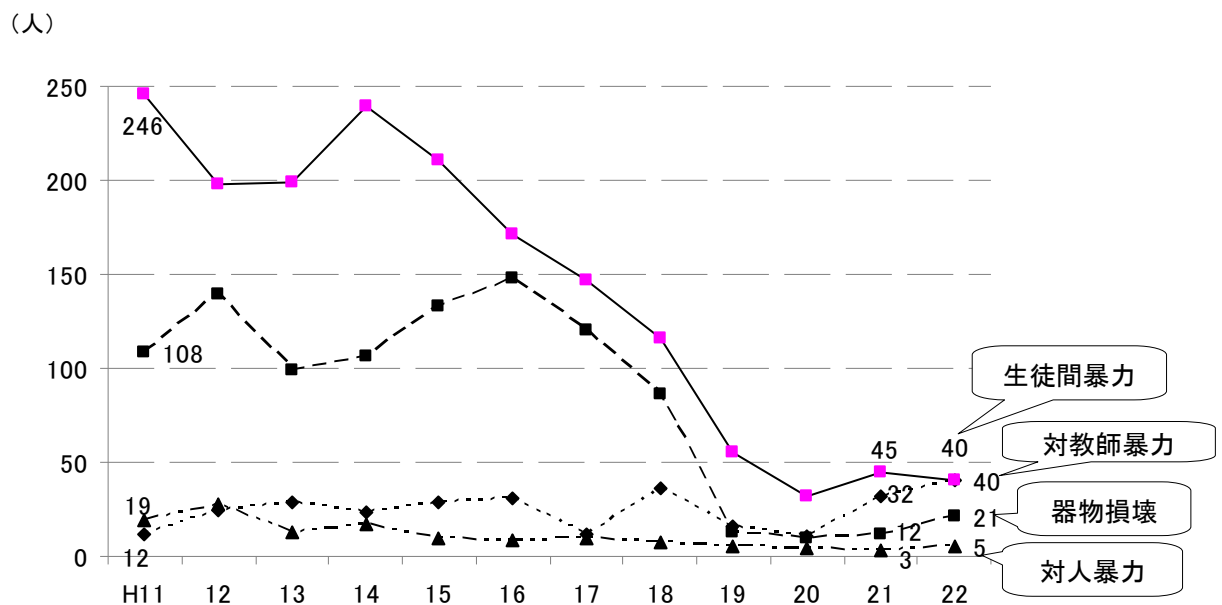
I-9-3 いじめの発生状況(認知件数)



福岡市教育委員会調べ

平成18年度にいじめの定義が変更された時点では増加したが、平成19年度には減少した。ここ数年は、小学校は減少しているが、中学校は、微増傾向である。

I-9-4 暴力行為の発生状況(小・中学校)



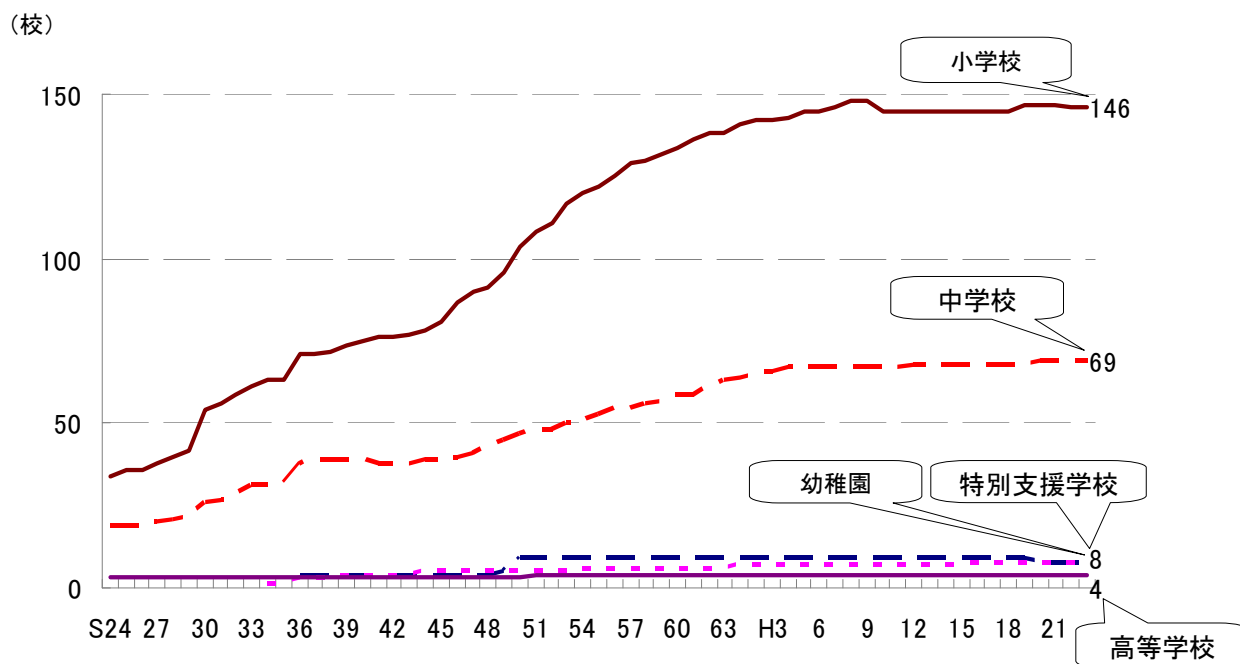
福岡市教育委員会調べ

生徒間暴力は微減傾向であるが、対教師暴力、器物損壊、対人暴力はわずかながら増加している。

Ⅱ 学 校

Ⅱ－1 学校数等

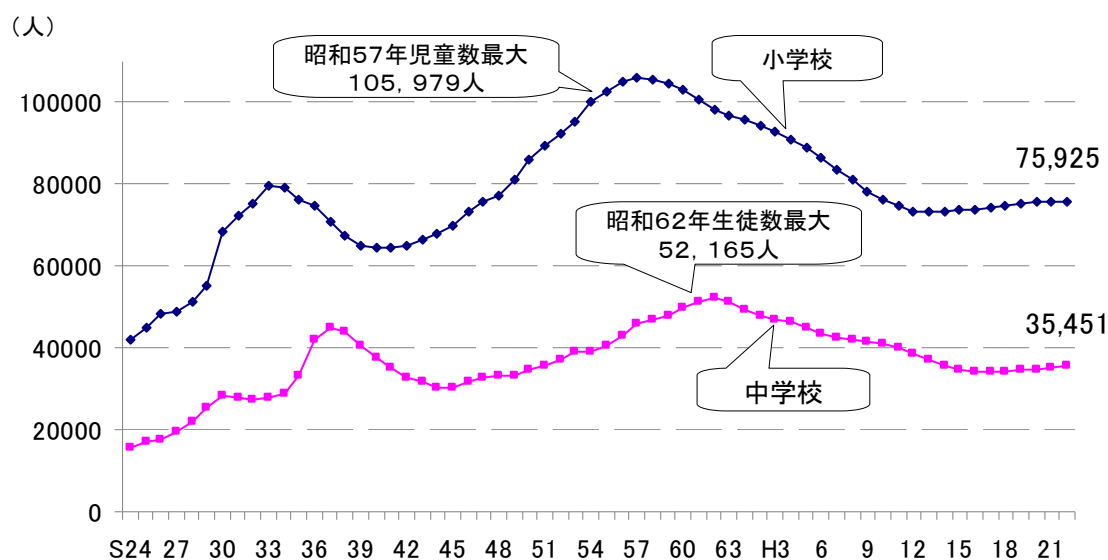
Ⅱ－1－1 学校数の推移



福岡市教育委員会調べ

市立学校は、幼稚園8(休園を含む)、特別支援学校8、小学校146、中学校69、高等学校4となっている。

Ⅱ－1－2 児童生徒数の推移

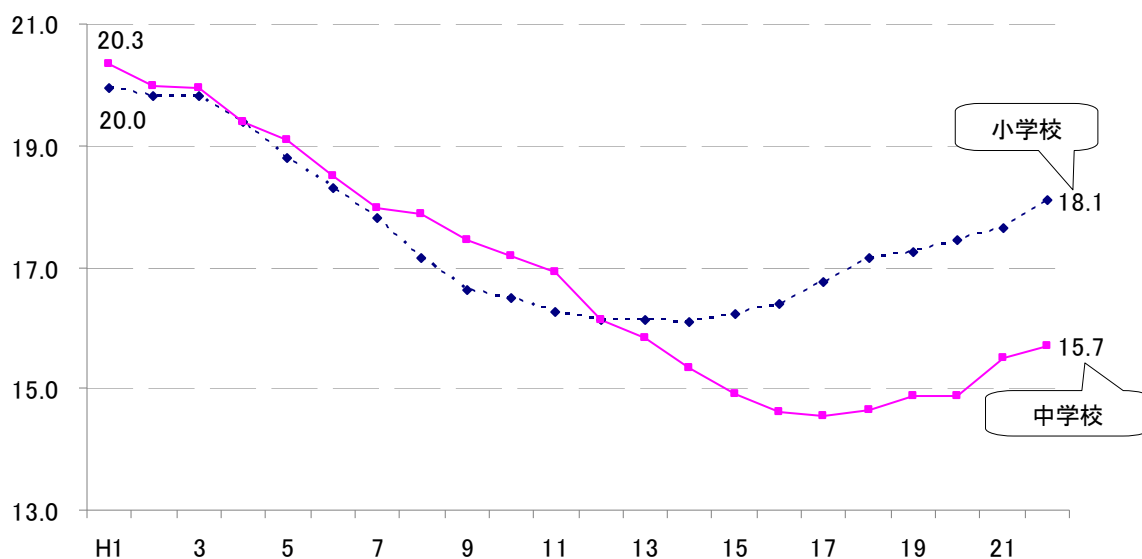


福岡市教育委員会調べ

児童生徒数は、小学校が昭和57年、中学校が昭和62年をピークに減少傾向となっていたが、近年は微増傾向となっている。

Ⅱ－１－３ １校あたりの学級数の推移

(学級数)

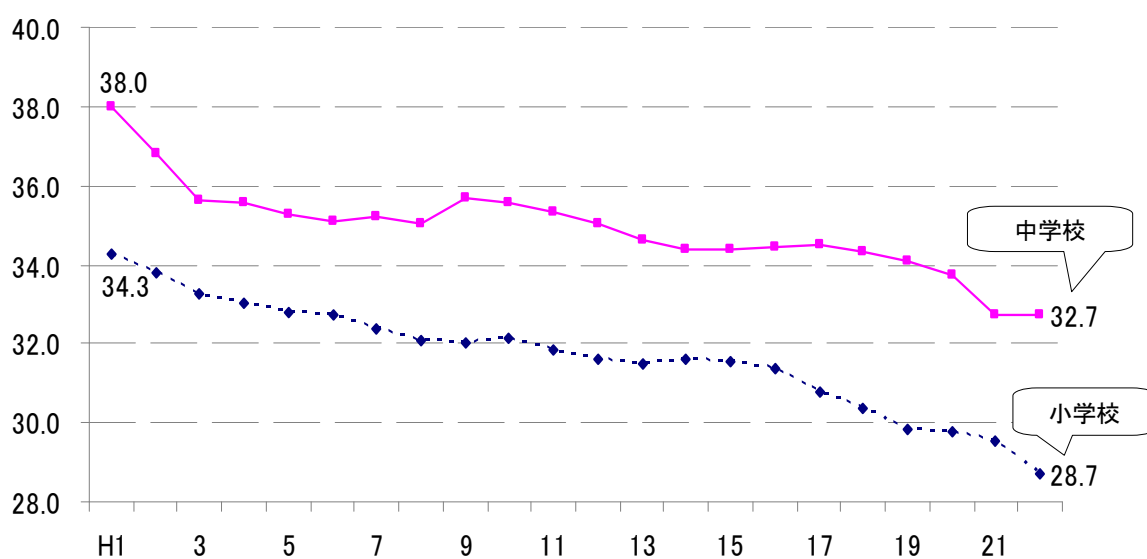


福岡市教育委員会調べ

1校あたりの学級数は、減少傾向で推移していたが、近年では増加傾向となっている。

Ⅱ－１－４ 1学級あたりの児童生徒数の推移

(人)



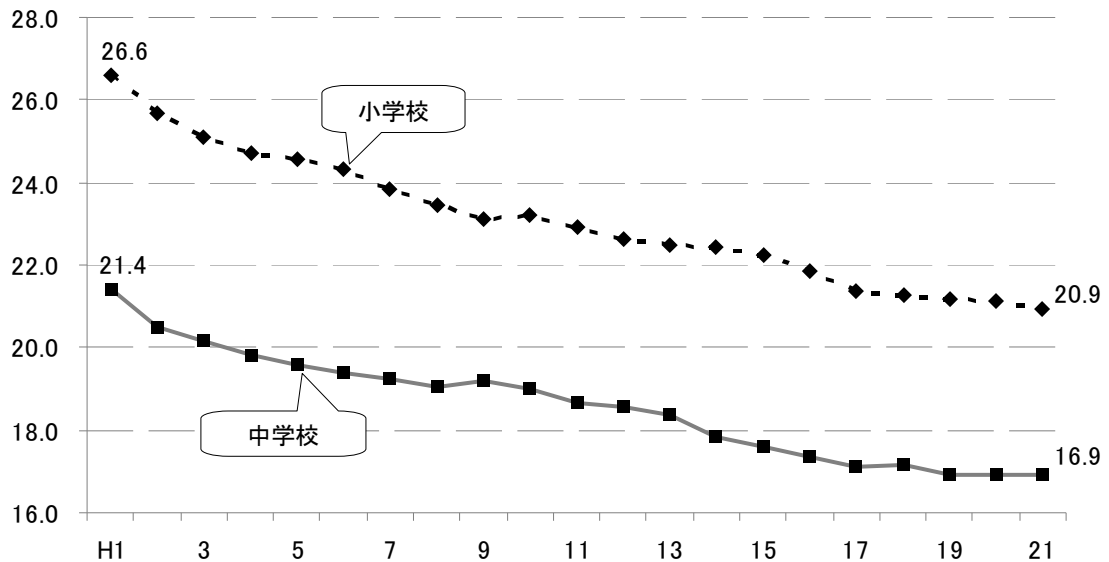
福岡市教育委員会調べ

1学級あたりの児童生徒数は、小学校・中学校とも減少傾向となっている。

Ⅱ－１－５ 教員１人あたりの児童生徒数の推移

(人)

※「教員」とは、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師を指す

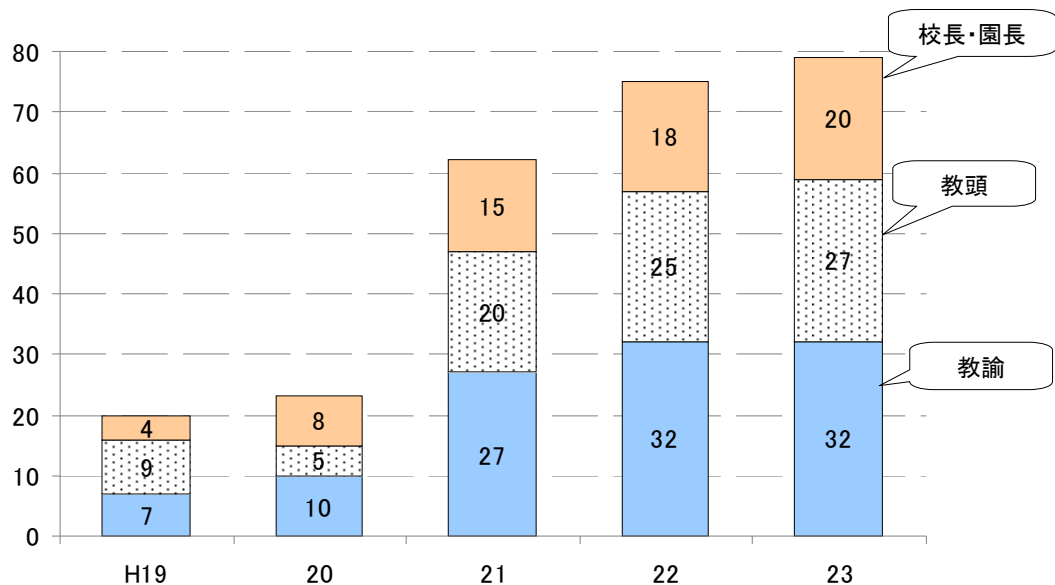


福岡市教育委員会調べ

教員１人あたりの児童生徒数は、小学校・中学校とも減少傾向のまま推移している。

Ⅱ－１－６ 異校種間人事交流の状況

※「異校種間人事交流」とは、幼稚園と小学校、小学校と中学校など、異なる学校種の間で人事異動を行うこと
(人)



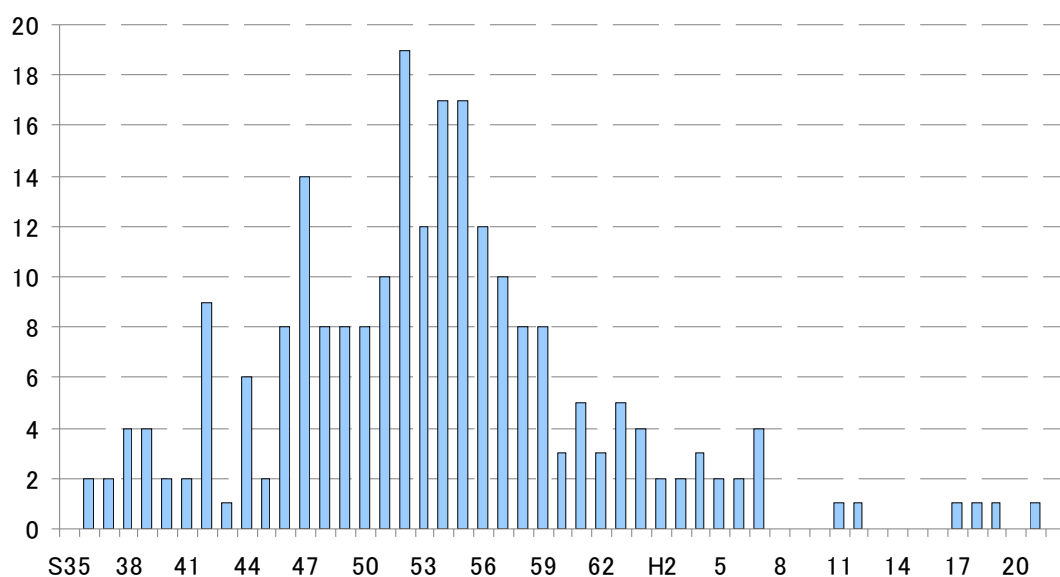
福岡市教育委員会調べ

平成19年度から始まった異校種間人事交流は、教諭、教頭、校長・園長のすべての職種で年々増加している。

Ⅱ－2 学校施設の状況

Ⅱ－2－1 学校施設の建設時期

(棟)

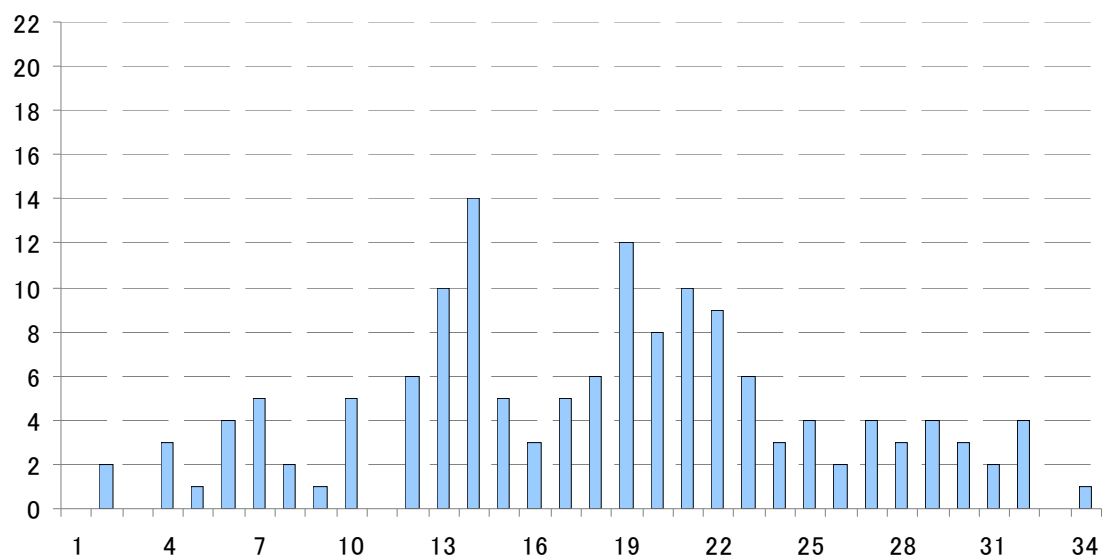


福岡市教育委員会調べ

福岡市の学校施設は、昭和40年から50年代にかけて建設されたものがもっとも多くなっている。

Ⅱ－2－2 規模別学校数(平成23年度小学校) ※特別支援学校は除く

(校)

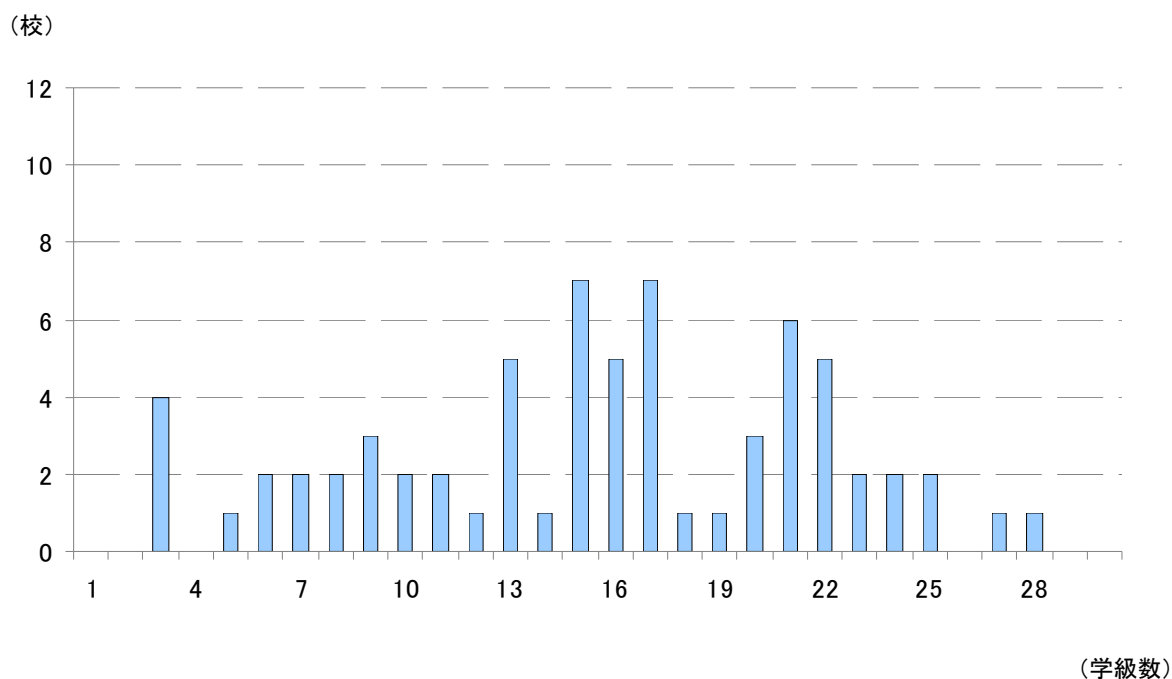


(学級数)

福岡市教育委員会調べ

小学校の学級規模は、18学級がもっとも多い。11学級以下と31学級以上の学校は、学校規模適正化の対象となっている。

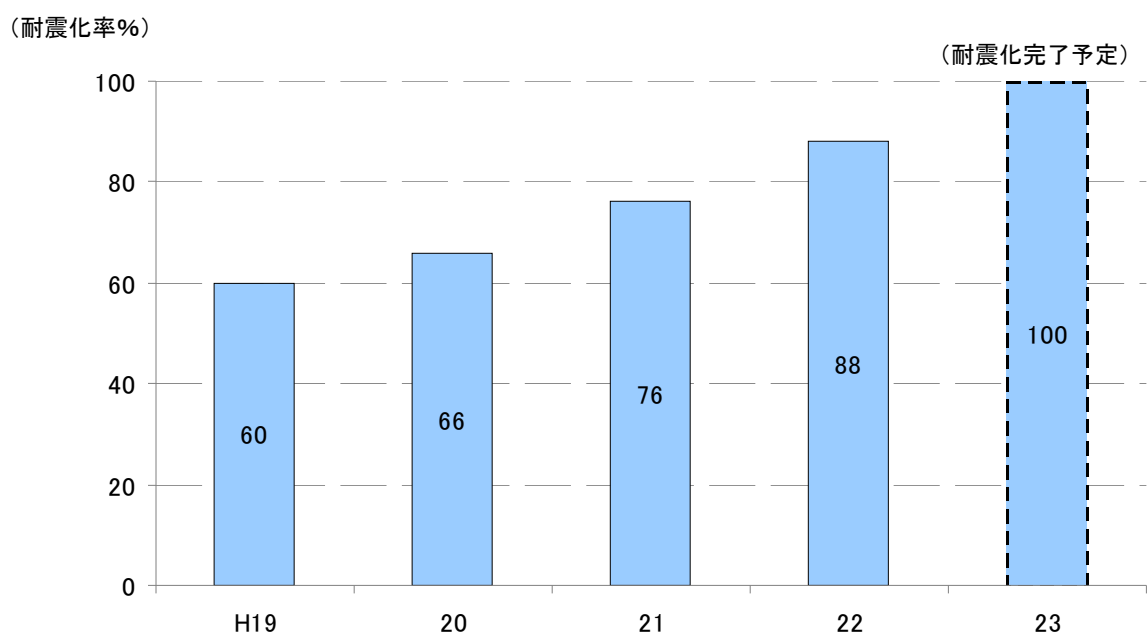
Ⅱ－2－3 規模別学校数(平成23年度中学校) ※特別支援学校は除く



福岡市教育委員会調べ

中学校の学級規模は、15学級がもっとも多い。8学級以下の学校は、学校規模適正化の対象となっている。

Ⅱ－2－4 学校施設の耐震化の状況



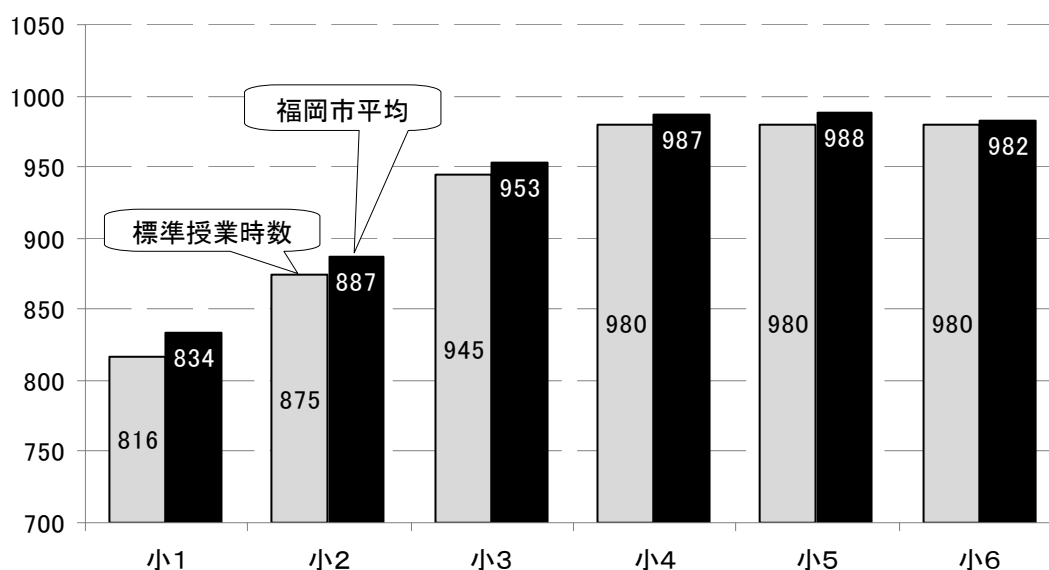
福岡市教育委員会調べ

学校施設の耐震化は、平成23年度を最終目標年度として着実に進んでおり、本年度で耐震化完了予定である。

Ⅱ－３ 教育課程等の実施状況

Ⅱ－３－１ 小学校学年別年間総授業時数の平均値(平成22年度計画時数)

(単位時間) ※1単位時間は、小学校45分

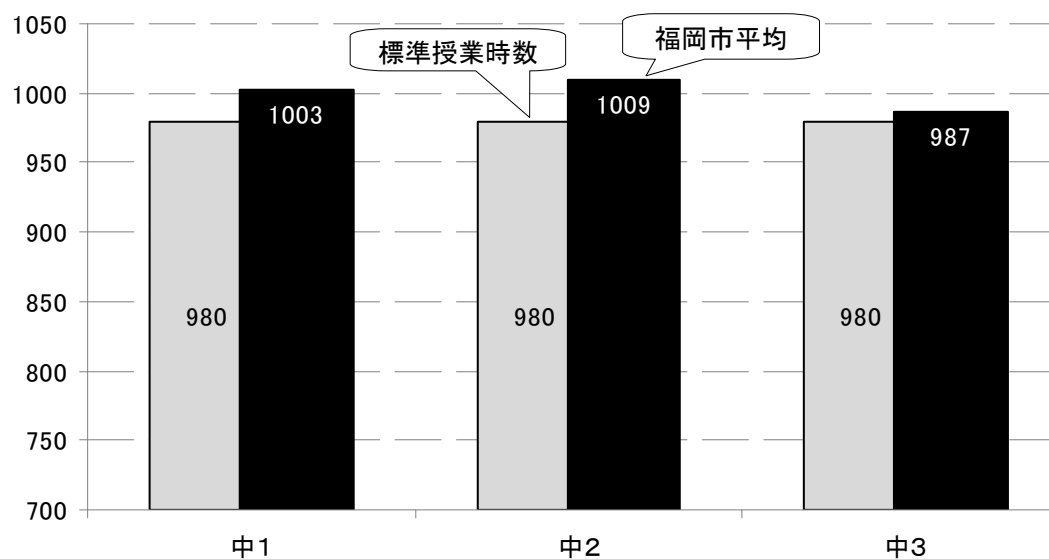


福岡市教育委員会調べ

年間総授業時数は、どの学年も標準授業時数を上回っている。

Ⅱ－３－１ 中学校学年別年間総授業時数の平均値(平成22年度計画時数)

(単位時間) ※1単位時間は、中学校50分

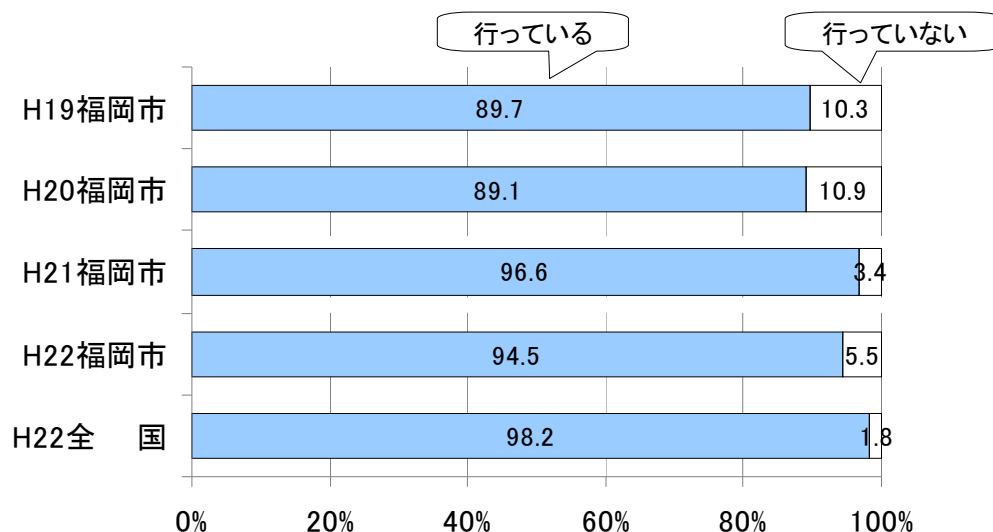


福岡市教育委員会調べ

年間総授業時数は、どの学年も標準授業時数を上回っている。

Ⅱ－３－３ 「朝読書」などの一斉読書の時間の設定（小学校6年）

「行っている」とは・・・不定期に行っている場合も含む

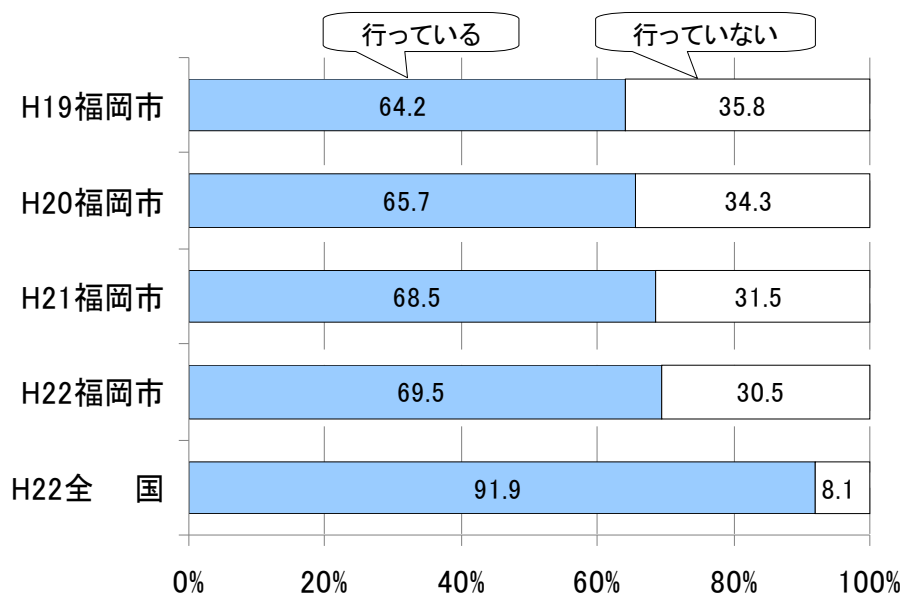


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

小学校において、一斉読書の時間を設定している学校の割合は増加しているが、全国平均を下回っている。

Ⅱ－３－３ 「朝読書」などの一斉読書の時間の設定（中学校3年）

「行っている」とは・・・不定期に行っている場合も含む

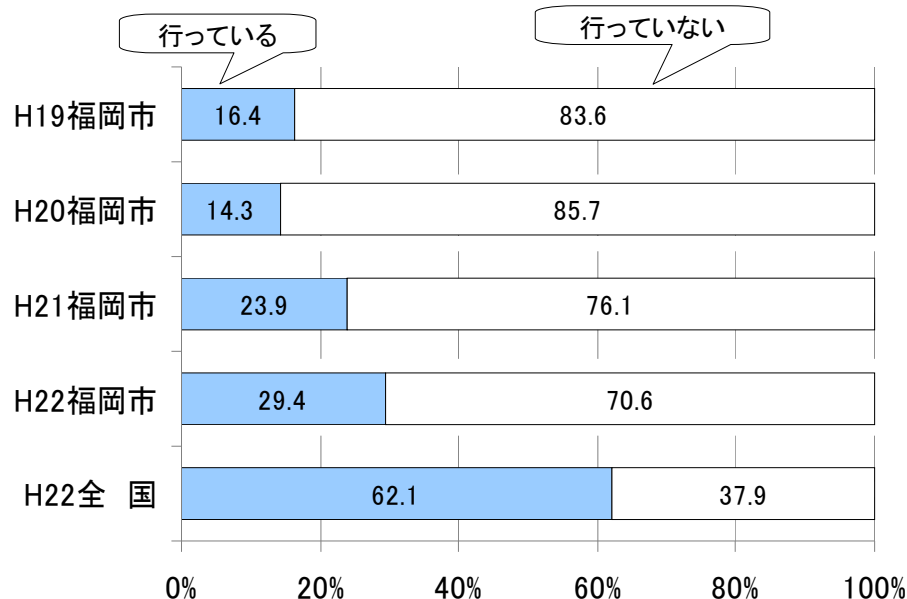


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

中学校において、一斉読書の時間を設定している学校の割合は増加しているが、全国平均とは大きな開きがある。

Ⅱ－3－4 放課後を利用した補足的な学習サポート(小学校6年生)

「行っている」とは・・・年に数回程度の場合も含む

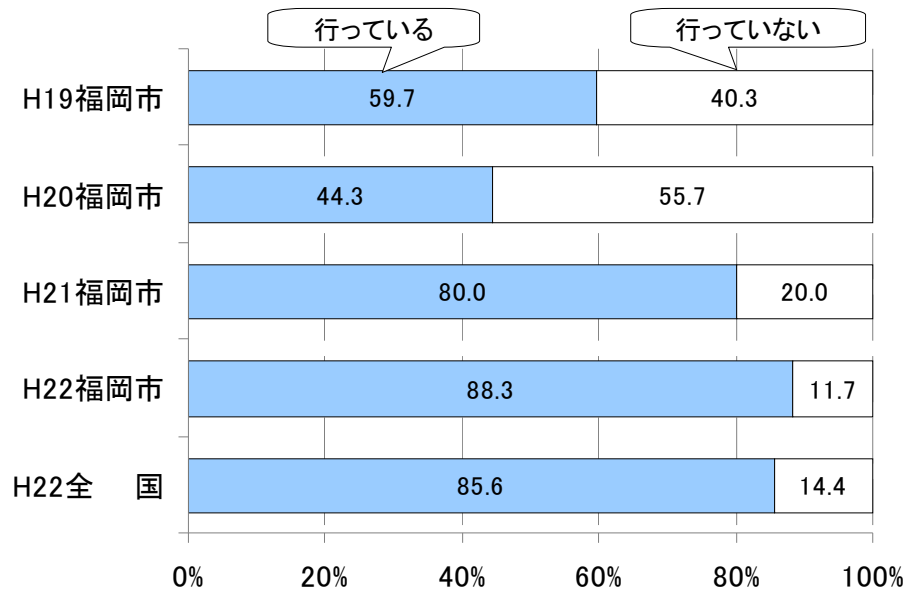


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

放課後を利用した補足的な学習サポートを行っている割合は、増加傾向となっているが、全国平均とは大きな差がある。

Ⅱ－3－4 放課後を利用した補足的な学習サポート(中学校3年生)

「行っている」とは・・・年に数回程度の場合も含む

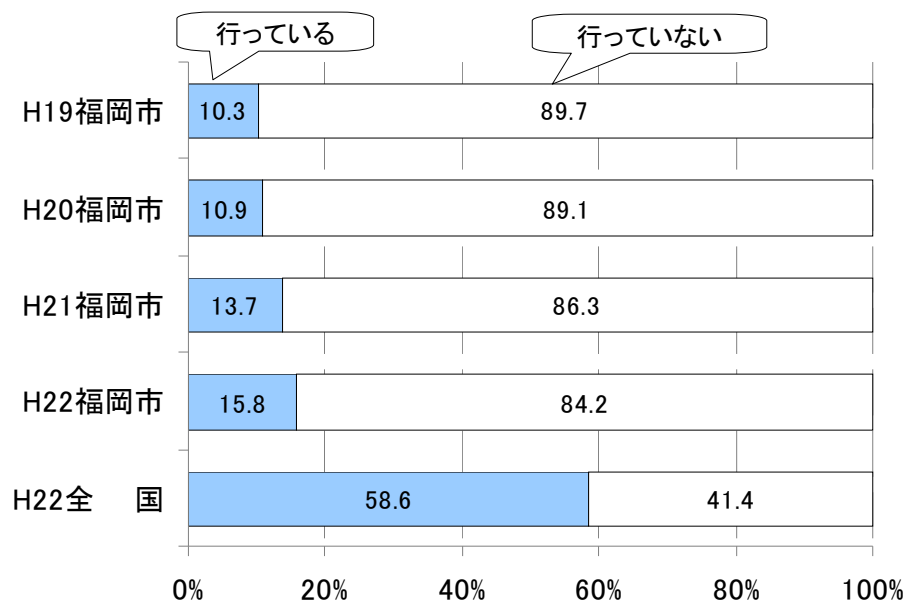


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

放課後を利用した補足的な学習サポートを行っている割合は、大きく増加している。

Ⅱ－３－５ 長期休業日を利用した補足的な学習サポート(小学校6年生)

「行っている」とは・・・1日以上行っている場合を指す

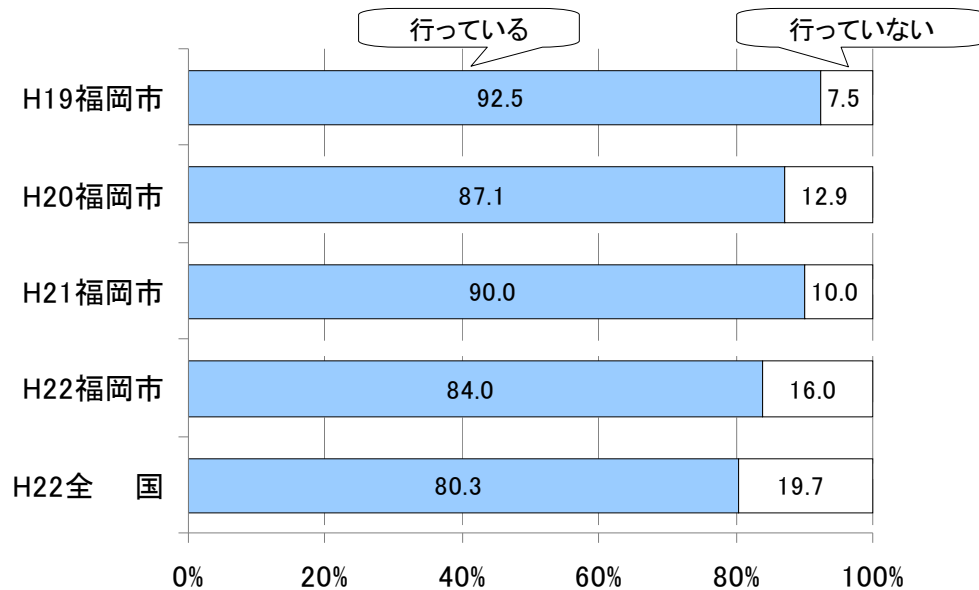


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

長期休業日を利用した補足的な学習サポートを行っている割合は、増加傾向となっているが、全国よりも非常に低い。

Ⅱ－３－５ 長期休業日を利用した補足的な学習サポート(中学校3年生)

「行っている」とは・・・1日以上行っている場合を指す

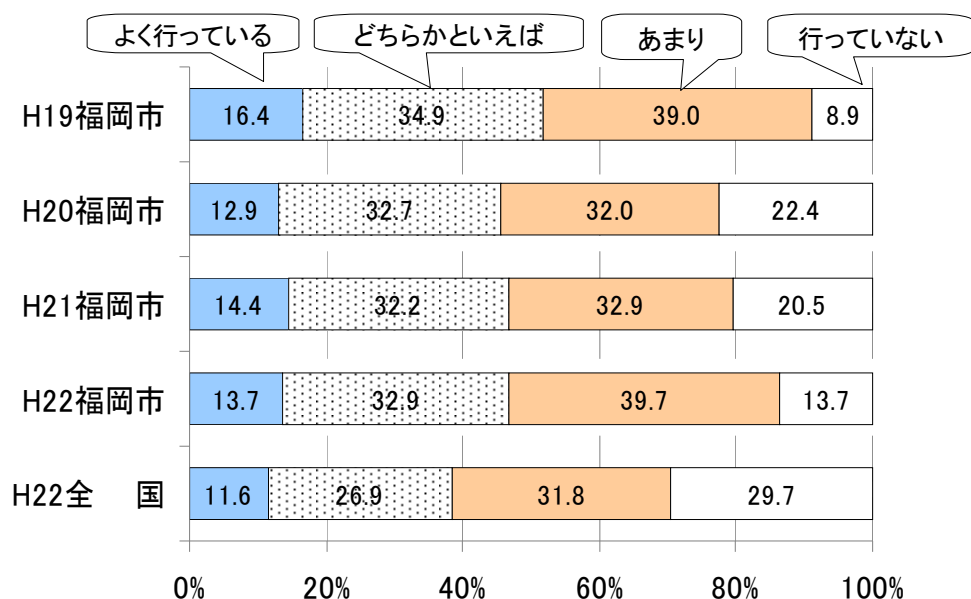


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

長期休業日を利用した補足的な学習サポートを行っている割合は、減少傾向となっているが全国平均を上回っている。

Ⅱ－４ 地域の人材活用状況

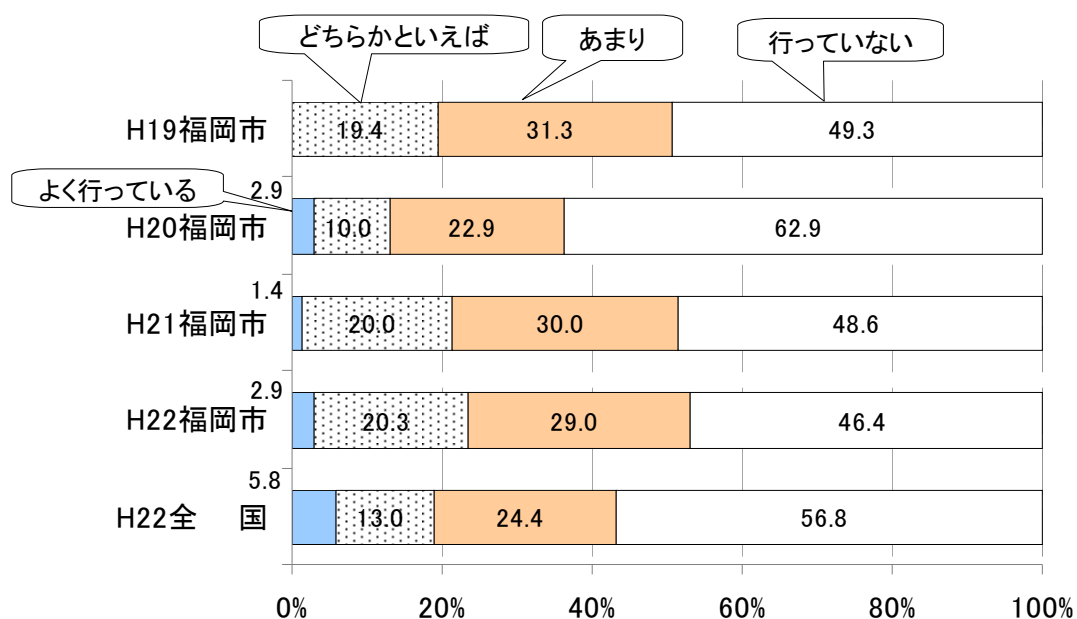
Ⅱ－４－１ ボランティア等による授業サポート補助(小学校6年生)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

ボランティア等による授業サポート補助を「よく行っている」「どちらかといえば」と回答している割合には、大きな変化は見られないが、全国平均より上回っている。

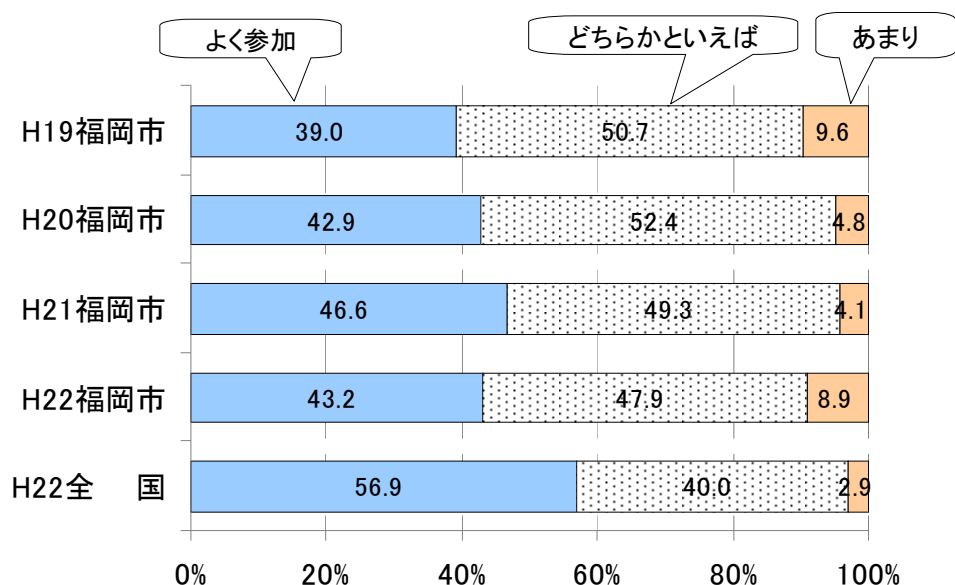
Ⅱ－４－１ ボランティア等による授業サポート補助(中学校3年生)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

ボランティア等による授業サポート補助を行っている割合は、増加傾向となっている。

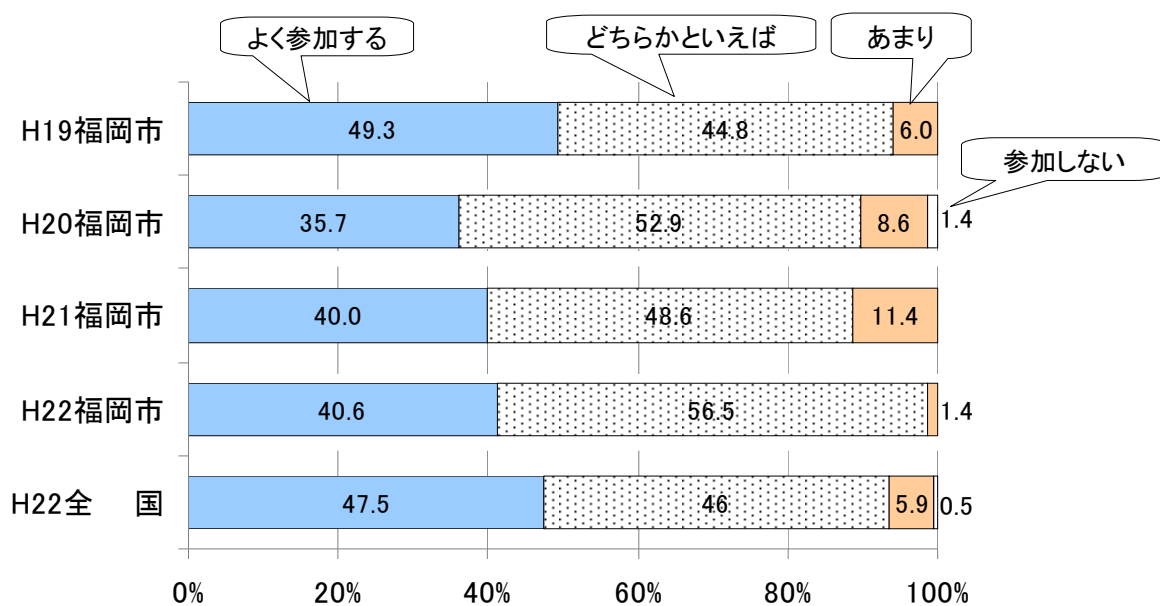
Ⅱ－４－２ PTAや地域の人ボランティア参加状況（小学校）



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

PTAや地域の人ボランティア参加の割合は、わずかに増加傾向となっているが、全国平均よりもやや低い。

Ⅱ－４－２ PTAや地域の人ボランティア参加状況（中学校）

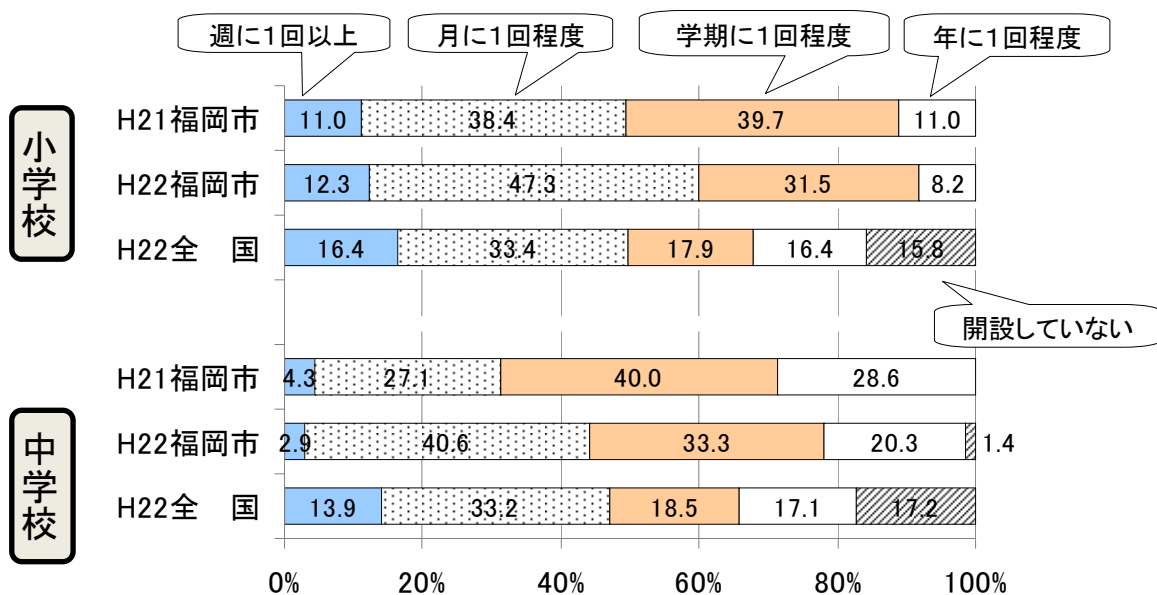


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

PTAや地域の人ボランティア参加の割合は、年度によって変化しているが、全国平均を上回っている。

Ⅱ－5 学校情報の提供

Ⅱ－5－1 ホームページの更新状況

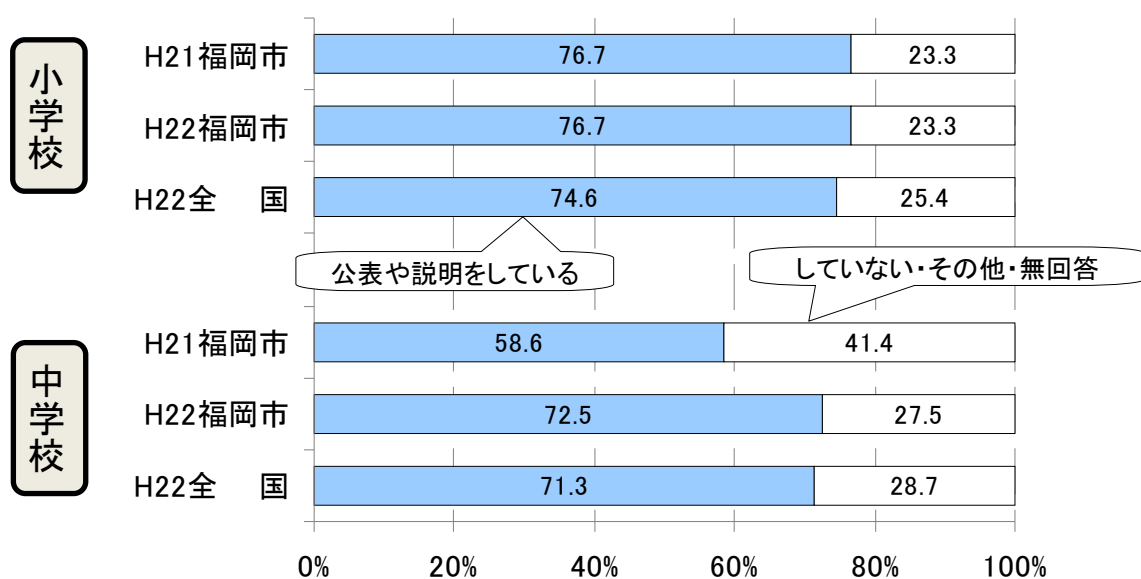


文部科学省「全国学力・学習状況調査」

小学校で「週に1回以上」と回答している割合は、全国平均よりも下回っている。福岡市は小学校・中学校とも、すべてホームページを開設している。

Ⅱ－5－2 保護者や地域への学力・学習状況調査結果の公表や説明

※公表や説明・・・数値だけではなく、各教科の状況や、生活習慣、学習習慣などに関して、文章やグラフ等で現状や課題を示したり、その改善策を示したりすること



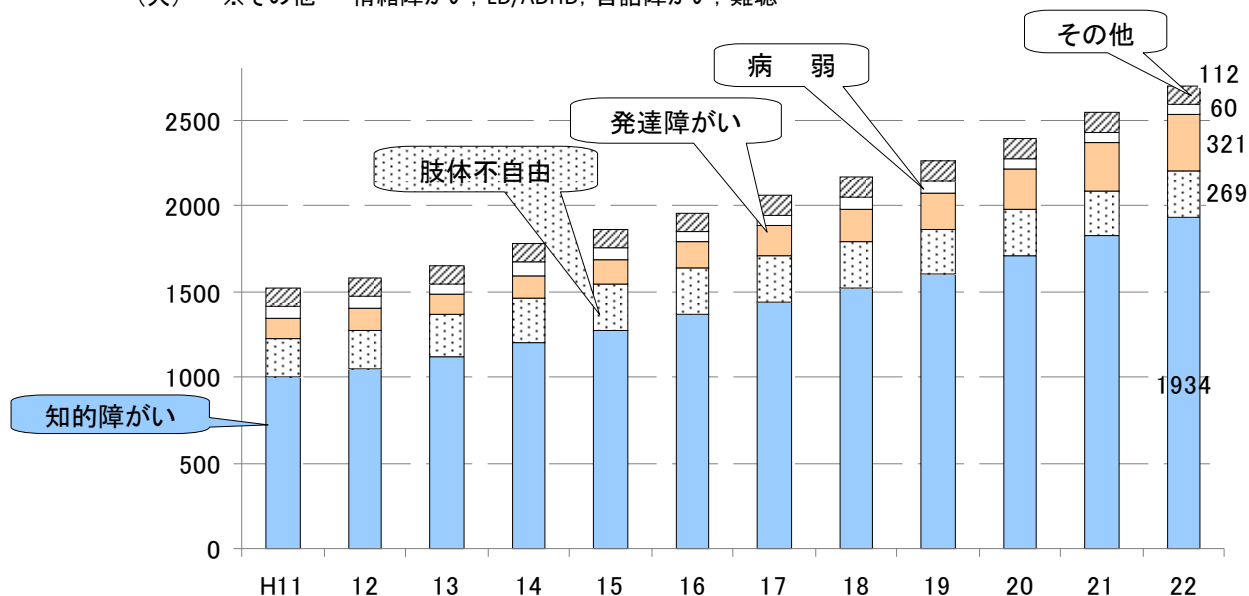
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

保護者や地域への学力・学習状況調査結果の公表や説明をしている割合は、全国に比べやや高い。

Ⅱ－6 特別支援教育

Ⅱ－6－1 障がいのある児童生徒数

(人) ※その他…情緒障がい, LD/ADHD, 言語障がい, 難聴

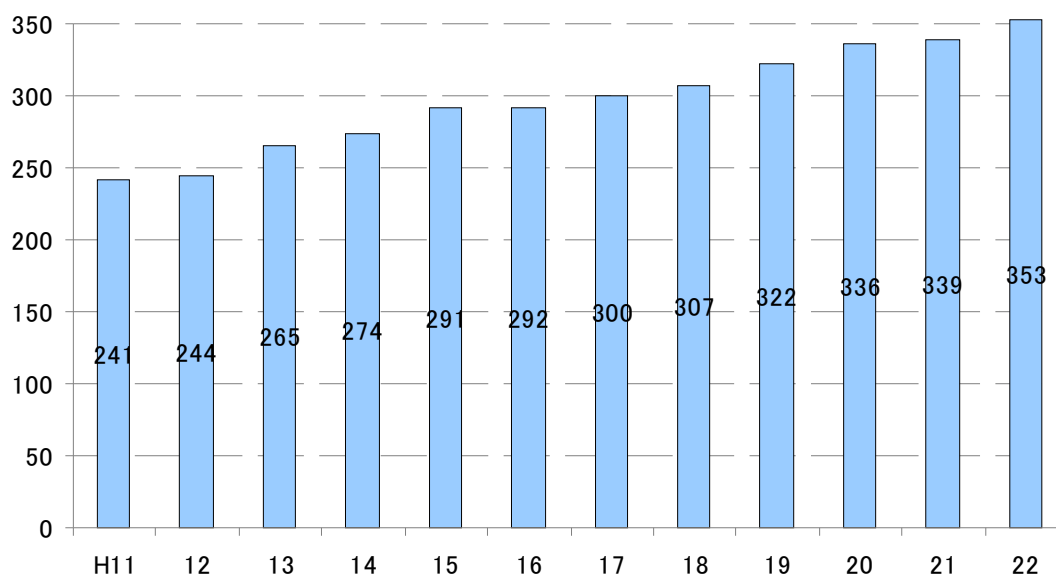


福岡市教育委員会調べ

知的障がいのある児童生徒数が、年々増加している。

Ⅱ－6－2 特別支援学校の学級数(小・中・高等部)

(学級数)

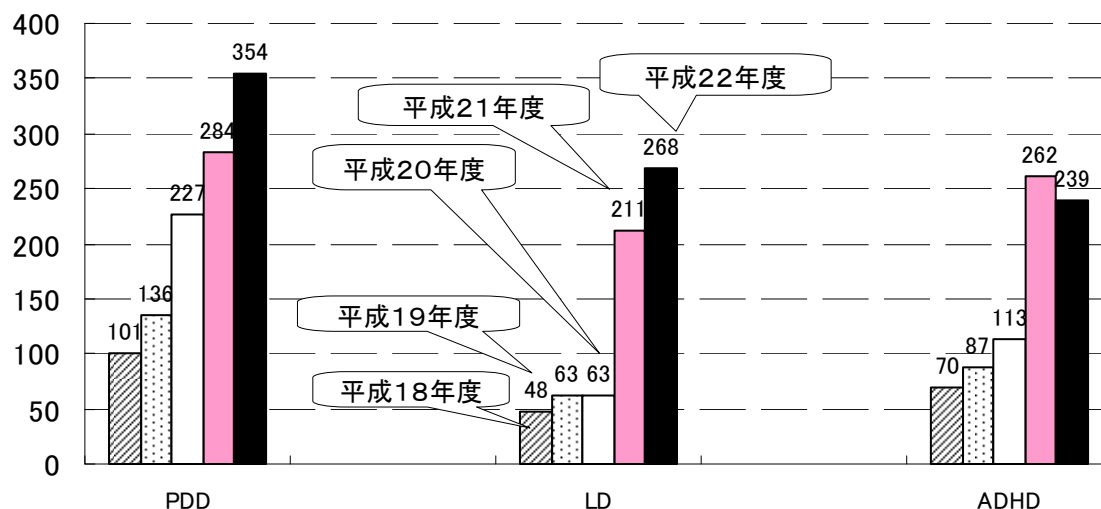


福岡市教育委員会調べ

特別支援学校の学級数は、年々増加している。

Ⅱ－6－3 通常学級における発達障がいのある児童数(小学校)

(人) ※PDD・・・広汎性発達障がい, LD・・・学習障がい, ADHD・・・注意欠陥多動性障がい

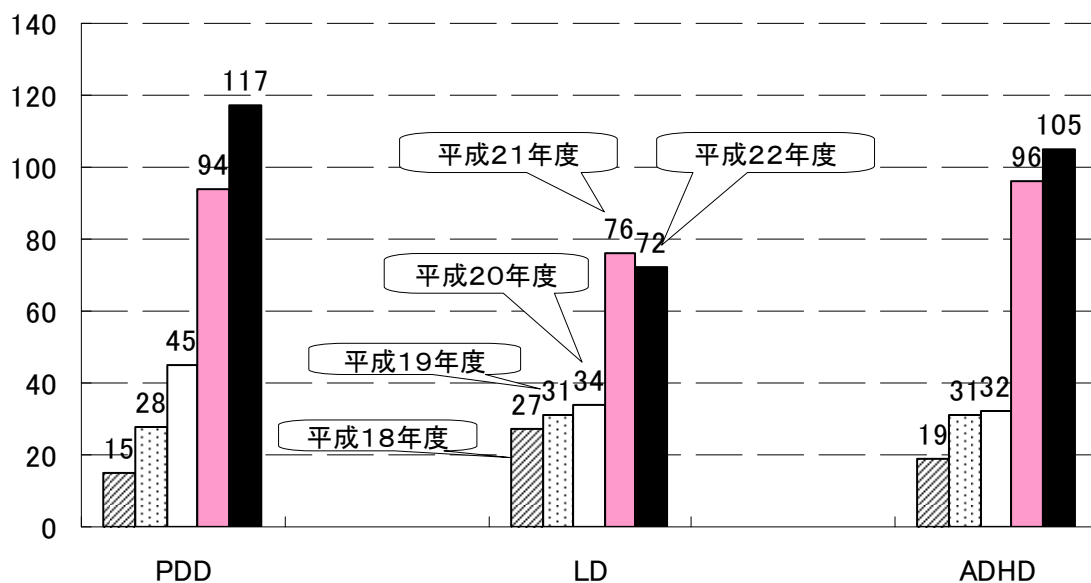


福岡市教育委員会調べ

通常学級における発達障がいのある児童数は、PDD・LD・ADHDともに大きく増加している。特に、平成22年度のPDDやADHDの増加も大きい。

Ⅱ－6－3 通常学級における発達障がいのある生徒数(中学校)

(人) ※PDD・・・広汎性発達障がい, LD・・・学習障がい, ADHD・・・注意欠陥多動性障がい

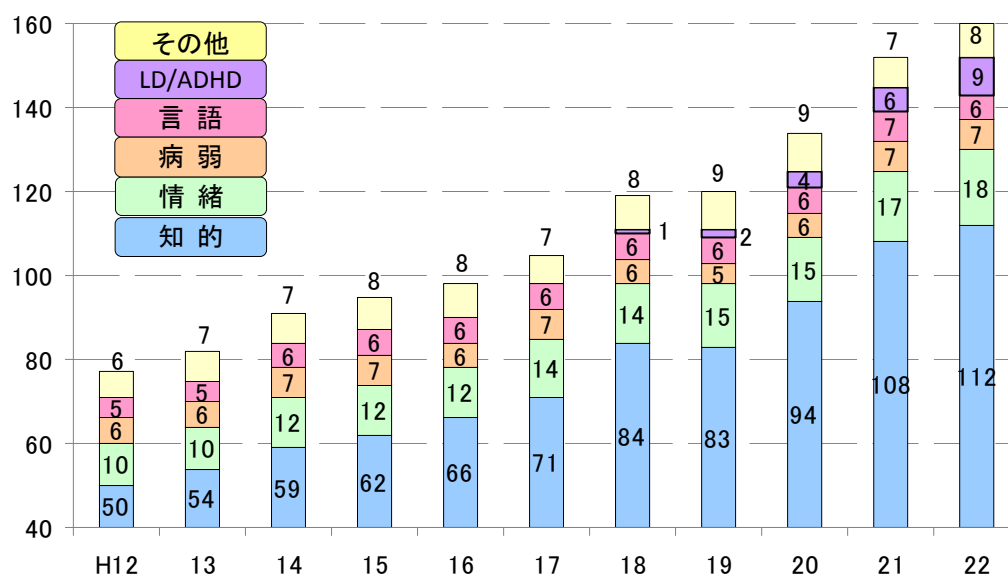


福岡市教育委員会調べ

通常学級における発達障がいのある生徒数は、小学生同様、PDD・LD・ADHDともに増加している。特に、平成22年度のPDDの伸びは大きい。

Ⅱ－6－4 特別支援学級の設置状況(小学校)

(学級数) ※その他…肢体不自由, 弱視, 難聴

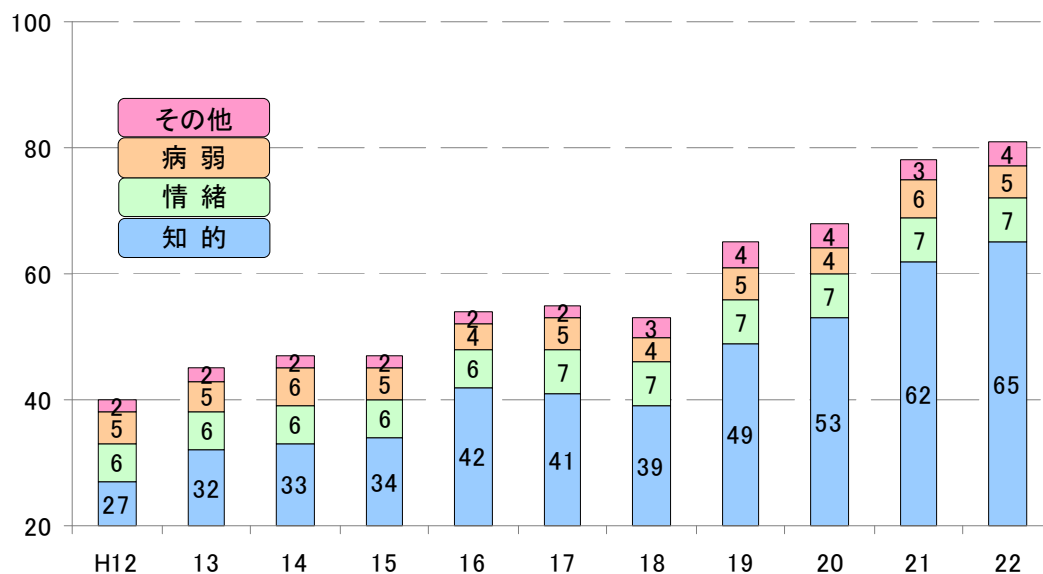


福岡市教育委員会調べ

通常の小学校における特別支援学級の設置は、年々増加している。なかでも、知的障がい学級が大きく増加している。

Ⅱ－6－4 特別支援学級の設置状況(中学校)

(学級数) ※その他…肢体不自由, 弱視, 難聴

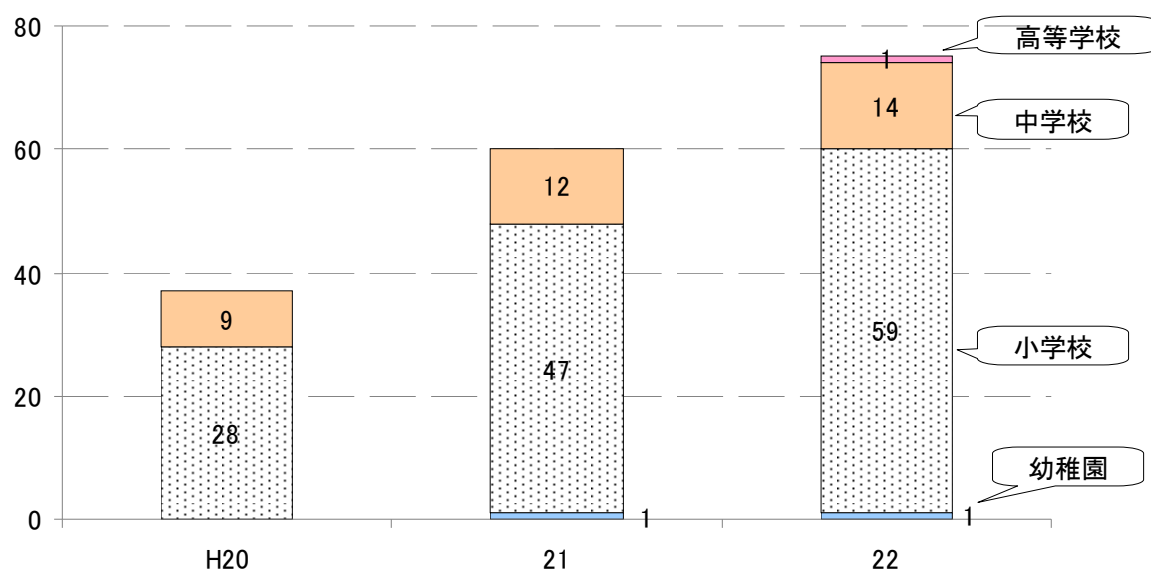


福岡市教育委員会調べ

通常の中学校における特別支援学級の設置は、年々増加している。小学校同様、知的障がい学級が大きく増加している。

Ⅱ－6－5 特別支援教育支援員の配置状況

(人)

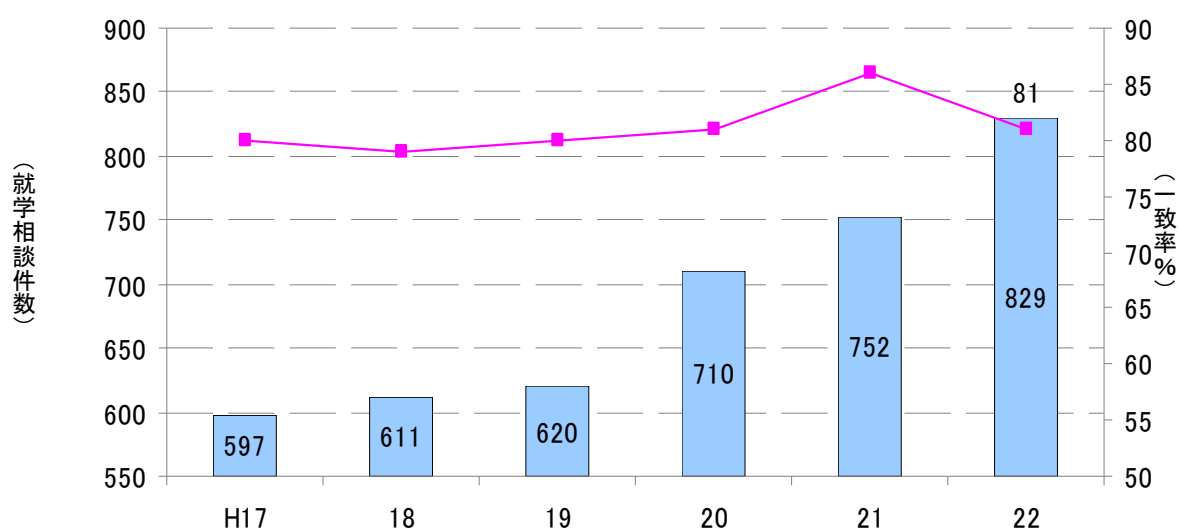


福岡市教育委員会調べ

特別支援教育支援員は、配置数が年々増加している。

Ⅱ－6－6 就学相談数と一致率

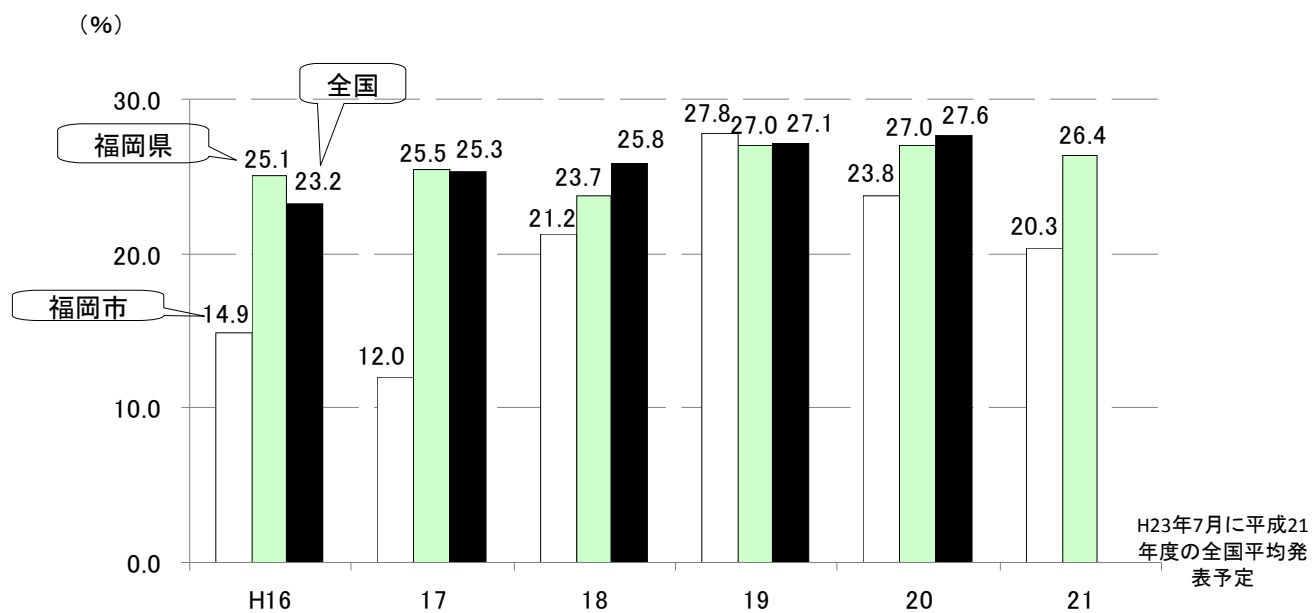
※一致率…適正就学指導委員会の判断通りに児童生徒の就学先が決定した割合



福岡市教育委員会調べ

就学相談数は、増加傾向となっている。平成22年度においては、就学相談の結果、適正就学指導委員会の判断通りに就学先が決定した割合は減少傾向となっている。

Ⅱ－6－7 特別支援学校高等部就職率



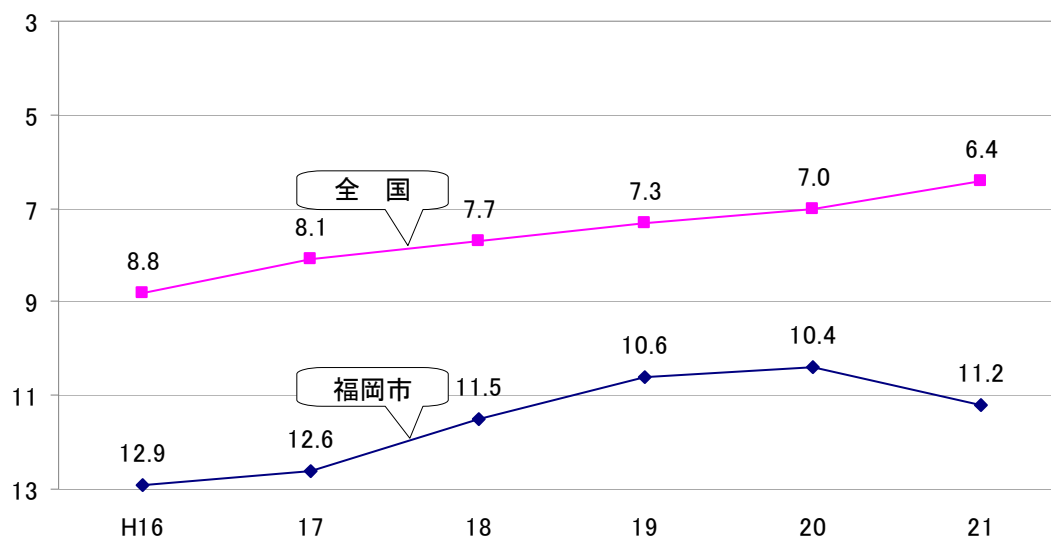
福岡市教育委員会調べ

昨年度に比べ、特別支援学校高等部の就職率は、減少傾向である。

Ⅱー7 ICT環境

Ⅱー7ー1 コンピュータ1台あたりの児童生徒数

(人/台数)

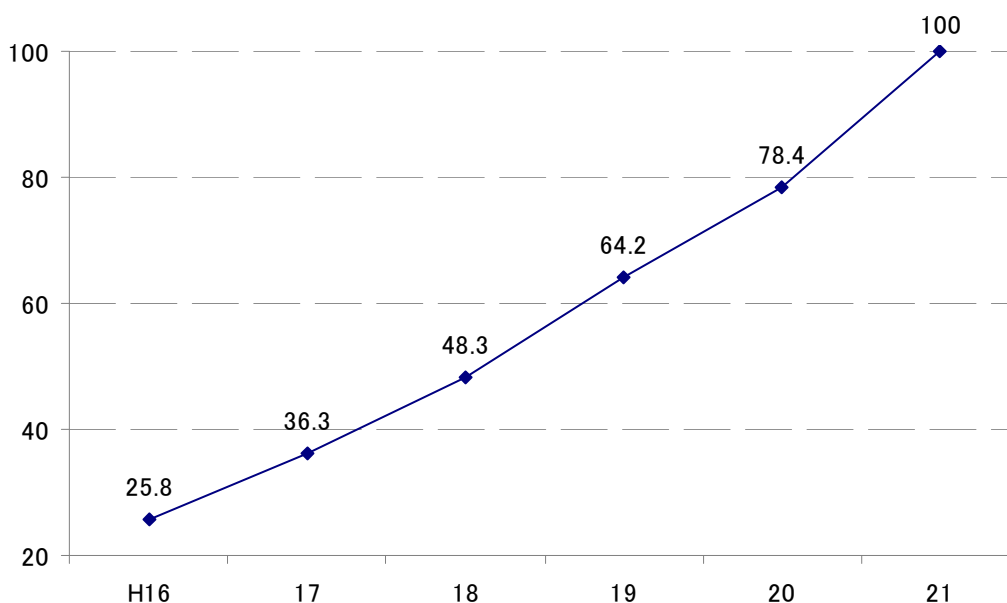


福岡市教育委員会調べ

コンピュータ1台あたりの児童生徒数は、全国平均に比べてかなり多い。

Ⅱー7ー2 普通教室における校内LAN整備率

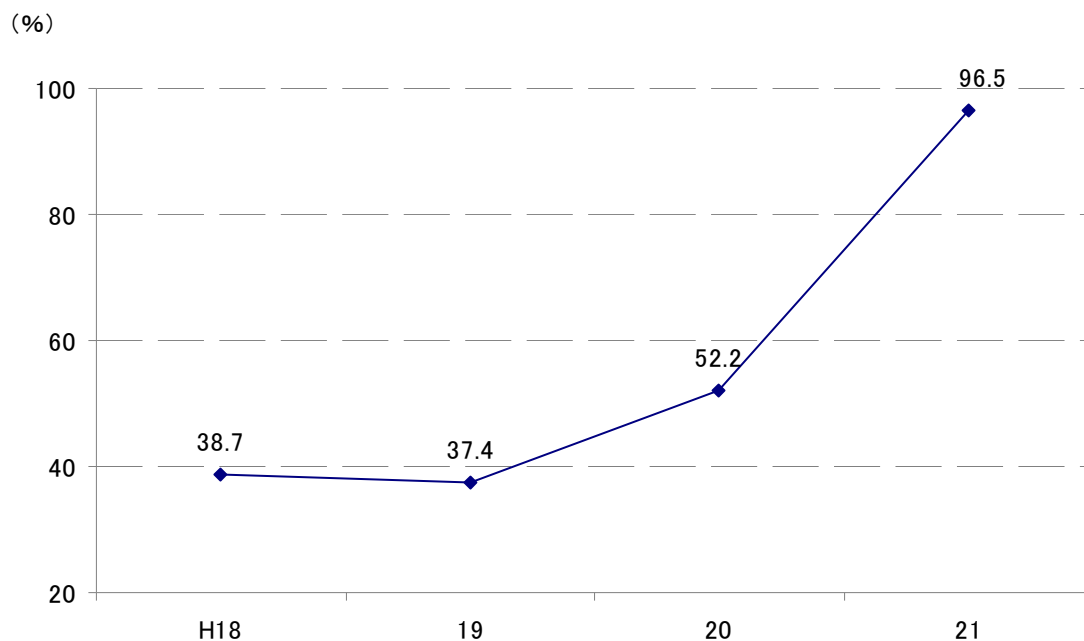
(%)



福岡市教育委員会調べ

普通教室における校内LAN整備率は、学校単位は100%であるが、一部未整備の教室がある。平成22年度より特別教室等への拡大整備を実施している。

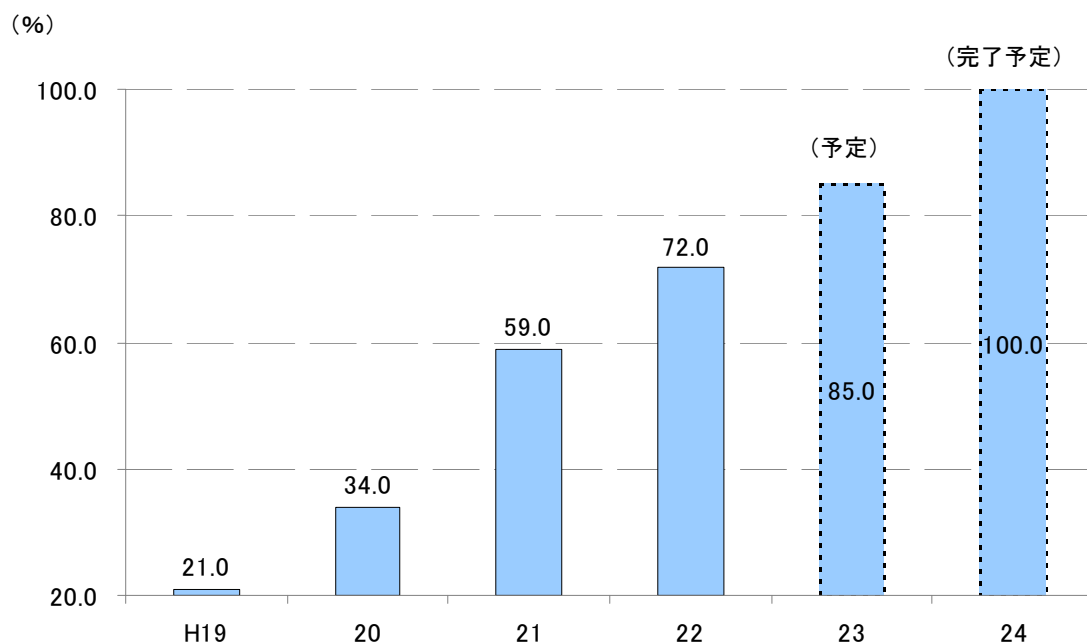
Ⅱー7ー3 超高速インターネット接続率(光ファイバ回線)



福岡市教育委員会調べ

超高速インターネット接続率(30Mbps以上)は、通信速度の速い光ファイバ回線への移行が進んでいる。

Ⅱー7ー4 校務用コンピュータ整備率(24年度整備完了予定)



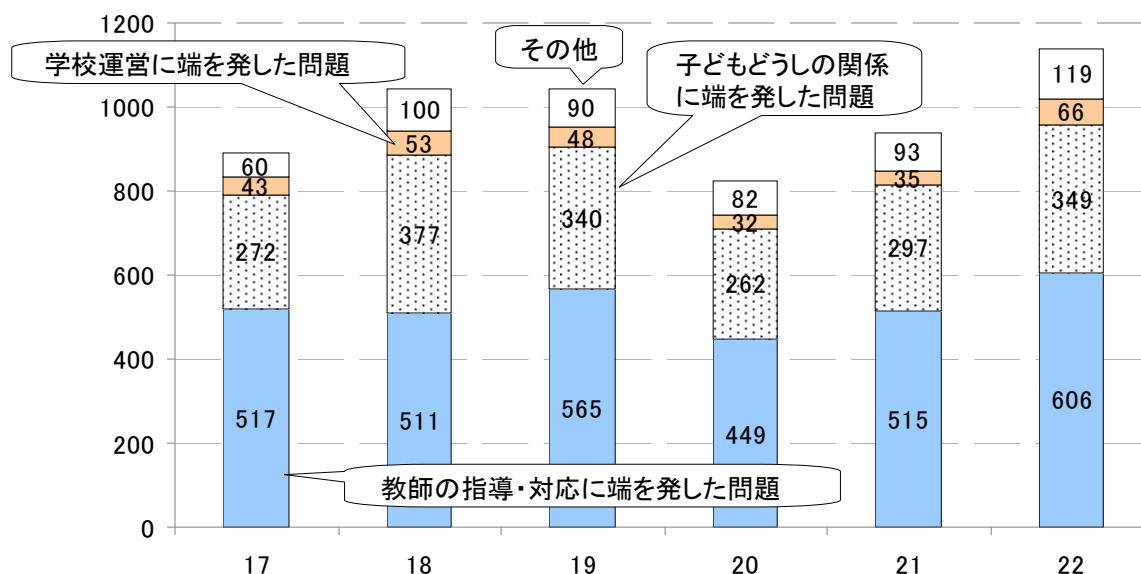
福岡市教育委員会調べ

校務用コンピュータの整備率は、平成24年度100%の整備完了を目標に整備が進んでいる。

Ⅱ－８ その他の状況

Ⅱ－８－１ 学校に寄せられる相談等の状況

(件)

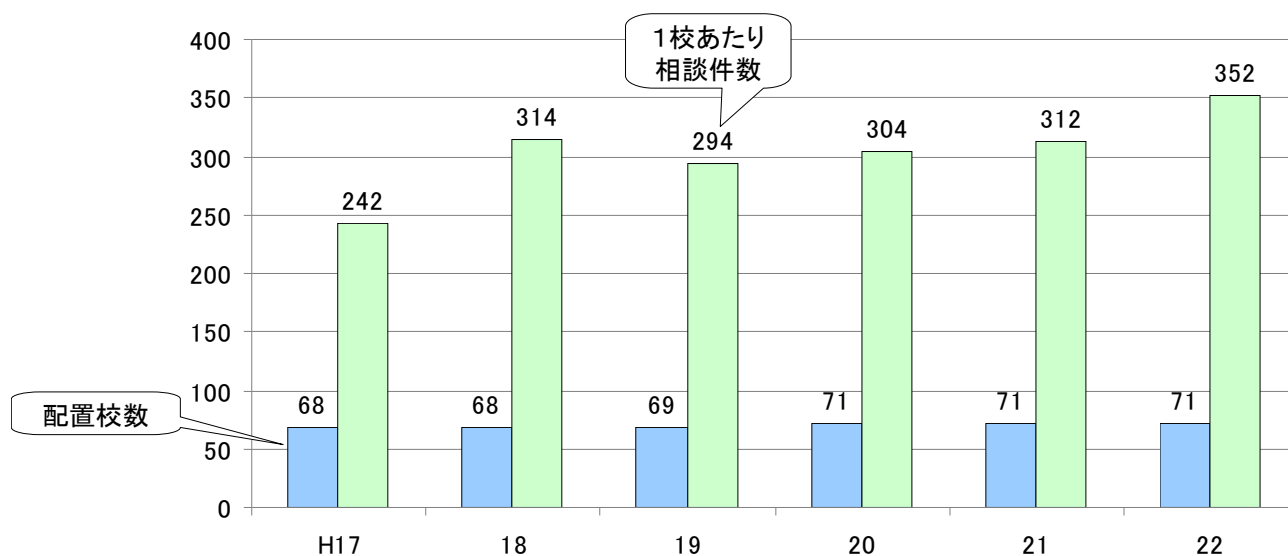


福岡市教育委員会調べ

学校に寄せられる相談等の状況は、平成21年度から増加に転じている。

Ⅱ－８－２ スクールカウンセラーへの相談等の状況

(校数・件数)



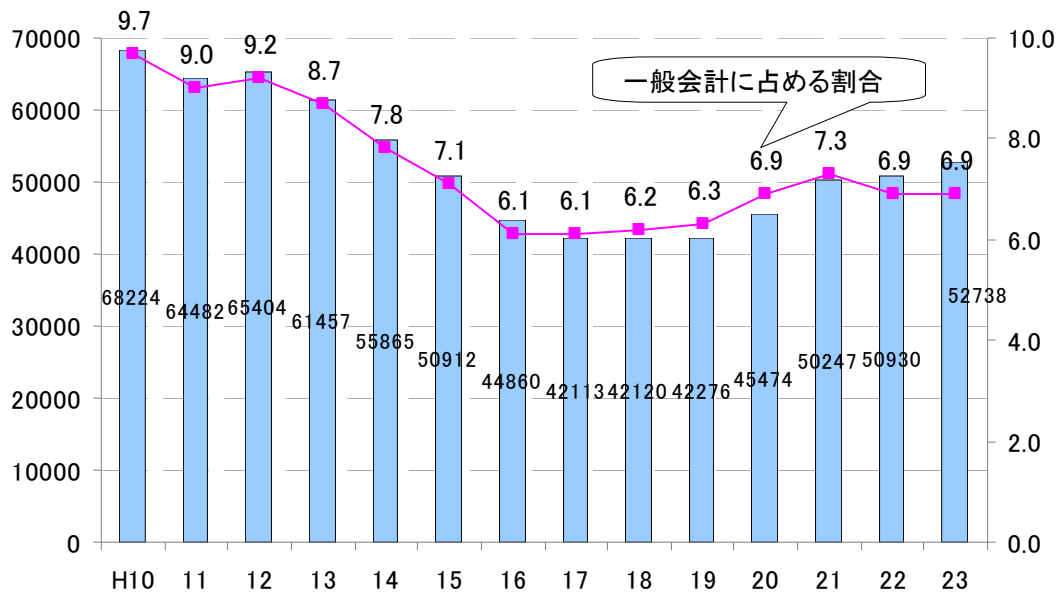
福岡市教育委員会調べ

スクールカウンセラーの配置校数は、変化がない。しかし、スクールカウンセラーへの相談件数は、平成22年度で1校あたり352件と急増している。

Ⅱ－８－３ 福岡市の教育予算の推移

(予算額:百万円)

(%)



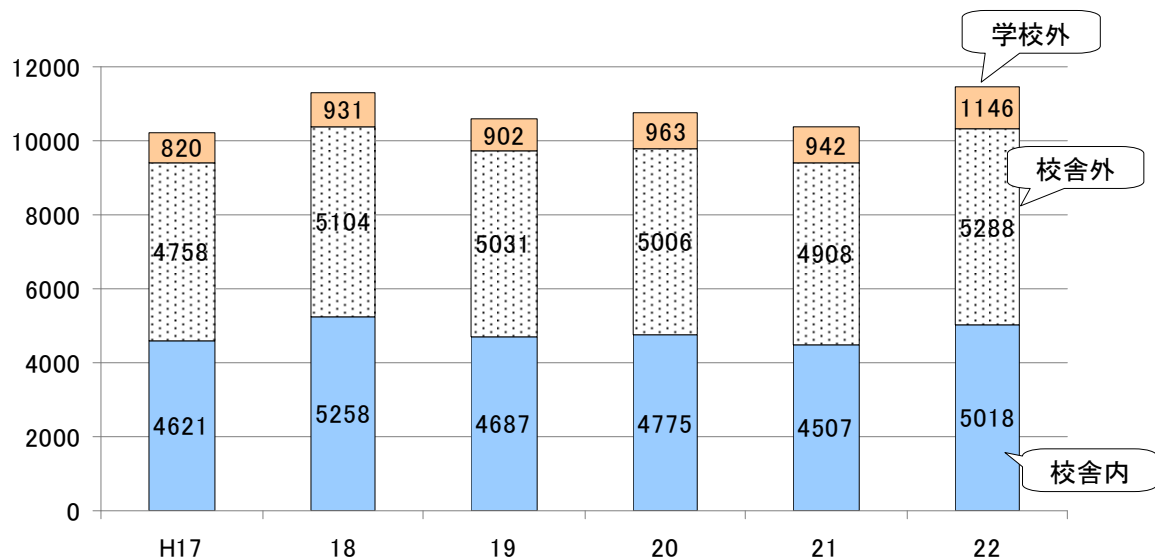
福岡市教育委員会調べ

教育予算は、減少傾向となっていたが、平成18年度からは増加傾向となっている。

Ⅱ－８－４ 学校災害の状況(市立幼稚園・小学校・中学校・高等学校)

(件)

※学校災害…学校の管理下の事由による負傷、疾病等



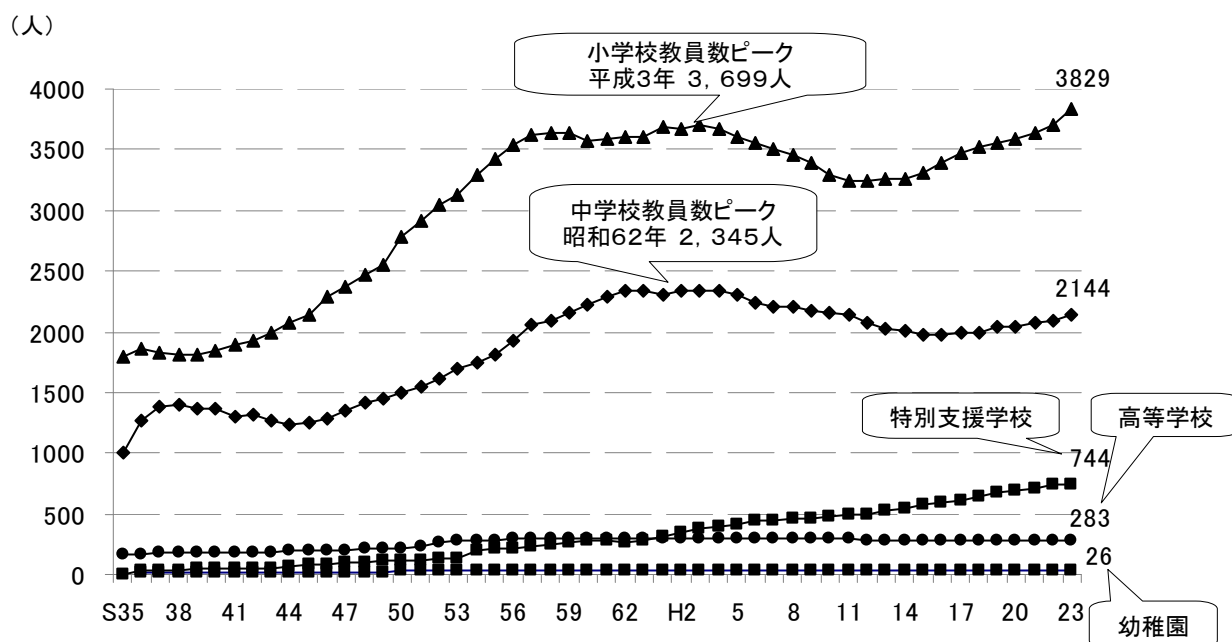
福岡市教育委員会調べ

学校災害は年間1万件ほどで推移しており、平成22年度は増加している。

III 教職員

Ⅲ－１ 教職員

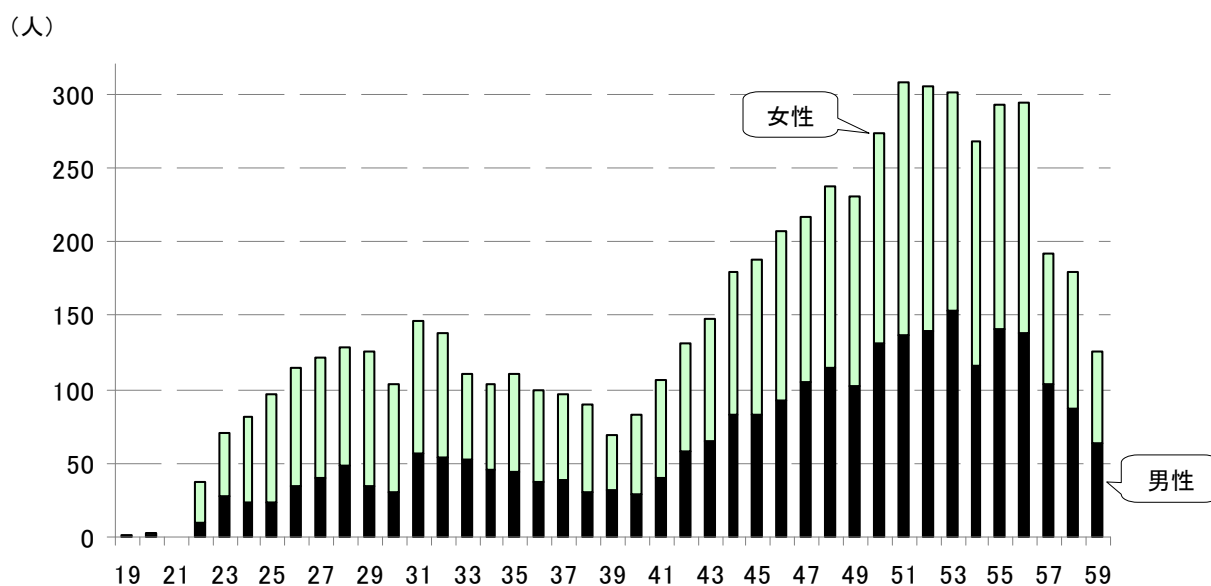
Ⅲ－１－１ 福岡市立学校教員数の推移



福岡市教育委員会調べ

福岡市立学校教員数は、平成23年度で幼稚園26名、高等学校283名、特別支援学校744名、中学校2,144名、小学校3,829名となっている。

Ⅲ－１－２ 教職員の年齢構成(平成22年5月現在)



※対象者：小・中・特別支援学校における校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、期限を附さない常勤講師、養護教諭、栄養教諭、事務職員、学校栄養職員

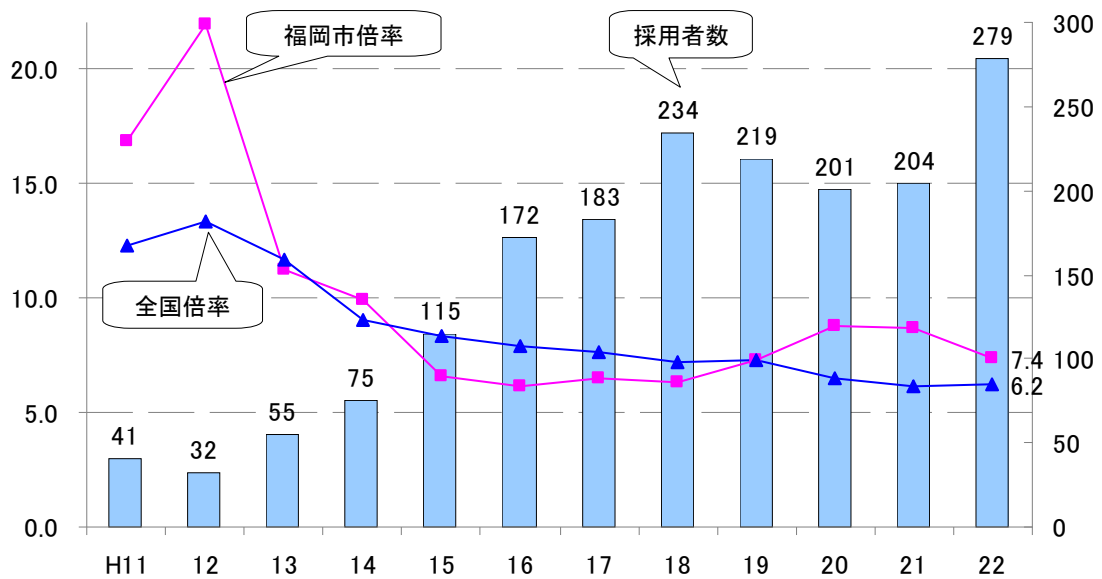
福岡市教育委員会調べ

教職員の年齢構成は、50代が最も多く30代後半が最も少ない構成となっている。4年後から大量退職期を迎え、約10年間ほど続く。

Ⅲ－１－３ 教員採用者数と志願倍率

(志願倍率)

(採用人数)

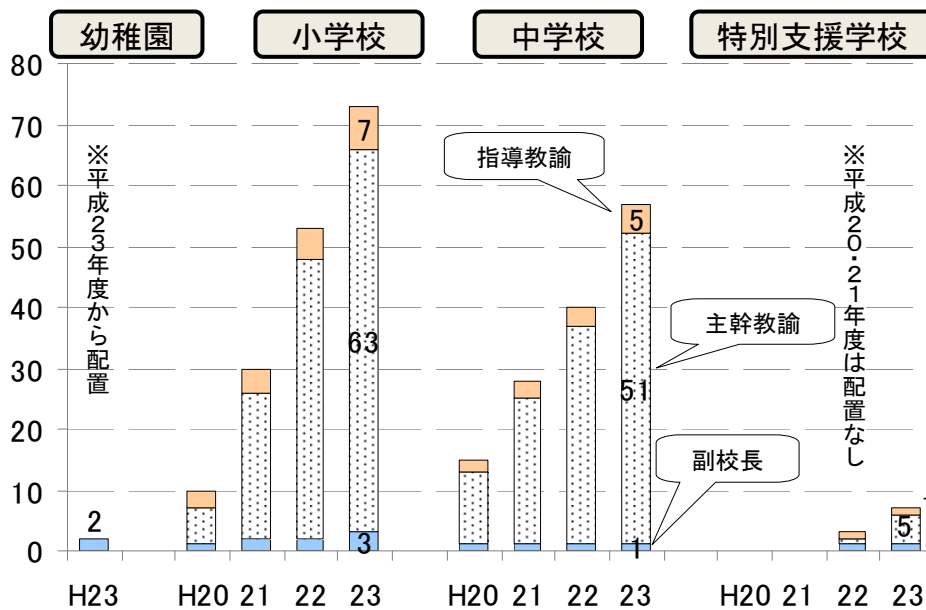


福岡市教育委員会調べ

教員採用者数は、平成18年度以降は200名を超えている。福岡市の志願倍率は低下しているが、採用者数は増加している。

Ⅲ－１－４ 副校長・主幹教諭・指導教諭の配置数

(人)

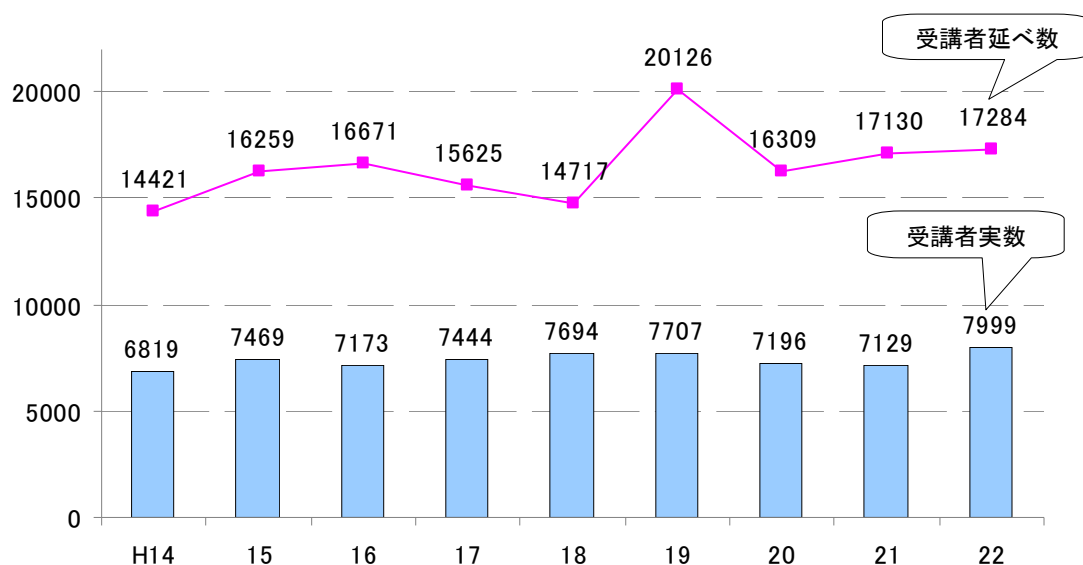


福岡市教育委員会調べ

副校長・主幹教諭・指導教諭などの新たな職は、年々増加している。平成22年度からは、特別支援学校、平成23年度からは幼稚園にも配置が行われている。

Ⅲ－２ 教職員の研修状況

Ⅲ－２－１ 教育センター研修講座受講者数の推移

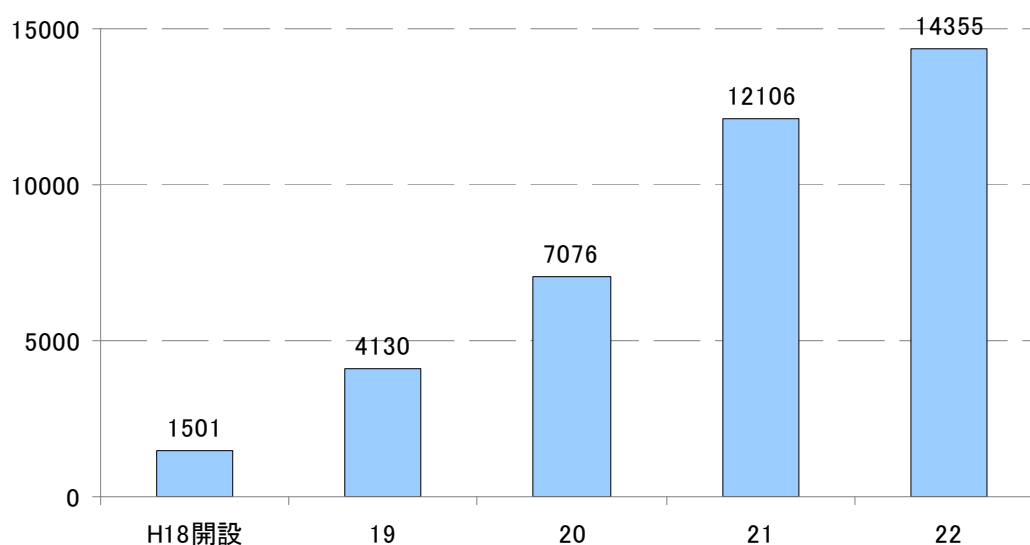


福岡市教育委員会調べ

教育センター研修講座の受講者数は、昨年度より増加している。また、受講者延べ数も17,000人を超えている。

Ⅲ－２－２ 授業力向上支援センター利用者数の推移

(人)



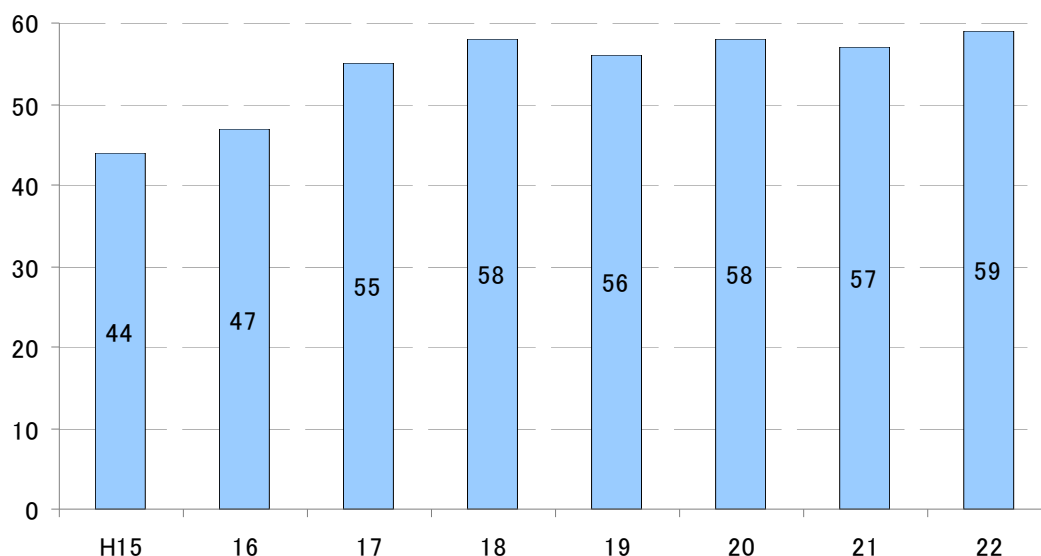
福岡市教育委員会調べ

平成18年度に開設された授業力向上支援センターの利用者数は、年々増加しており平成22年度は14,000人を超えている。

Ⅲ－３ 教員の休職状況

Ⅲ－３－１ 精神性疾患を原因とする病気休職者(教員)の推移

休職者数(人)



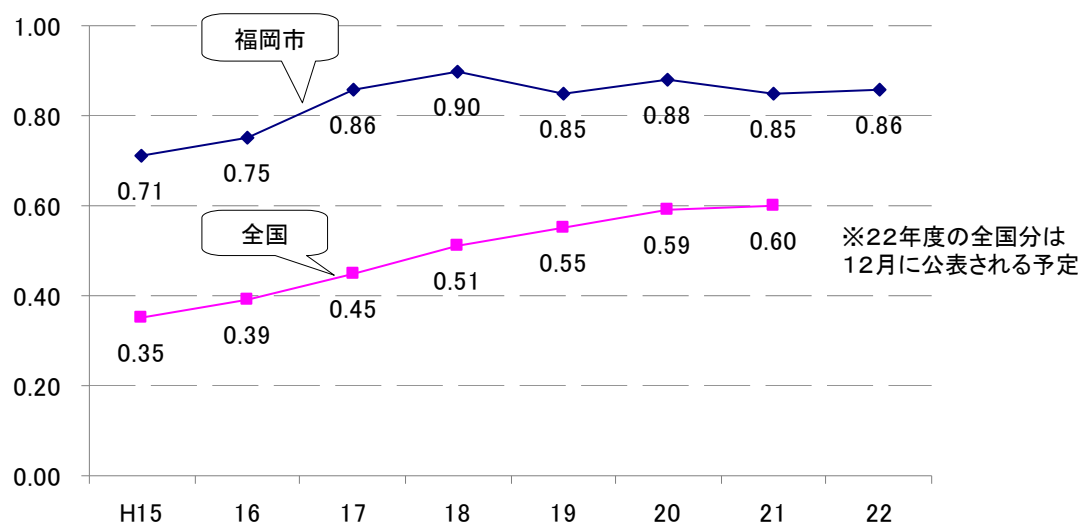
※対象者:小・中・高・特別支援学校における校長, 副校長, 教頭, 主幹教諭, 指導教諭, 教諭, 養護教諭, 栄養教諭, 常勤講師

福岡市教育委員会調べ

精神性疾患を原因とする病気休職者は, 平成17年度以降は50人以上で推移し, ほとんど変化は見られない。

Ⅲ－３－２ 精神性疾患を原因とする病気休職者(教員)の割合

(%)

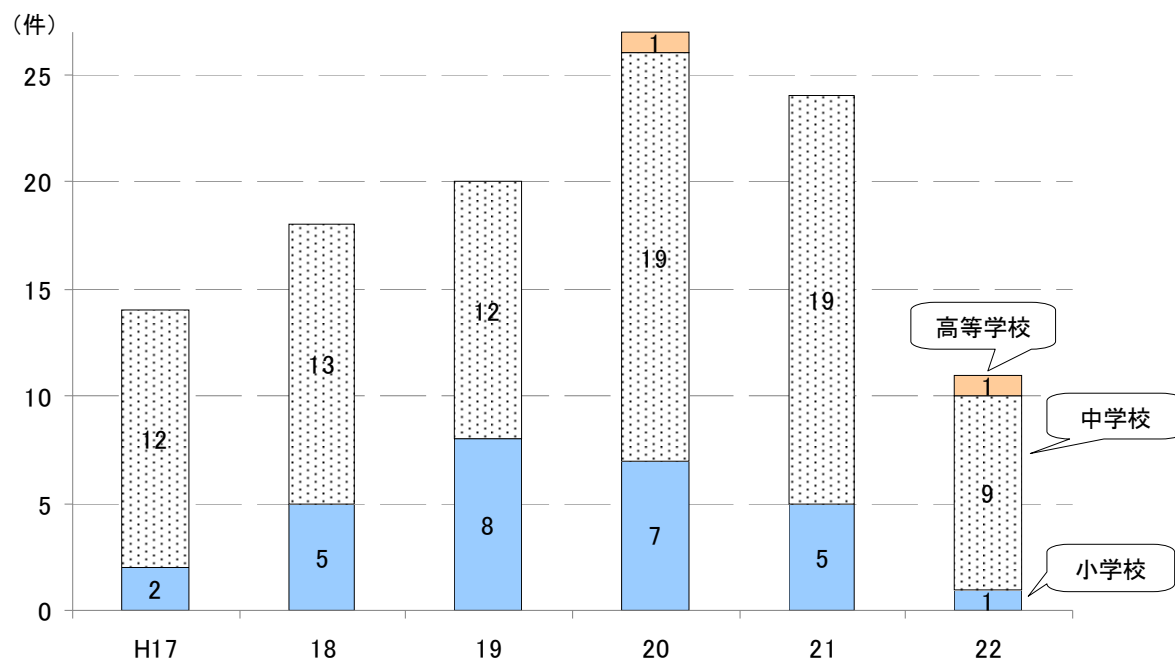


福岡市教育委員会調べ

精神性疾患を原因とする病気休職者の割合は, 全国平均よりも高くなっている。

Ⅲー4 体罰・処分

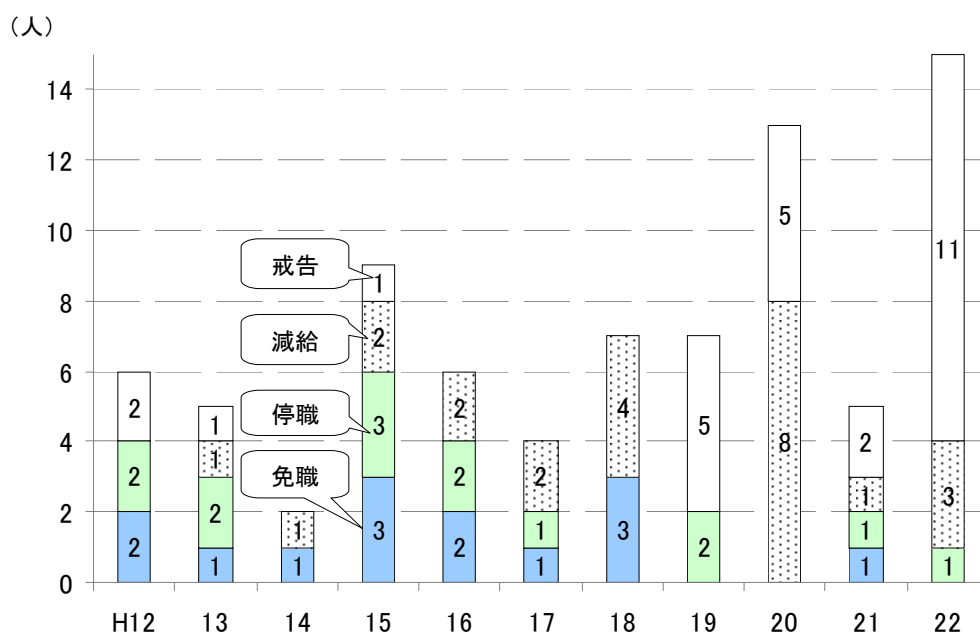
Ⅲー4ー1 体罰の件数



福岡市教育委員会調べ

体罰の件数については、減少傾向となっている。平成22年度は中学校が、半分以上を占めている。

Ⅲー4ー2 懲戒処分者数(教職員)の状況



福岡市教育委員会調べ

懲戒処分者数は、年度により大きく異なるが、平成22年度は、戒告処分者数が増加している。

Ⅲ－４－３ 態様別懲戒処分者(教職員)数(平成12～22年度)

行為態様	免職	停職	減給	戒告	合計(人)
体 罰	0	1	7	9	17
猥 褻 セクハラ	11	3	2	0	16
交通違反 事 故	2	5	5	1	13
個人情報	0	0	1	10	11
そ の 他	1	5	9	7	22
合計(人)	14	14	24	27	79

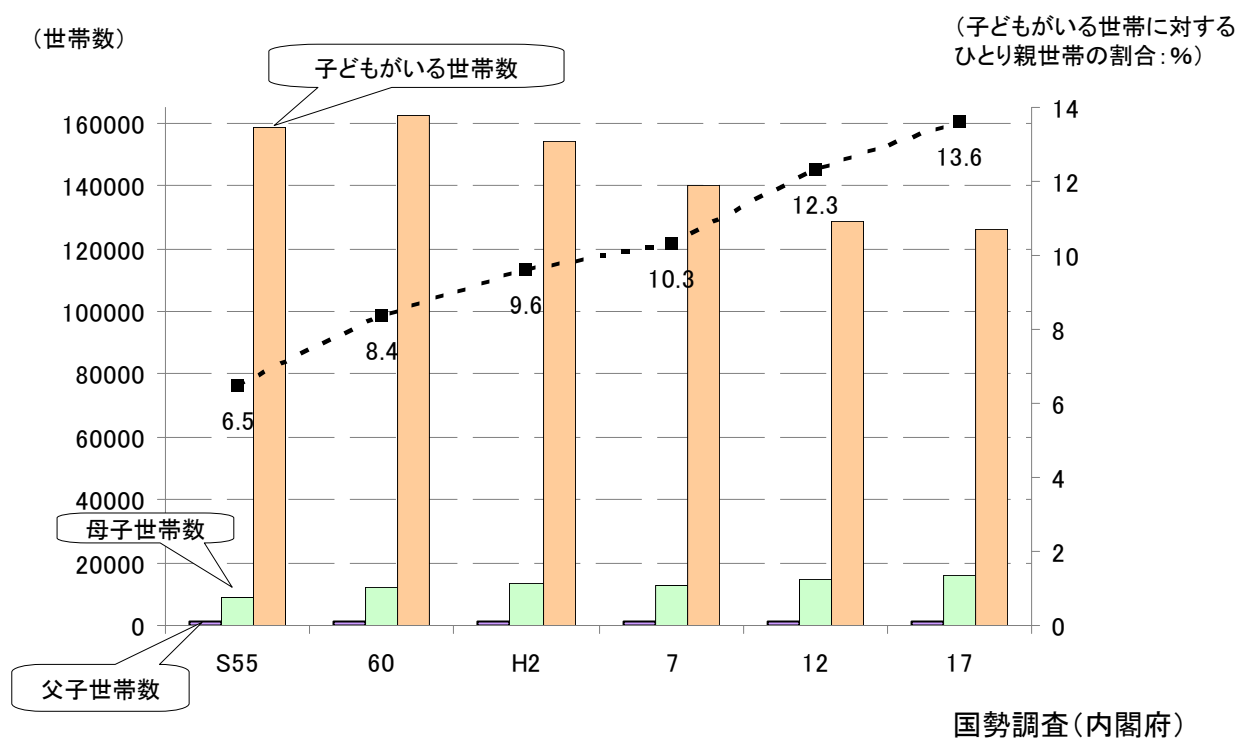
※その他・・・窃盗, 暴力行為, 備品亡失, 準公金処理不適切 等
福岡市教育委員会調べ

態様別では, 多い順に「体罰」「猥褻・セクハラ関係」「交通違反・事故」「個人情報」となっている。

IV 家庭・地域等

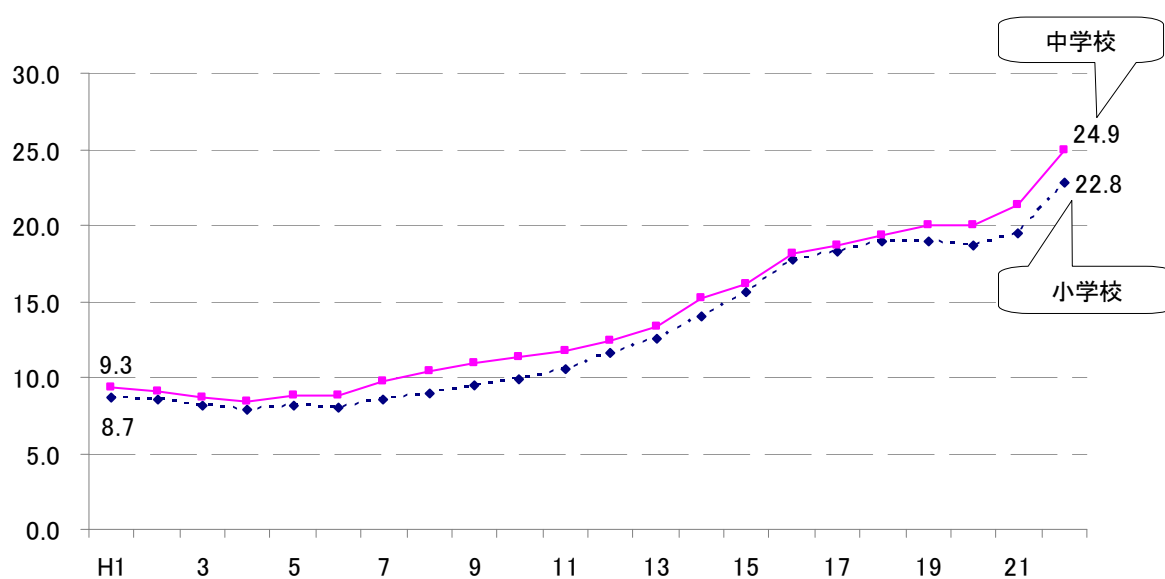
Ⅳー1 家庭状況

Ⅳー1ー1 ひとり親世帯の推移



子どもがいる世帯が減少している。しかし、子どもがいる世帯に対するひとり親世帯の割合は、年々高くなっている。

Ⅳー1ー2 就学援助対象児童生徒数の割合

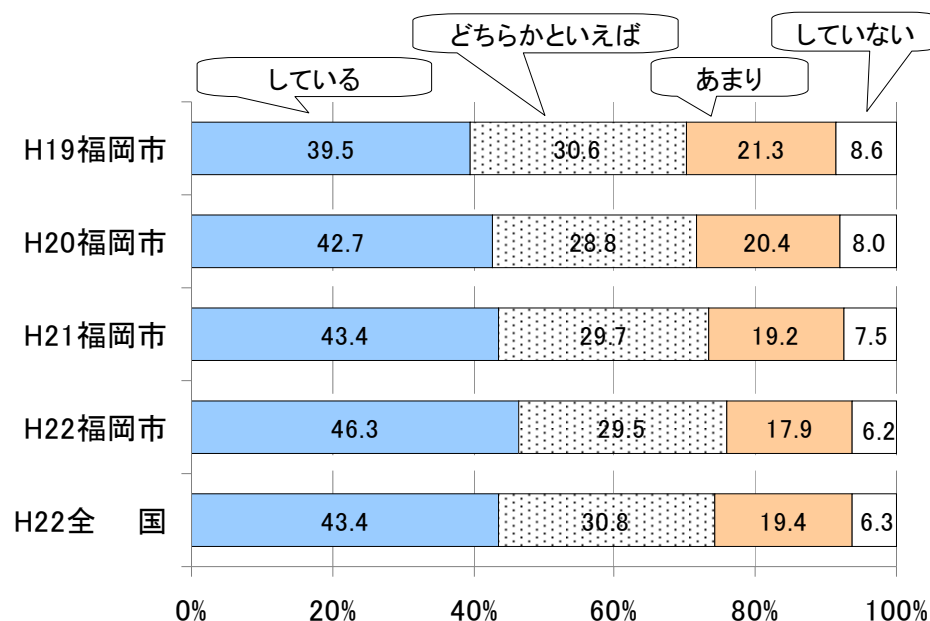


福岡市教育委員会調べ

就学援助対象児童生徒数は、平成4年度以降増加傾向が続いている。平成22年度は、小学校・中学校ともに過去最高値となっている。

Ⅳー2 子どもとのかかわり

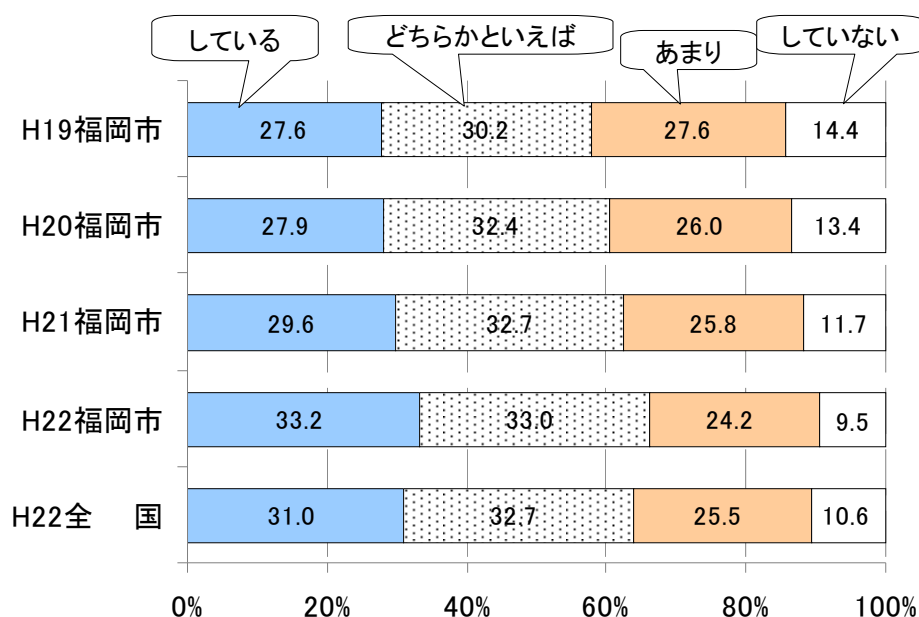
Ⅳー2ー1 学校の出来事についての会話(小学校6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

平成21年度同様に、学校の出来事について家庭で会話をしている割合は、微増傾向となっており全国平均を上回っている。

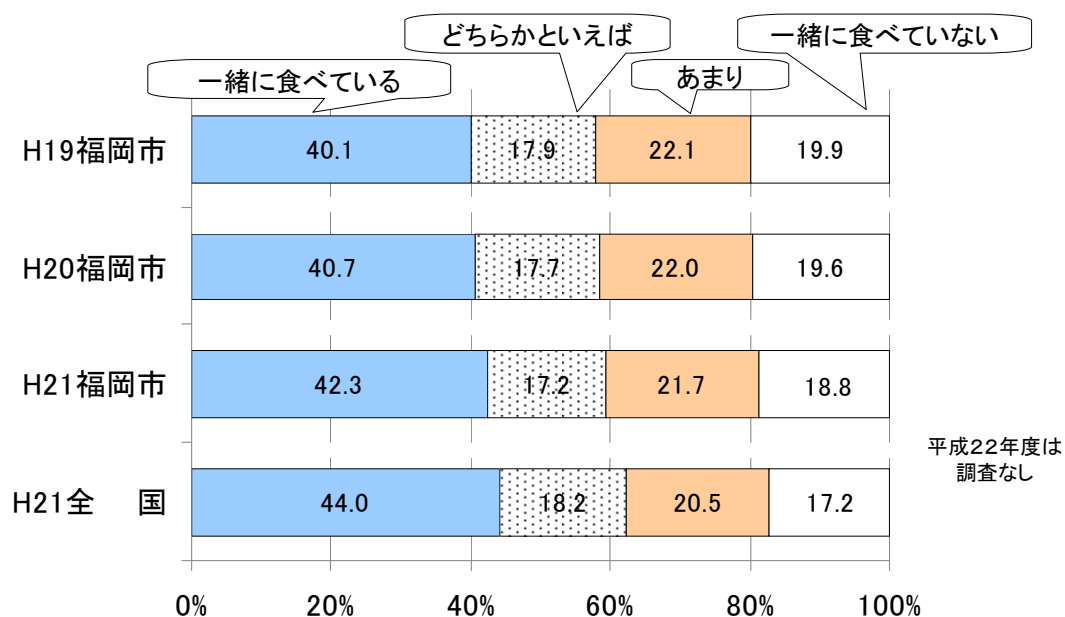
Ⅳー2ー1 学校の出来事についての会話(中学校3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

平成21年度同様に、学校の出来事について家庭で会話をしている割合は、微増傾向となっており全国を上回っている。

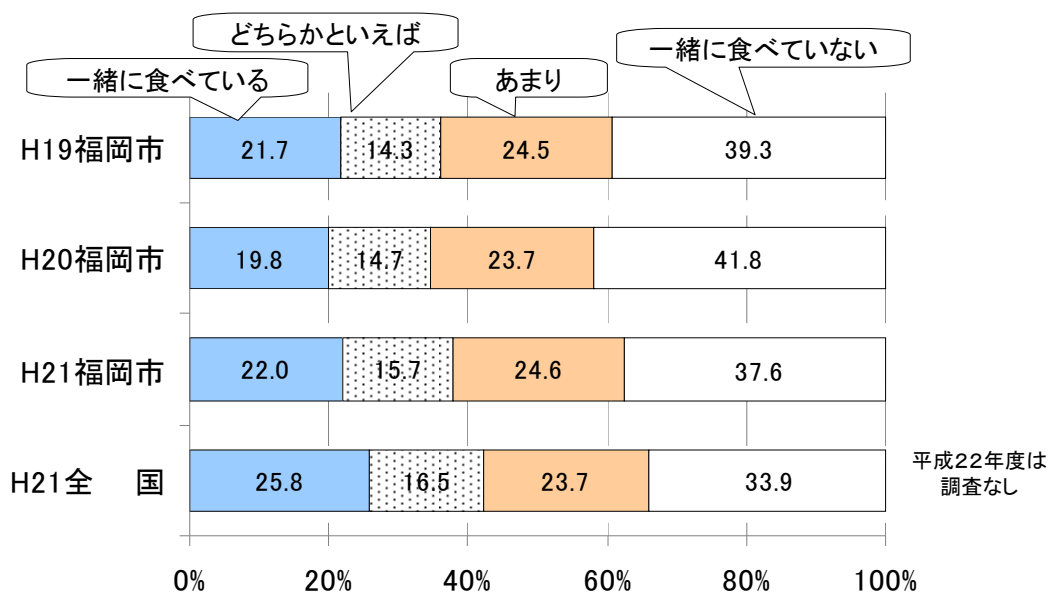
Ⅳ－２－２ 普段(月～金曜日)の家の人との朝食(小学校6年)



平成22年度は調査なし
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

普段、家の人と一緒に朝食を食べている割合は、微増傾向となっているが、全国平均より若干下回っている。

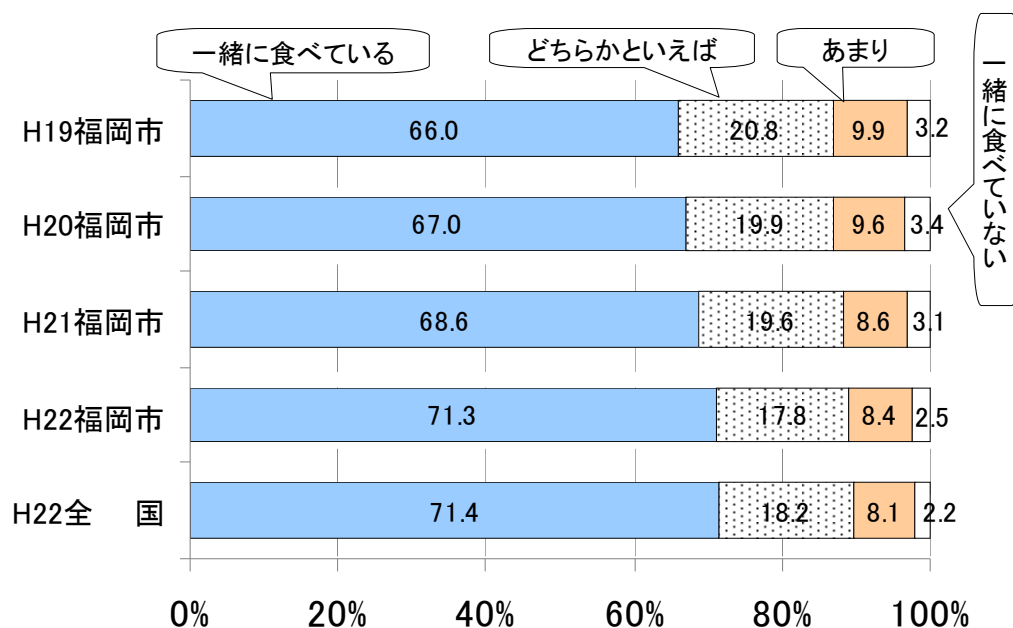
Ⅳ－２－２ 普段(月～金曜日)の家の人との朝食(中学校3年)



平成22年度は調査なし
文部科学省「全国学力・学習状況調査」

普段、家の人と一緒に朝食を食べている割合は、小学校同様、微増傾向となっているが、全国平均を大きく下回っている。

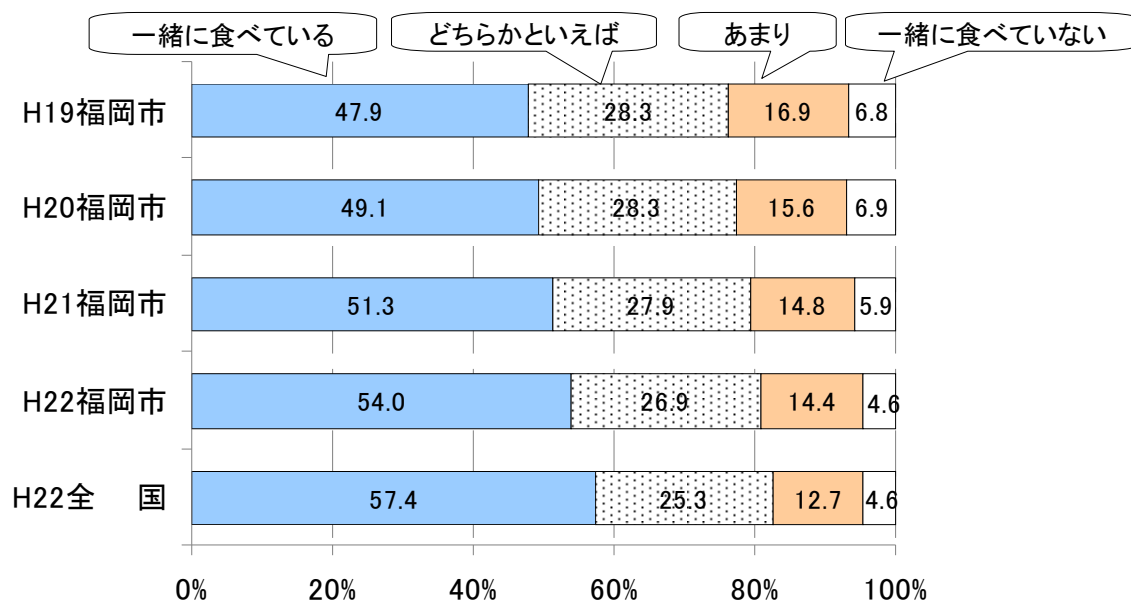
Ⅳ－２－３ 普段(月～金曜日)の家の人との夕食(小学校6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

普段、家の人と一緒に夕食を食べている割合は、微増傾向となっている。全国平均とほぼ変わらない。

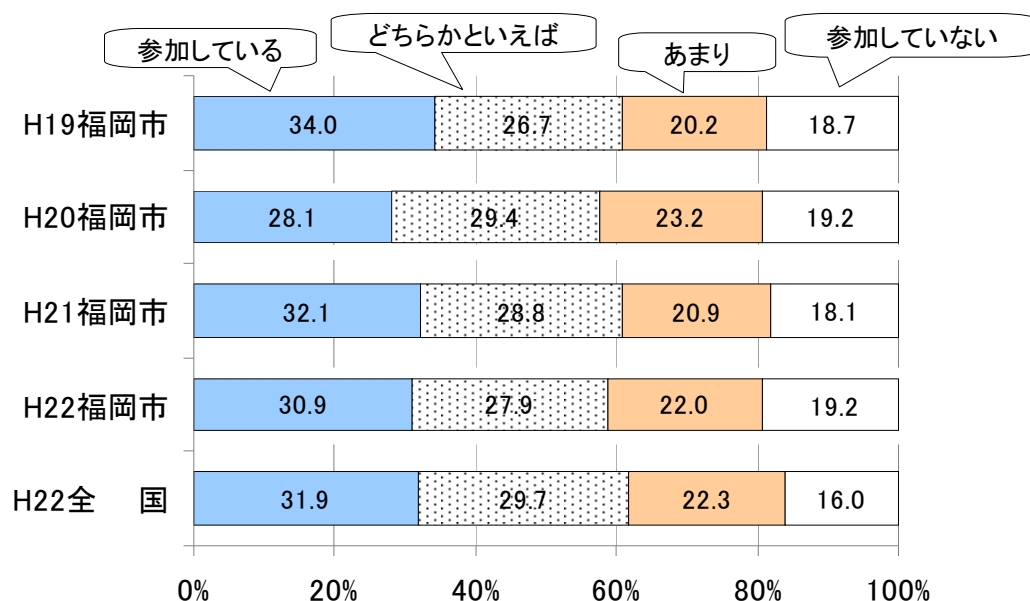
Ⅳ－２－３ 家の人との夕食(中学校3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

普段、家の人と一緒に夕食を食べている割合は、小学校同様、微増傾向となっているが、全国平均より下回っている。

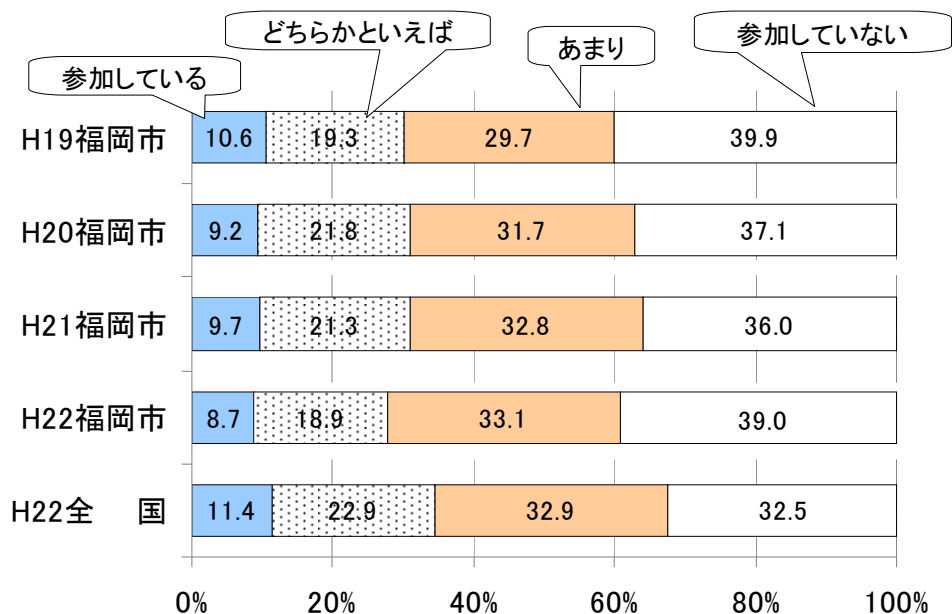
Ⅳ－２－４ 地域行事への参加(小学校6年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

地域行事への参加の割合は、ほとんど変化は見られないが、全国平均より「参加している」「どちらかといえば」と回答している割合が低い。

Ⅳ－２－４ 地域行事への参加(中学校3年)



文部科学省「全国学力・学習状況調査」

地域行事への参加の割合は、ほとんど変化は見られない。全国平均は、地域行事への参加の割合が高い。

V 評価指標

（「新しいふくおかの教育計画」における重点施策の評価指標）

※評価指標に関するデータは平成24年度に把握することとなっているが、現在把握できているものについては、数値を掲載している

V-1 たくましく生きる子どもの育成

V-1-① 確かな学力の向上

指標名「基礎基本となる学力の向上の取組の満足度」

○あなたの学校は「基礎基本となる学力の向上に取り組んでいる」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した、保護者、教員の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
福岡市教育意識調査アンケート保護者	67.9%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	75.0%
福岡市教育意識調査アンケート教員	95.6%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	100%

指標名「児童生徒の授業内容に関する理解度」

○あなたは「国語や算数・数学の授業の内容がよくわかるか」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した、児童生徒の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
全国学力・学習状況調査(小6児童)	77.7%	77.5%	77.6%	調査実施予定	調査実施予定	75.0%
全国学力・学習状況調査(中3生徒)	65.3%	66.8%	67.4%	調査実施予定	調査実施予定	

V-1-② 豊かな心の育成

指標名「児童生徒の「思いやり」の状況」

○「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」について、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
全国学力・学習状況調査(小6児童)	68.7%	67.3%	68.3%	調査実施予定	調査実施予定	90.0%
全国学力・学習状況調査(中3生徒)	70.5%	71.0%	72.4%	調査実施予定	調査実施予定	90.0%

指標名「児童生徒の規範意識の状況」

○「学校のきまりを守っている」について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童・生徒の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
全国学力・学習状況調査(小6児童)	86.3%	87.2%	88.7%	調査実施予定	調査実施予定	90.0%
全国学力・学習状況調査(中3生徒)	86.3%	88.9%	90.0%	調査実施予定	調査実施予定	80.0%

V-1-③ 健やかな体の育成

指標名「児童生徒の体力運動能力の状況」

○「体力運動能力調査」の総合得点の全国平均を50とした場合の福岡市の小学校5年生、中学校2年生の値

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
体力運動能力調査(小5男子)	48.9	49.3	49.7	調査実施予定	調査実施予定	50.0
体力運動能力調査(小5女子)	47.8	47.6	47.6	調査実施予定	調査実施予定	50.0
体力運動能力調査(中2男子)	48.0	47.8	47.3	調査実施予定	調査実施予定	50.0
体力運動能力調査(中2女子)	47.5	47.4	47.3	調査実施予定	調査実施予定	50.0

指標名「新体力テストの実施状況」

○「新体力テスト」を完全実施している学校の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
新体力テスト実施状況(小学校)	19.0%	23.0%	30.0%	調査実施予定	調査実施予定	60.0%
新体力テスト実施状況(中学校)	81.0%	83.0%	84.0%	調査実施予定	調査実施予定	90.0%

指標名「朝食摂取の状況」

○「朝食を毎日食べていますか」という設問に対して、「毎日食べている」と回答した児童生徒の割合
○「子どもに毎日しっかりと朝食を食べさせていますか」という設問に対して、「毎日食べさせている」と回答した保護者の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
全国学力・学習状況調査(小6児童)	87.1%	88.4%	88.6%	調査実施予定	調査実施予定	100%
全国学力・学習状況調査(中3生徒)	82.2%	83.1%	84.7%	調査実施予定	調査実施予定	100%
福岡市教育意識調査アンケート(保護者)	74.5%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	100%

V-1-④ 福岡の特性を生かした教育の推進

指標名「地域の人材や施設を生かした教育の推進状況」

○「地域の人材や施設などを生かした教育を工夫しているか」の設問に対し、「とても当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した教員、保護者の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
福岡市教育意識調査アンケート(教員)	73.6%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	80.0%
福岡市教育意識調査アンケート(保護者)	52.4%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	70.0%

指標名「ふるさとわが町への興味関心の状況」

○「今住んでいる地域の歴史や自然に関心がある」の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童・生徒の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
全国学力・学習状況調査(小6児童)	46.4%	45.2%	(調査なし)	調査実施予定	調査実施予定	70.0%
全国学力・学習状況調査(中3生徒)	19.8%	19.9%	(調査なし)	調査実施予定	調査実施予定	70.0%

V-1-⑤ 市立高等学校の活性化

指標名「志願倍率の状況」

○志願倍率が市立高等学校平均倍率を下回っている学科数

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
状況調査	7学科	5学科	3学科	調査実施予定	調査実施予定	3学科

指標名「進路希望の実現に対する満足度」

○「学校の進路指導等が進路目標の達成に役立っているか」という設問に対して、「とてもそう思う」「ややそう思う」と回答した生徒の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
進路希望の実現に対するアンケート	73.6%	76.7%	75.6%	調査実施予定	調査実施予定	85.0%

V-1-⑥ 人権教育の推進

指標名「児童生徒の自尊感情の状況」

○「自分には、よいところがあると思う」の設問の設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
全国学力・学習状況調査(小6児童)	75.3%	75.1%	72.6%	調査実施予定	調査実施予定	85.0%
全国学力・学習状況調査(中3生徒)	61.2%	61.4%	63.7%	調査実施予定	調査実施予定	70.0%

指標名「児童生徒の人権意識の状況」

○「ひとが困っているときは、進んで人を助けている」という設問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
全国学力・学習状況調査(小6児童)	80.0%	79.9%	80.4%	調査実施予定	調査実施予定	90.0%
全国学力・学習状況調査(中3生徒)	73.3%	75.0%	75.6%	調査実施予定	調査実施予定	83.0%

指標名「人権教育の視点を取り入れた授業の取組状況」

○あなたの学校では、「人権教育の視点を取り入れられた授業が行われている」という設問に対し、「とても当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した教員の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
福岡市教育意識調査アンケート(教員)	83.7%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	100%

V-1-⑦ 不登校の子どもへの支援・いじめの未然防止の充実

指標名「不登校児童生徒の出現状況」

○「不登校児童生徒」の人数

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
文部科学省調査	1,263人	1,125人	982人	調査実施予定	調査実施予定	885人

指標名「不登校児童生徒の学校復帰の状況」

○文部科学省調査の「不登校児童生徒」のうち、「指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒」の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
文部科学省調査(小学校)	25.0%	36.4%	14.2%	調査実施予定	調査実施予定	35.0%
文部科学省調査(中学校)	21.6%	33.6%	31.3%	調査実施予定	調査実施予定	35.0%

V-1-⑧ 特別支援教育の推進

指標名「校内支援体制の機能化」

○「学校全体として、特別支援教育の校内支援体制が機能していますか」という設問に対し、「充分機能している」「機能している」と回答した校長の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
全国学力・学習状況調査(学校質問紙)	67.1%	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	調査実施予定	90.0%

指標名「校内支援委員会の設置と活動状況」

○福岡市特別支援連絡協議会の特別支援教育推進状況調査において、「校内支援委員会の設置と活動状況」という設問に対する、教員の5段階評価の結果

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
特別支援教育推進状況調査	2.4	2.8	2.6	調査実施予定	調査実施予定	4.0

指標名「自立と社会参加の状況」

○福岡市教育委員会の調査による、福岡市立知的障がい特別支援学校高等部卒業生の就職率

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
就職率調査	27.8%	20.3%	22.2%	調査実施予定	調査実施予定	30.0%

V-2 信頼される学校づくりの推進

V-2-① 学校の組織力の強化

指標名「学校の教育目標やその達成に向けた方策に対する取組状況」

○「学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていますか」との設問に対し、「よくしている」と回答した校長の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
全国学力・学習状況調査(小学校)	32.7%	34.9%	36.3%	調査実施予定	調査実施予定	60.0%
全国学力・学習状況調査(中学校)	25.7%	27.1%	29.0%	調査実施予定	調査実施予定	60.0%

V-2-② 学校と家庭・地域の連携の強化

指標名「学校情報の公開状況」

○「学校ホームページなどで学校情報を積極的に公開しているか」の設問に対し、「とても当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した教員、保護者の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
福岡市教育意識調査アンケート(教員)	65.4%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	80.0%
福岡市教育意識調査アンケート(保護者)	40.3%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	60.0%

指標名「学校と家庭・地域の連携の状況」

○「PTA活動が積極的になされているか」の設問に対し、「とても当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した教員、保護者の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
福岡市教育意識調査アンケート(教員)	86.6%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	90.0%
福岡市教育意識調査アンケート(保護者)	70.5%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	80.0%

指標名「学校関係者評価の実施および公表の状況」

○保護者や地域住民等の外部評価者による学校関係者評価を実施し公表した学校の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
状況調査(幼稚園)	86.0%	100%	100%	調査実施予定	調査実施予定	100%
状況調査(小学校)	91.0%	95.0%	97.9%	調査実施予定	調査実施予定	100%
状況調査(中学校)	90.0%	93.0%	98.6%	調査実施予定	調査実施予定	100%
状況調査(特別支援学校)	90.0%	100%	100%	調査実施予定	調査実施予定	100%
状況調査(市立高等学校)	25.0%	100%	100%	調査実施予定	調査実施予定	100%

※実施計画書に記載している初期値は平成19年度のものであるため平成20年度の数値へ変更

V-3 信頼に応え得る教員の養成

V-3-① 資質ある優秀な人材の確保

指標名「教員採用試験の受験者数の状況」

○教員採用試験の受験者数の増加

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
採用試験受験者数調査	1,828人	1,874人	2,001人	調査実施予定	調査実施予定	2,000人

V-3-② 教職員の資質・能力の向上・活性化

指標名「研修の波及効果」

○「教職員は、校内外の研修や研修会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させているか」の設問に対し、「よくしている」「どちらかといえはしている」と回答した校長の割合

○研修校追跡調査で達成されたと回答した校長、教員の割合（研修の波及効果）

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
全国学力・学習状況調査(小学校)	84.3%	89.1%	83.6%	調査実施予定	調査実施予定	90.0%
全国学力・学習状況調査(中学校)	62.9%	70.0%	75.2%	調査実施予定	調査実施予定	70.0%
研修校追跡調査(校長)	79.2%	77.3%	80.3%	調査実施予定	調査実施予定	87.5%
研修校追跡調査(教員)	75.0%	71.3%	75.6%	調査実施予定	調査実施予定	87.5%

指標名「研修参加への環境づくり」

○授業力向上支援センターの利用者総数(研修参加への環境づくり)

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
利用者数調査	7,076人	12,106人	14,355人	調査実施予定	調査実施予定	10,000人

※教育計画に記載している初期値は平成19年度のものであるため平成20年度の数値へ変更

指標名「精神性疾患による病気休職者の教員に占める割合」

○精神性疾患による病気休職者の教員に占める割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
状況調査	0.87%	0.85%	0.86%	調査実施予定	調査実施予定	0.75%

V-4 社会全体での子どもたちの育成

V-4-① 子どもの安全確保に向けた取組の推進

指標名「子どもを地域ではぐくむという意識の状況」

○「地域の人たちは、子どもたちの登下校時や道であったときに声かけをしているか」の設問に対し、「とても当てはまる」と回答した教員、保護者、市民の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
福岡市教育意識調査アンケート(教員)	30.9%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	50.0%
福岡市教育意識調査アンケート(保護者)	30.3%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	50.0%
福岡市教育意識調査アンケート(市民)	17.0%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	40.0%

指標名「子どもの携帯電話の使用に関する保護者の意識」

○インターネット有害情報への対応に関するアンケートにおいて、「子どもの携帯電話の使用に際して、家庭内でルールを設けている」と回答した保護者の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
状況調査	60.0%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	80.0%

V-4-② 家庭・地域における教育の支援

指標名「基本的生活習慣の育成に対する意識」

○「家庭で子どもに対して、早寝早起きなどの規則正しい生活をさせているか」の設問に対し、「とても当てはまる」と回答した保護者の割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
福岡市教育意識調査アンケート(保護者)	41.7%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	45.0%

指標名「子どもを地域ではぐくむという意識」

○あなたのお住まいの地域の人たちの行動について、「地域の安全パトロールや青少年の健全育成に取り組んでいる」と回答した市民モニターの割合

基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
福岡市教育意識調査アンケート(市民)	21.5%	(調査なし)	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	25.0%

V-5 教育環境づくりの推進

V-5-① 安心して学ぶことができる教育環境の整備

指標名「耐震化の状況」 ○全施設(校舎・体育館)に対して、耐震性が確保されている割合						
基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
状況調査	65.0%	76.0%	88.0%	調査実施予定	調査実施予定	100%

V-5-② 教員が子どもと向き合う環境

指標名「教員が子どもと向き合う時間の確保の状況」 ○「教員が子どもと接する時間が確保されているか」の設問に対し、「とても当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した教員の割合						
基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
福岡市教育意識調査アンケート(教員)	44.0%	(調査なし)	(調査なし)	調査実施予定	調査実施予定	60.0%

指標名「ネットワークの整備状況」 ○パソコンおよび周辺機器の整備、ネットワーク基盤整備の状況						
基礎データ	初期値	H21	H22	H23	H24	目標値
整備状況調査	20.0%	59.0%	72.0%	調査実施予定	調査実施予定	100%

福岡市教育データブック（平成２３年度版）

平成２３年７月

編集・発行 福岡市教育委員会総務部総務企画課
福岡市中央区天神１丁目８番１号
電話 092-711-4605

